## 消防本部感染症防止対策改修工事(建築)

図面リスト

	消防本部庁舍										
図面目	目録										
図面NO	名	称		図	ΠNΟ	名 称	図	面NO	名 称		
A 1	工事概要・仕上表	A 20	2 階・3 階塔屋既存天井伏図	E	1	電気設備工事特記仕様書(参考)	М	0	機械設備特記仕様書(参考)		
A 2	建築改修工事特記仕様書 1	A 21	1 階改修天井伏図	E	2	分電盤結線図・動力盤結線図	М	1	配置図(機械設備)		
A   3	建築改修工事特記仕様書 2	A 22	2 階改修天井伏図	E	3	照明器具姿図	М	2	空調・換気機器表・衛生機器表・器具表		
A 4	建築改修工事特記仕様書3	A 23	1階仮眠・待機室・食堂廻り改修平面詳細図	E	4	幹線・動力・非常灯設備・1階改修平面図	М	3	1 階改修平面図(機械設備)		
A 5	建築改修工事特記仕様書 4	A 24	1 階救急仮眠室・洗面所・便所・浴室廻り改修平面詳細図	E	5	幹線・動力・非常灯設備・2階改修平面図	М	4	2 階改修平面図(機械設備)		
A 6	建築改修工事特記仕様書 5	A 25	2 階消防団本部室・便所・書庫廻り改修平面詳細図	E	6	電灯設備・1階改修平面図	М	5	1 階既存平面図(機械設備)		
A   7	付近見取・配置図	A 26	建具リスト 1	E	7	電灯設備・2階改修平面図	М	6	2 階既存平面図(機械設備)		
A 8	1 階内部既存・改修後仕上表	A 27	建具リスト 2	E	8	コンセント設備・1階改修平面図					
A 9	2 階内部既存・改修後仕上表	A 28	1 階仮眠室・待機室・食堂既存展開図	E	9	コンセント設備・2階改修平面図					
A 10	1 階既存平面図	A 29	1 階救急仮眠室・2 階消防団本部室既存展開図	E	10	弱電設備・1階改修平面図		 			
A   11	2 階既存平面図	A   30	1 階便所・2 階男女便所既存展開図	E	11	弱電設備・2階改修平面図		 			
A 12	3 階既存平面図	A   31	1 階脱衣室・浴室・洗面所廻り既存展開図	E	12	電灯撤去・1階既存平面図					
A 13	1 階改修平面図	A 32	1 階仮眠室改修展開図	E	13	電灯撤去・2階既存平面図					
A 14	2 階改修平面図	A   33	1 階待機室・食堂・通信仮眠室改修展開図	E	14	動力・コンセント撤去・1階既存平面図		 			
A 15	立面図 1	A 34	2 階消防団本部室・仮眠室改修展開図	E	15	コンセント撤去・2階既存平面図					
A 16	立面図 2	A   35	1 · 2 階便所改修展開図	E	16	弱電撤去・1階既存平面図					
A 17	既存断面図	A 36	1階・2階シャワールーム改修展開図	E	17	弱電撤去・2階既存平面図					
A   18	改修断面図	A 37	仮眠室畳ベッド・収納棚詳細図								
A 19	1 階既存天井伏図	A 38	1階シャワールーム・洗面所廻り詳細図								

**⊸V** Nakazato Design Office

一級建築士事務所

中里建築設計事務所

<u> </u>	事概要書	<u> </u>																	
■ 工事名称								■ 9	<b>卜部仕上</b>										
工事名称	消防本部	感染症防止対策改修工事						部	位		仕上・仕様						仕上	上・仕様	
工事場所	鹿児島県は	いちき串木野市 昭和通	地内					屋	. 既	存	モルタルコテ押え ロンプルーフ防水仕上			根廻り -	既存コン	クリート打	ち放し	補修	
■ 一般事項								産	改	修	_				改修 一				
用途地域	_		道路幅員	前面 8m	床面積		計		既	存	壁:モルタル下地25角タイル貼一部アクリ	ルリシン吹	付	<u>*</u>		レタルコテ押	え		
防火地域	_		敷地面積	1, 603. 54m²	庁舎棟	1階=568.01㎡ 2階=391.00㎡	981. 76 m²	外	登 己	 修	_			・ 犬走り ト	改修 —				
都市計画区域	区域区分	未設定都市計画地域	建築面積	637. 54 m²	<del></del>	PH=22. 75m²		屋	根既	存	長尺カラー鋼板折板葺き t=0.5				既存 100	× 200角磁器	200角磁器床タイル貼り		
他の地域・地区	Σ		延べ面積	1, 100. 76m²	- 訓練塔	1階~5階=各16.00㎡	80. 00 m <sup>2</sup>	(増築	1	修	_			・ ポーチ床	改修 —				
					補助訓練塔	1階=19.50㎡ 2階=19.50㎡	39. 00 m²	外	<b>殿</b> 既	存	壁:ALC板t=50下地25角タイル貼一部ア	クリルリシ	 ン吹付		既存 アル	レミ製、スチ	ール製		
■ 建物概要		l		■ 構造躯体				(増築	F					外部建具	改修 —				
建物用途	主用途	消防署		構造種別	RC造				長規 既	存	モルタルコテ押え ロンプルーフ防水仕上				既存 竪槌	 種:塩ビ製	VP 100	Ιφ	
 階 数		階 (塔屋:3階)		構造形式	ラーメン	<b>養浩</b>		1	改	修		nh /⊥		樋	改修 一			· <u>·</u>	
最高高さ	13.15 m			基礎	RC造直			玄関庇	幕板 - 既		モルタル下地25角タイル貼一部アクリルリ -	ンン吹付			3112				
最高軒高	12. 45 m				<del> </del>	クリート t=120		1	軒裏 既	存	アルミカラースパンドレル張り								
	12.43 11			土間	上間コン	7 7 - 1 1-120			BIT:		<u>ー</u> モルタルコテ押え ロンプルーフ防水仕上								
■ 工事項目	7-b 665 7-b Mr -	- =						-	屋根上型	+									
(1)	建築改修工			一式 ————————————————————————————————————				小庇	幕板 - 既		モルタル下地25角タイル貼一部アクリルリー	シン吹付							
(2)	電気設備で			一式 ————————————————————————————————————				-	軒裏 既		モルタル下地アクリルリシン吹付								
(3)	機械設備	以修工事		一式					+1 数 改	修									
■ 工事内容																			
				(1) 页	建築改修工事							(	2) 電気設備改	修工事			(3	3) 機械設備改修工事	
		堂改修→仮眠室+食堂				ジート t=2・ソフト巾木増し貼り		~	階洗面所延			$\perp$	幹線設備やり					空調設備	
押入·高床: 仮眠室~食:		及び木製片開き戸1ヵ所	物丰			ード t=9.5下地 ビニールクロス貝 り部のみ素地調整後EP-G塗装		<del>~   -</del>			し部コンクリート撤去 ルタル下地100角タイル撤去		*分電盤,電線	・ケーブル類, 電線管 			(1)	*空冷ヒートポンプ マルチエ *冷媒配管・塩ビ配管・配線新	
_		トン張り(下地軽鉄は既存のま				9.5張り替え 天井点検口 1 ヵ所新		$\simeq +$			去、側面壁モルタル下地100角タイル撤去		<b> </b>	7.10g.C 替え(既存撤去)			+	換気設備	IDX, IS 2 7 HIS
吊戸棚 (仮眠室	は全部、食堂は一	部)、ブース廻りカーテンレール	撤去	1 階便所改				4 51	イニング部	軽鉄下	地壁及びステンレス製面台新設設			・ケーブル類,電線管			2	*排気ファン、天井扇新設	
天井点検口				<del>                                     </del>		(ク窯変タイル貼撤去		(5)   51	ニング部軽鉛	跌下地壁:	: 耐水合板 t=12, 防水石膏*´-ド t=2.5下地		*コンクリート壁貫通					*ダクト設備新設	
		11ヵ所及び木製片引き戸 仕切新設及び木製両開き		(2) トイレブー		検ロ1ヵ所撤去 ₹防滑防汚タイプ塩ビシート貼 t=	2 5 <del>*</del> 5 ± 5 ± 5	6 +#	型ー層シン	<i>h</i> ₩−:	100角半磁器タイル接着貼り新設	3	照明器具設備	やり替え ■常用照明,天井開口				衛生器具設備 *洋風大便器3ヶ所(温水洗浄便座付)	\ 2浦纸类架2+配剪
		ビシート t=2・巾木貼替		(4) トイレブー			2. 3利政		<u> </u>		1,000利益	+		ント設備やり替え			3	*小便器自動フラッシュバルブ、自動水栓	 , 壁掛け自在水栓
壁:新設間	仕切部 石膏ボ	ード t=9.5下地 ビニー	ルクロス貼り	⑤ 出入口片開	き戸, PS扉柞	₽共素地調整後SOP塗装塗り替え	i.	1 床:	モルタル	下地丸	モザイク窯変タイル貼撤去	4	*埋込タンプラスイッ	ッチ, 埋込コンセント, アウト	レックスホ゛ックス, シ゛	ョイントホ゛ックス		*シャワーユニット3ヵ所,洗面化	粧台1カ所新設
		り部のみ素地調整後EP-G塗				脱衣・シャワールーム		$\stackrel{\sim}{\leftarrow}$			尺防滑防汚タイプ塩ビシート貼 t=2.5新設	_	<b> </b>	記線管等,メタルモール :				*マルチシンク1カ所、洗濯機パン	
		=9.5張り替え、天井点検  ッド11ヵ所、収納棚1			部床下地コンク	フリート撤去 Eザイク窯変タイル貼撤去		$\sim$	器下部汚		設 S扉枠共素地調整後 S O P 塗装塗り替え	-	*コンクリート壁貫通放送設備やり				4	給水設備 	
_	延眠室改修→通		1 刀門制設			<u>- リュク黒炙ダイル船徹云</u> - ニール系タイル貼・巾木撤去					シャワールーム	- 5		<u> </u>	ケーブル, 天井[	開口費		排水設備	¥
押入・高床	畳敷廻り撤去			<del>                                     </del>		) 0 角タイル貼撤去		1 床:	ビニール系タ	イル撤去	去後長尺防滑・防汚タイプ塩ピシートt=2.5貼替		電話配管配線				5	*排水配管新設	
		ン張り(下地軽鉄は既存のまま)		<u> </u>		およびアルミ製引違戸撤去		$\simeq +$		巾木撤去	去後新規ソフト巾木貼替 H=75	6	<b> </b>	ヤック, ケーブル, メタルヨ	Eール 		(6)	給湯設備	
		ール 撤去 天井 点検口 1:		<del>                                     </del>		共撤去 天井点検口1ヵ所撤去 テ押え長尺防滑防汚タイプ塩ピシート貼		(3) 棚全(4) 軽鋭		<b>LZ 1.</b> :	ブース間仕切新設	_	*コンクリート壁貫通電話配管配線					*ガス給湯器・給湯管・保温新 撤去工事	<b>斤</b> 設
		ビシート・ソフト巾木貼		<u> </u>	・トイレブー:			$\stackrel{\sim}{\leftarrow}$			- ト * t=12.5下地化粧ケイカル板 t=3張り新設			<sup>                                     </sup>	Eール			邢五二尹 	
壁:新設一	部間仕切部 石	5膏ボード t=9.5下地 ビニール	クロス貼り新設	9 軽鉄間仕切	:石膏ボード	:=12.5下地化粧ケイカル板 t=3張り新]	设	6 軽餅	ŧ間仕切:ŀ	出入口.	メラミン化粧四方枠1ヵ所新設		*コンクリート壁貫通	 17抜き				*ダクト類撤去	
. +		り部のみ素地調整後EP-G塗				ミン化粧四方枠2ヵ所新設		$\stackrel{\sim}{\leftarrow}$			見え掛り部のみ素地ごしらえ後EP-G塗装塗替え	8	撤去工事					*配管類撤去	
		=9.5張り替え 天井点検口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			/クリート壁 見え掛 オル掛け1ヵ所	り部のみ素地ごしらえ後EP-G塗装塗替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		$\sim$ $\perp$	室タオル		り所 新 設 :下地共撤去後化粧石膏ボード゜t=9.5張替え	-	*電気設備機器	配線・配管、ランプ撤去					
		ッド3 ヵ所、収納価3 ヵ →消防団本部室+仮眠室	がある	<u> </u>		<u>™⊠</u> え素地ごしらえ後EP-G塗装新		<del> </del>	・ クラドン は			+							
) 天井:ジプトン	ン張り(下地軽鉄	は既存のまま)撤去 天井	点検口1ヵ所撤去	① 天井:バス	リブ軽鉄下地:	共新規やり替え 天井点検口1ヵ月	所 新 設												
) 仮眠室ブース軸	経鉄間仕切2ヵ所	及び木製片開き戸2ヵ所新設																	
■ 内部仕上	=	[別図による]																	
位 置	室名		床		設計GL からの高さ	巾木 (高さ)				壁			天 井		天井高	廻り縁		備考	
		既存																	
		改修																	
		既存																	
		既存			+											+			
		改修					1									1			
		既存																	
		改修 既存					1									+			
		改修																	
		既存																	
記		改修					1												1
HD							<b></b>		to Desig <sup>集士主                                    </sup>		ice 一級建築士事務所登録番号;第1-3 〒896-0031	1-8号	工事名称	消防本部感染	<u>症防止対策</u>	改修工事		作成年月日 2023/03/05	図面番号 A
						·	1	一椒娃	築 士 事 務 所	I	正 鹿児島県いちき串木野市東島平町2	30番地							設計者 中

## 7 建築材料等 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及び 1 20 中間検査 この工事については、中間検査を ・行う ・行わない 5 アスファルト防水 屋根保護防水 [3.3.2~4.3.3.5] 建築改修工事特記仕様書 JASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)~(6)の項目を満たすものし、この証明となる資料又は、外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督 Fう場合は、工事の進捗率が概ね50%に達した時期又は、躯体工事中(とりこわし工事完了時、配筋又 防水層の種別 は鉄骨建方完了時)及び内装工事等施工途中を検査の目安とし、工事受注者は検査の希望日を監督職員 1. 共通仕様 図面及び特配仕株書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕節監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) 」(以下、「改修得仕」という。)により、改修居仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共 建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、[標仕」という。)による。 工法 種別 施工箇所 断勢材 G 絶縁用シート 立上り部の保護 職員の承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 P 2 A %\*° リエチレンフィノ (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ₩ A - 2 厚さ0 15mm以 H この工事については、(公社)日本しろあり対策協会(以下「協会」という)発行「防除施工標準仕様書」 白蟻防除工事 (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (以下「防除」という)による。 この項目に配載の(防 )内表示番号は、防除の当該項目を示す。 2. 改修標仕及び標仕のうち必要として特記する事項と、その他必要として特記する事項を特記事項とする。 (3) 安定的な供給が可能であること • P 1 B 《數式 保護材 (4) 法会等で完める許可 認可 認定▼け免許等を取得していること 3. 特配仕様 (1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。 ○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○ 印念 印の付いたものを適用する。 ○ 印念 印の付いた場合は、未に適用する。 (3) 特配事項に記載の [ ] 内表示番号は、改修帰仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の [ ] 内表示番号は、複化の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) [ 回 印は [ 国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」 (以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。 ※使用薬剤は、協会認定薬剤のうち、非有機リン系薬剤とする。 ※工事施工者は、原則として協会登録施工業者とする。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること れんが 押え B-3 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること P2AI ※土壤処理 なお、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用す ※JIS A 9511によるA種押出 70g/㎡程度 ・ 処理の適用分 ※行う ・行わない - × A I − 2 る場合は、監督職員の承諾を受ける。 法ポリスチレンフォーム保温材の保証 処理の方法 ※帯状散布法、面状散布法の一つ又はその組み合わせによって行う。 (防 1.3.(1) 板3種b (スキンあり) 木材処理 • B I -机理の適用分 ※行う ・行わない 8 環境への配慮 本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次 4. 前金組 契約金額(00万円以上の工事にあっては、契約金額(全体又は年度毎の出来高予定額)の10分の4を越えない範囲内に限り前払金の支払を 請求することができる。 · B I - 3 (厚さ) ※25mm 処理の方法 ※吹付け処理法,塗布処理法の一つ又はその組み合わせによって行う。 (防 1.3.(2)) の 1) ~ 4) を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、保温材、緩衝材、断熱 ※処理の箇所 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ . 中間前金払又は部分払の選択 材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料 ※改修標件表3 3 3から表3 3 9による ・ 契約金額100万円以上の工事にあっては、契約に当たり中間前金払又は部分払を選択することができる。 設計書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ※1.4. (2)①~⑥及び⑧に規定する箇所 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 中間前金払 ・陸梁、合掌、小屋梁、間仕切、桁、火打梁などと敷桁又は軒桁との仕口面 2)接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ※改修標仕表3.3.3から表3.3.9による 契約金額(全体又は年度毎の出来高予定額)の10分の2を越えない範囲内に限り7の全ての要件を満たす場合に中間前払金の支払を請求 ・2階梁、火打梁と胴差との仕口面 3)接着剤は可塑剤(フタル酸ジー n ーブチル及びフタル酸ジー2-エチルヘシキル等を含有しない揮発 平場の保護コンクリートの厚さ することができる. 木造以外の場合 ※1.4.(2)⑦に規定する箇所 性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 こて仕上げ ※水下 80mm以上 4) 1) の材料をして作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトア ルデヒド及びスチレンを免散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・2以上の階の床面より1m以内にある木部でコンクリート、石、レンガに接する面 · 数式保護材 ※保証書及び期間 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次の通りとする。 業業系パネル:無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの 白蟻防除工事について、下記事項を記載した5年保証書を提出すること。なお、保証書については元請 日職防原止中にプリン、「配甲状亡肌症した」では風血とは出す。 東着と白臓防圧す路に東着と遺帯とする。 (7)工事名称 (4)建物の所在地 (5)建物の構造・用途・亜積 (2)白蜡防除工事の施工面積 (1)防除処理 前払金を支払ったものについては工期中2回まで、前払金の支払がされていないものは工期中3回までとする。 金属複合板:金属板と樹脂を積層一体化したもの ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド 火災保険 契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後21日とする。 建築材料等品質性能表による 発散建築材料以外の材料 別並びに使用薬剤名、製造者名、施工年月日 (1)登録施工業者会員名簿 (4)施行した防除士の氏名及び ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ) 県産資材の優先使用 登録番号·取得年月日・登録年月日 (ウ)保証期間 1. 飛座4400度元元2円 リ工事に使用する政材については、県内で産出、生産または製造されたもの(以下「県産資材」という。)の優先使用に努めることとし、 さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から譲進するよう努めることとする。 (2) 前項で定めた県産資材等を使用しない場合は、材料承認願の提出と併せて「不使用等状況報告書」を監督員に提出すること。 ※工事施工にあたり、協会発行「しろあり防除施工における安全管理基準」を遵守すること。 高日射反射率防水の適用 G ・有 ※無 ()建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 (2)建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 <del>- 99 鹿児島県トライアル</del> 製品名 ( 防水層の種別 ・ 下暦工事における管内 (市内) 建設業者の優先使用 (1) エ事の一部を下請に付する場合は (2) 前項で設めた建設業者を有する者を使用するよう努めることとする。 (2) 前項で設めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書等の提出と併せて「不使用等状決場告書」を誓問職員に提出すること。 発注制度の製品等 施工箇所 ※図示による ・( アスベスト含有強材 仕上塗料 種別 施工 断熱材 G ・ 本工事に使用する材料については、アスベストは含有しないものとする。 工法 備考 種類 使用量 (2) 前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書等の提出と併せて「不使用等状況報告書」を監督職員に提出すること。 12. 配置技術者等の途中文代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷痍、または退職者等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。 (3. 受注者の策によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合。 (2. 工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点。 (3. 大規模な工事で一つの契約工期が多年に及ぶ場合。 (3. 上記(1)のいずれの場合であっても、請負者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。 足場その他 内部足場 ※脚立、足場板等 · ( ) 9 特別な材料の工法 改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、当該製品の指定工法とする。 M 4 C 製造所の・製造所の [2.2.1] [表2.2.1] 外部足場 10 一級技能士 種別 ※A種(手すり先行型足場) ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 指定による 指定によ 下記により適用する技能士については、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をする [1.6.2] とともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う。 ・防護シートによる養生 脱気装置 防音シートによる養生 適用工事種別 技能検定の職種 POD ・製造所の ・製造所の ・設ける・設けない 材料、撤去材等の運搬 防水改修工事 アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 が可能となる。 10、電子特品 11、電子特品 11、電子特品 11、本工事は、電子特品対象工事であり、電子特品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として特品すること。 という。ここでいう電子輸品とは、「最児島集電子特品がイドライン (年成25年3月): (以下「ガイドライン」という。) 「完成の基準に基づいて作成した電子データを指す。 (2) ガイドラインに基づいて作成した電子が更かを指す。 (3) ボイドラインに基づいて作成した電子が最近でより、現実品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。 (3) 電子成果品を提出する部は、鹿児島集の公開する電子制品・アックソフトによるチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、「ウィルス対策を実施した上で提出すること。 12、日本日間であり、よびより、または、40、00 年間 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 指定による 指定によ ・ 塗膜防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 改修用ドレン 左官 · 建築板金 2 既存部分の巻生 既存部分の養生 ○行う ・行わない 設ける・設けな ・左官 ・タイル張り ・塗装 (建築塗装作業) ・樹脂接着材注入施工 養生方法 ※ビニルシート等による・( ſ2, 3, 11 建具改修工事 ・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工 ※ビニルシート等による・( 既存家具等の養生 [2.3.1] プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ※JIS A 9511によるA種硬質 ・製造所の ・製造所の 設ける・設けなり M 3 D I 内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)・表装(壁装作業)・左官 開口部の養生 ○行う ・行わない M 4 D ウレタンフォーム保温材の保温板2種 指定による 指定による 養生方法 合板張りによる 1号又は2号で透湿係数を除く 14. 暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置 塗装改修工事 塗装(建築塗装作業) ・設置範囲 ※図示・( 規定に適合するもの 設ける・設けなし 14. 本月辺関係者による不当リスを文リに海口の相理 いちき車水野市が発注する建設工等(以下「市工事等」という。)において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」 という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を選滞なく市(発注者)及び警察に通報すること。 市工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、市(発注者)と協議 またニューレ 耐震改修工事 ・鉄筋施工 ・型枠施工 ・とび 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ſ2, 3, 11 ブロック、ALC工事 ブロック建築 ・ALCパネル施工 市工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより土曜に近れた。ことである。 を行うこと。 15. ダンプトラック等による過剰截等の防止について (1) 工事用貨機材等の積載超過のないようにすること。 (2) 過程数を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 (3) 資材等の過剰数を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 (4) さし朴の技者又は物品掲載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に批入することがないようにすること。 (4) さし朴の技者又は物品掲載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に批入することがないようにすること。 (5) 「土砂を産運費する大型自動車による支票事業の防止等に関する特別措置法」(以下法という)の目的に鑑み、法第12条に規定する 団体等の股立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 (6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定する「記念」では、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等 によって悪質がつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 (7) (1)から(6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。 16 施工体制台帳の作成等について ※行わない **○**行う (図示) 石工事 ・石材施工(石張り施工) 植栽工事 脱気装置の種類及び設置数量 ・造関 3 仮設間仕切り 仮設間仕切り等の種別 [2.3.2] [表2.3.1] ※アスファルトルーフィング類製造所の指定による 種 別 ・A種 脱気装置の種類: ・せっこうボード座9.5面面張り グラスウール弁道座さ( 、設置数量: 片而塗装 ・せつこうホート序3、ロ河岡 コル、 ・合板厚9両面張り が5次かか充填厚さ ( ) ・一ゴ で何0.5片面張り ・合板厚9片面張り 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 11 化学物質の濃度測定 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、 ・片面塗装 ・せっこうボード厚9.5片面張り ・合板厚9片面引 ・せっこうボード厚9.5(内部面)+合板厚9(外部面) チレン(学校施設については、パラジクロロベンゼンを加えた6物質)の遺唐を測定し、報告すること 測定はパッシブ型採取機器により行う。 屋内防水 着工前の測定 ・行う ・C種 ※シート張り 工法 種別 施工個所 ○1階 仮眠室 ○1階 通信仮眠室 ○2階仮眠室 ○1階 仮眠室 ○1階 通信仮眠室 ○2階仮眠室 ・合板張木製原 保護層 設ける 测定笛所数 P2E \*E-2 (1) (バルつの)がこととと、「出へるいました。 ・施工体制台帳の作成等について 本工事の受注者は、建設工事の一部を下請けする場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に据え置くとともに、 その写しを監督職員に選案なく(選くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に 変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること ・設けない 4 監督職員事務所 ○設ける 設ける ・設けない (面積規模( 10 )㎡程度) [2.4.1] 結果が良好でなかった場合には、監督職員と協議し対策を行うこと。 押え金物の材質及び形状 12 完成図等 完成図 ②作成する (完成図の種類 ※全ての設計図 ・ ( 仕上げの程度、設置する備品等の種類及び数量は現場説明書による。 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 要更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付配して、変更に関する事項について、作成し提出すること 「施工体系図の依頼等について、 本工事の現金者は、工事を施工するために、建設工事の一部または以下のアからエの業務を下請に付する場合は、施工体系図を 作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に 連滞なく(遅くとも下請工事または業務の患手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その 都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 ア 伐採及び銀金・国義等の工事現場で作業を行う業務 イ 社砂やコンクリート競等の運搬のみを行う業務 フ 工事規制の警備(交通影楽を含む)を行う業務 エ その他監督職員が記載を指示した業務等 完成図の様式等 A3縮小二つ折り製本 ※3部 ①(1)部 [表1.7.1] 屋根排水灌 ※図示 5 工事用水 構内既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない A2二つ折り製本 6 改質アスファルト 高日射反射率防水の適用 G ・有 ※無 6 工事用電力 構内既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない 作成しない 防水層の種別 保全に関する資料 ・作成する(提出部数 ※1部 ・( )部) [1.7.3] 7 現場表示板 規格 ※下図による ・監督職員の承諾による 工法 種別 施工箇所 備考 ※作成しない 材質 ※県産杉板 ・監督職員の承諾による 市シンポルマーク 150×150程度 13 完成写真等 撮影箇所及び方法については、「工事写真の撮り方(改訂第二版)建築偏」による。 M4AS AS-T2 下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。 工事名 工事 区分 分類 規格 部数 AS-T3 昭年生書 発注者 章 項 特 記 事 項 ※デジタから 全景: キャピキサイス゚ ※ 1 部 目 M3AS AS-T4 設ける・設けない 着工前 設計者 カメラ 部分:サーピスサイズ AS-J2 適用基準等 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 令和4年版) 工事中 ※デジタルカメラ カラーサービスサイス ※ 1 部 施工者 ·建築工事安全施工技術指針(官庁営繕部) ·建設工事公衆災害防止対策要綱(建設工事編)(官庁営繕部) (检查状況) ・カメラ 設ける・設けない 工 期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 ※デジタルカメラ 全景:キャピネサイス゚ ※ 3 部 外観4面/棟 内部全状況 (出来形時) ・カメラ 部分: サービスサイズ ・( )部 ・ 実態調査用 ※デジタルカメラ カラーサービスサイズ ※ 2 部 外報4面/棟 建設副産物適正処理推進要綱(平成14年5月30日国交省通知122号等) AS-T3 脱気装置 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に対し安全な工法とする 設ける・設けない ・資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法) 電子データ ①完成時写真 ・工事中写真 ①着工前写真 POAS AS-J2 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法) 改修用ドル ※100×125以上の原板を使う場合には、監督職員にあらかじめべた焼きを提出し確認を受ける。 - 石綿隨実予防規則等の一部を改正する省会 (平成26年11月28日厘生労働省会第131号) 埋戻し及び盛土 ※電子データは、RBG(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-ROMにて提出する 種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 [3.2.3] [表3.2.1] 設ける・設けない ※外壁改修工事の施工状況は、工法毎に各面(東、西、南、北、階段室、屋上塔屋等)2箇所程度とし、 C種の場合 (発生場所 M3ASI ASI-T1 脱気装置 2 工事実績情報の登録 ◎適用する(※工事請負金額 500万円以上 ・( 完成は各面・工法毎に全箇所撮影する。 (連絡先 [1.1.4] M4ASI (運搬 ・発生原因者側 ・本工事 ASI-JI 設ける・設けない ※各工法の施工状況(施工中の写真は、同じ番号で工事写真を撮影のこと。) 3 品質計画等 ・施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算 [1, 2, 2] POASI 建設発生土の処理 **※JIS A 9511によるA種硬質** 撮影する施工状況 ・マーキング ・下地処理 ・注入孔墨出し ・座金取付 ・シール ※構外指示の場所 [3. 2. 5] ※風速 (Vo= ) m/s ※地表面粗度区分 (・I ・II ・II ・IV ) 受け入れ場所( ウレタンフォーム保温材の保温板2種 改修用ドル 1号又は2号で透湿係数を除く 受け入れ場所での処置 (・敷きならし ※たい積) 設ける・設けない シリンダー取付状況 ・注入状況 ・仕上状況 適用工種 ・ALCパネル(外壁) ・押出成形セメント板(外壁) ・外壁石張(乾式) ・長尺金属板葺 ・折板葺 ・アルミ笠木 ・ガラスブロック ・シート防水(機械式) ・屋上緑化用システム ・マーキング ・はつり ・清掃 ・鉄筋の錆落とし ・ステンレスピン打 ・ポリマーセメントモルタル充填 搬出距離( 規定に適合するもの (厘さ)※25mm 4 雷気保安技術者 エ事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気 [1.3.3] 仕上げ厚又は全塗厚が厚い場合の施工状況 機内指示の場所(・動きならし、・たい精) ・設ける・設けない マーキング ・穴あけ(ドリル使用) ・清掃 ・エポキシ樹脂注入 工作物の保安の業務を行うものとする。 浮き部改修工法 · 要 ①不要 ステンレスピン注入 ・エポキシ樹脂注入後の浮き確認 ・表面処理 仕上塗料 ※カラー ・シルバー 共通事項 施工標識 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける 完成写直の撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影者・監督職員の承諾する撮影業者 改質アスファルトシートの種類及が厚さ 標仕「1.3.5] 以外の施工条件 ※現場説明書による ・図示 5 施工条件 [1, 3, 5] ※改修標仕表3.4.1から表3.4.3による 取り付け方法等は、ルーフィング類製造所の仕様による 14 設備工事との取合し 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 発生材の処理等 ・発注者に引渡しを要するもの( [1.3.8] 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 引渡1.場所 ※襟内 ※改修標仕表3.4.1から表3.4.3による・ ※改修權仕3.1.3(e)(1)~(3)による [3, 1, 3] 15 設計G L 再生資源化を図るもの又は廃棄するもの ・有・無 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 養生方法 (とい等) 分 類 ・セメントコンクリート塊 受入れ施設名 所 在 地 搬出距離(km) ※改修標仕表3.4.1から表3.4.3による 16 既存部分等への措置 工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督職員に報告するとともに承認を受けて現状に 8 既存防水の処理 既存保護層の撤去 ・行う (範囲 ・図示 ・ ) ・行わない [3. 2. 3. 4. 6] 脱気装置の種類及び設置数量 準じて補修する. 既存防水層の撤去 ・行う (範囲 ・図示 ・ ) ・行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う (・MAAS・MAAS・MAC・MADI・L4X) ・行わない ※改賞アスファルトシートの製造所の指定による 17 騒音振動の防止 低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械を使用する。 脱気装置の種類: 、設置数量: 適用工事(土, 地業, コンクリート, 舗装, 植栽, 取りこわし等) 4 既存防水層の下地処 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 POS工法及びPOSI工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修 ※改質アスファルトシート製造所の仕様による 上記に示す受入れ施設は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する。 18 部分使用 この工事については部分使用は ・有(図示 ) ①無 及び処置 ※改修標仕3.2.6(d)(3)(vii)①~③による ※建設廖棄物処理計画書の作成 19 一部完成 この工事については一部完成は ・有(図示 ) ○無 ※再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の作成 ▶ Nakazato Design Office 一級建築士事務所登録番号;第1-31-8号 工事名称 消防本部感染症防止対策改修工事 作成年月日 2023/03/05 図面番号 A - 2 \_\_\_\_\_\_ **=**896-0031 一級建築士事務所 設計者 中里 末治 鹿児島県いちき串木野市東島平町230番地 図面名称 建築改修工事特記仕様書1 \_\_\_\_\_\_ 中里建築設計事務所 一級建築士 第140843号

TEL-FAX

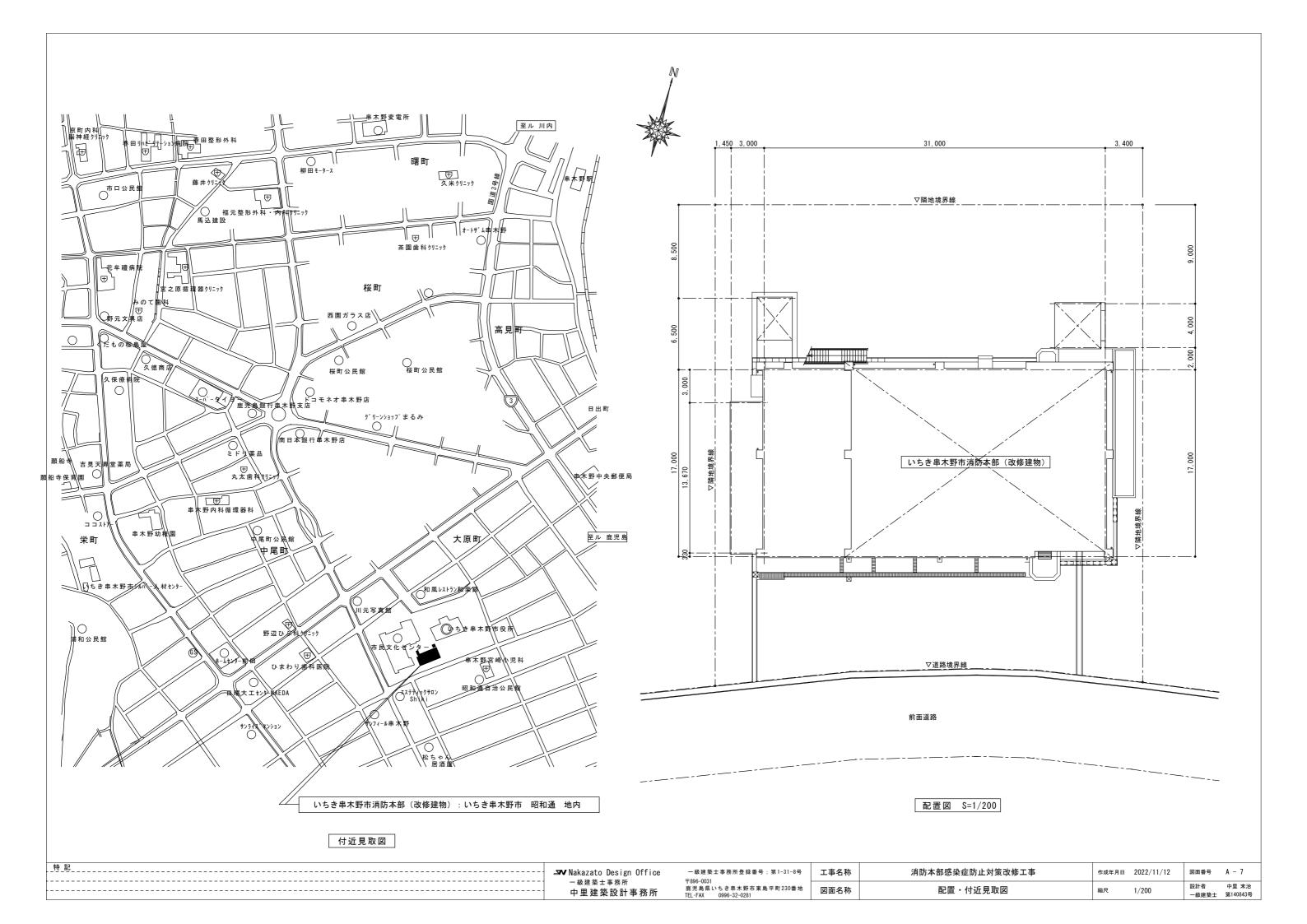
0996-32-0281

7 合成高分子系 ルーフィングシート 防水	Main	女 4 ポリマーセメント モルタル 5 ポリマーセメント スラリー 6 既製調合モルタル 1 ひび割れ部改修工法 1 ひび割れ部改修工法	(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による [4.2.2] (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による [4.2.2] (性能) 建築材料等品質性能表による [4.2.2] (位能) 建築材料等品質性能表による [4.2.2] (の(の) (収縮) (収縮) (材齢2.8 日) (7.2 時間) (8 化曲げ性能 吸水性 耐久性 (の(の) 3以上 3%以下 0.48 N/mf以上 4.9 N/mf以上 1.5 %以下 4.9 N/mf以上 (4.2 N/mf以上 1.5 %以下 4.9 N/mf以上 1.5 %以下 4.9 N/mf以上 (公職) (公職) (利齢2.8 日) (7.2 時間) (8 化曲 1 代金) (2.2 日本) (	4-3 1 既存タイル張りの撤去 2 ひび割れ部改修工法 2 ひび割れ部改修工法 3 欠損部改修工法 3 欠損部改修工法	- 外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 搬去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ 改修箇所 ※既存タイル張り面	4-4 1 浮き節改修工法におけるエポキシ樹脂注入後の技権強度の試験 ・	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見木焼き ・行う ・行わない ・モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目覚し工法 (高圧洗浄) ・ ・受タイル張りの工法 外装タイル ※密幣鑑り ・改良様上げ張り ・改良圧着張り 内装タイル ※密幣鑑り ・改良様上げ張り ・改良圧着張り 内装タイル ※密幣鑑り ・改良様上げ張り ・モザイクタイル張り ・既製調合モルタル ・モルタルではとしたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等 を予めつ工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による  ※行う ・行わない [4.4.10] [4.4.11] [4.4.13~14] 1. 試験方法 ) 試験方法 ) 試験方法 ② 注入後 ア日間以上たってから、モルタル約40mm角又は内径48mm(躯体 (コンクリート)に運するまでコンクリートカッター又はコアカッターで切断し、その面に引張治臭 (アタッチメント)を接着し、建設省重要研究方式開易引張り試験機又は日本建築仕上学会試験機により引張試験を行う。 2. 確認事項 引張速度試験終了後、次のいずれかであることを確認する。又、試験終了後、試験体の切断が躯体に進するまで行われていたかをはつって確認する。なお、異常が認められた場合は監督職員へ報告し、その指示を受ける。 a コンクリート破壊 b モルタル破壊 c 引張り強度
8 塗膜防水	ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標仕表3.5.1から表3.5.2による 絶縁用シートの材質 ※発砲ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による ・脱気装置の種類、 ・放置偏数: 個/㎡ 既存防水下地がPCコンクリート部材の場合の処理 目地処理・行う (エ法 入隅部の増張り・行う (S-F1, SI-F1の場合) ・行わない 高日射反射率防水の適用	f		4 浮き部改修工法	接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・神能調整目地及びいび剥れ器発目地 位置・淡水棒組去者、5.1による・ タイル強リア出等の均しモルタルの接着力試験・行う・行わない ・セメントモルタルによる陶磁器質タイル強リ タイル強リの工法 ・ 外装タイル・密着強リ・改良圧着強リ・改良積上げ強リ ・ 外装タイル・密着強リ・マスク強リ・モザイクタイル強リ ・ 有機系接着剤による陶磁器質タイル強リ シーリング材の種類 ・ 打翻ぎ目地、ひび割れ誘発目地・※ポリウレタン系・ ・ 伸縮調整日地その他の目地・※変成シリコーン系・  [4.2.2] [4.5.9~15]		(リアンカービンーグリ助プエボイン側面注入工速の場合 (注注入内付アンカービンニグ部分エボキシ樹脂注入工法の場合 1.2N/mm2 [12.2kgf/cm2]以上 ③アンカービンニングを面エボキシ樹脂注入工法のエボキシ樹脂注入の箇所 ④注入口付アンカービンニングを面エボキシ樹脂注入工法のエボキシ樹脂注入の箇所 0.6N/mm2 [6.1kgf/cm2]以上 ⑤アンカービンニング全面エボキシ樹脂注入工法のピン供用エボキシ樹脂注入の箇所 1.2N/mm2 [12.2kgf/cm2]以上 ※行う ・行わない 1. 試験方法 0.注入箇所を養生完了後、打診ハンマーを用いて打診する。 2.上配診断状況により、4 - 4章 1項による建設を建築研究方式簡易引張試験機又は日本建築仕上学会試験機により接着力試験を行う。試験箇所は、監督職員の指示により、1 棟につき1箇所以上選びだす。 (1箇所につき3点の試験を行い、その平均値を接着強度とする。) 2.確認事項 (注入が負好な状態で行われているかを確認する。 (注入が負好な状態で行われているかを確認する。) (注入が負好な状態で行われているかを確認する。)
<ul><li>③ シーリング</li></ul>	- P2Y ※Y-2 保護所・設ける ※設けない - NS 装置の種類及び設置数量 ※主材料製造所の指定による - NS 装置の種類: ・ 、 設置個数:	<u> </u>	工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入日関隔(mm) 注入量 (m1/m) ※自動式低圧工ポキシ 0.2以上~1.0以下 ※200~300・ ※130・  樹脂注入工法 ・手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 50~100 ※440・  0.3以上~0.5未満 100~200・ ※70・  機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0以下 150~250・ ※130・  注入工法 ・		工法の種類	4-5 1 所要量の確認 2 既存塗膜等の除去 及び下地処理 0 0 7 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	工程ごとの所要量の確認 ※改修標仕表4.6.1による [4.6.2] [表4.6.1]  エ 法 処理範囲 下地の補修 加圧力 ・サンダー工法 ※既存仕上面全体・30%・50%・行う ・高圧水栄工法 ※既存仕上面全体・( )・行う ・30~100Mpa程度 ・登膜はく解剤工法 ※既存仕上面全体・( )・行う ・10~30Mpa程度 ・水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体・行う ・10~30Mpa程度 ・パラマーセメントモルタル・ボリマーセメントモルタル・防水形仕上げ塗材主材 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [4.6.5]
10 50	シーリング材の目地寸法 ※改修標住3.7.3(a)(1)~(3)による 接着性試験 ※簡易接着性試験 引張接着性試験 [3.7.8]	3 欠損部改修工事 4 浮き部改修工法	・シール工法 ・パテ状エボキシ樹脂 ・可とう性エボキシ樹脂 ・充填工法 ※エボキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・モルタル塗替え工法  既製目地材 ・使用する(粉状 ) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示 ・  【4.2.2] [4.4.8、9]  エ法の種類		- モルタルを替え工法	- <del>壁</del>	*規制対象外・ 新規仕上塗材に種類    神
11 アルミニウム製笠木	銀管製といの防露巻き ※改修権性表3.8.5による・とい受金物 ※ステンレス製 ・鋼製 (亜鉛のっき) ルーフドレンの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填 (3.9.2) 施工箇所 種類 製品幅 呼称肉厚 表面処理 定腹・複合皮膜 ・押出250形 ※260~240 ※1.6以上 ※A-1程 ・押出350形 ※350 ※2.0以上 ・ ・押出50形 ※350 ※2.0以上 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		エポキシ樹脂注入工法     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 目地改修工法 6 タイルの形状、寸法等	- セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密潮張り ・改良圧着張り ・改良様上げ張り 外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・ 和機系接着網による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類 打艇ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ボリウレタン系 ・	5 マスチック塗材塗り	・機磨塗材 E     一       ・機磨塗材 C     一       ・防水形域層塗材 C E     一       ・防水形域層塗材 E     一       ・防水形域層塗材 E     一       ・防水形域層塗材 E     ー       ・防水形域層塗材 E     ー       ・可とう形改修塗材 E     ・       ・     ・ </th
				〒896-0031 鹿児島県		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	歌钟李 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

4-5 6 外壁改修数量表	工法 単位 寸法等 既存仕上げ 棟名	7 鋼製軽量建具	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号:・建具表による ・ )	(5) 11 自動ドア開閉装置 建	[5.8.2, 3] 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・マットスイッチ	⑥ ① 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3] ※壁面より両側100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲	
壁改修工事	樹脂注入工法     m     0.2ml以上     コンクリート       1.0ml以下     モルタル       タイル       充填工法     箇所     100×100×30     コンクリート       (工**や樹脂性40%)     100×200×30     モルタル	兵 文 後 工事 ( 続 た	・適用しない 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 (・建具表による ・ ) ・ (建具符号:・建具表による ・ ) ・ 適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ	<b>异改修工事(続</b> .	※改修標性     ・適用する     ・数線スイッチ     ・行う       表5.8.1による     ・適用しない     ・音波スイッチ     ・通用箇所は       ・光電スイッチ     ・進泉表による)       ・電波スイッチ     ※行わない	装 改像 「本地域を で 下地域を	※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井の撤去に伴う取合節の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 ピニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2]	
変り仕上 げ外壁	タイル       7/ホーピンニグ 部分       Iボ ヤン樹脂注入工法       m'       タイル       タイル       タイル       フンクリート	€	(建具符号:・建具表による・ ) ・適用しない ・適用しない ・適用する 面内変形追随性の等級 (・建具表による) (建具符号:・建具表による・ ) ・適用しない	<u>ਰ</u>	・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	下地補修 ③ 既存壁の撤去及び	・下地モルタルとも (・岡示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗珠材の除去工法 ・機械的除去方法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタル は、4章外壁改修工事による 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]	
- (続き)	モルタル タイル	8 ステンレス製建具	鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 鋼板の厚さ ・改修標仕表5.5.1による ・ 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ステンレス鋼板 ・鋼板		駆動力 ※電気式または電動油圧式 ・ ( ) 常源 ※単相100V(過電流保護装置付) ・ ( ) 活動センサ ※安全光線スイッチ1組 ・ ( ) 各開開装置毎に補助センサを設ける	下地補修	(6.5.2]	
⑤ ①改修工法	[5.1.3]   建具の種類 かぶせ工法 搬去工法 適用箇所	C X/JUXZER	簡易気密型 ・適用する (建具符号:・建具表による・ ) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 (建具符号:・建具表による・ )	12 自閉式上吊り引戸装置 13 重量シャッター	[5,10.2、3]   シャッターの種類   耐風圧強度   備考   ・一般重量シャッター   耐風圧強度 (自動開鎖型)		表面仕上げの種別 適用箇所 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種	
建具改修工事	・アルミニウム製建具     ・建具表による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・S-5 (建具符号:・建具表による ・ ) ・S-6 (建具符号:・建具表による ・ ) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・外壁用防水シャッター 耐風圧強度 ( ) N/㎡ ・屋内用防火シャッター ※危害防止機構 ・屋内用防煙シャッター	5 製材 G	・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材         [6,5.2]           施工箇所         樹種         寸法 (mm)         等級 ※2級・         形状 ※A種・D種・D種・         合水率 の適用	
	・ステンレス 製建具 ・ ・ 建		・適用しない  ・適用する 断熱材の等級 (・建具表による・・)  ・適用する 断熱材の等級 (・建具表による・・)  ・ 適用しない  ・ 適用しない  ・ 適用する 面内変形追随性の等級 (・建具表による)		電動式の場合の電源 ※三相200V 0.75km以下 (通電流保護装置付) 一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS 6 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS 6 3312 (塗装茶級亜鉛めっき鋼板)		<td color="2" color<="" rowspan="2" td=""></td>	
2 防火戸 3 防犯建物部品	<ul> <li>適用する 適用箇所 (・建具表による ・ ) [5.1.4]</li> <li>適用しない</li> <li>適用する ( ) 適用箇所 (・建具表による ・ ) [5.1.7]</li> </ul>		(建具符号:・建具表による ) ・適用しない  鋼板(屋外) ※SUS304 ・SUS430JIL、SUS443JI 、 鋼板(屋内) ※SUS430 ・SUS430JIL、SUS443JI、SUS304 ・ 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・	14 軽量シャッター	めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) [5.11.2~4] シャッターケース ※設ける ・設けない 耐風圧強度 ( ) N/m'		・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材       施工箇所     樹種     寸法 (mm)     等級     形状     含水率     間伐材等 の適用       ※1等・     ※A種・D種・	
4 アルミニウム製建	※適用しない [5.2.2、4、5] [表 5.2.2] 性能等級	9 木製建具	ステンレス競板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ 建具材の加工、組立時の含水率 ※日種 · [16.7.2~4] 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 · ・フラッシュ戸		スラットの村賃  ※JIS 6 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又は706・ )  ※JIS 6 3322 (塗装溶池ラいアルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90・ )		- 「製材の日本農林規格」以外の製材	
	防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 適音性の等級 (・建具表による・ ) (建具符号:・建具表による・ ) ・適用しない ・適用しない ・適用する 断熱材の等級 (・建具表による・ ) (建具符号:・建具表による・ )		表面材の合板の種類	15 オーバーヘッドドア	スラットの形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 ガイドレール・座板の材質 ※ステンレス (SUS304) ・溶融亜鉛めっき鎖板 電動式の場合の危害防止機構 ※有 (障害物感知装置自動閉鎖型) 電動式の場合の電源 ※単相100V(過電流保護装置付) ・ ( )	6 製材用集成材 G	・代用樹種を使用できない箇所 ( ) ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・ [6.5.2] ・「集成材の日本農林規格」による造作用業成材 間性対等	
	・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 (・建具表による) (建具符号・・建具表による ・ ・適用しない 枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 表面処理		不透明塗料塗り     (※しな程度 ・ ) 板面の品質 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類 )      ・天然木 化粧合板 G 樹種名 ( )		セクション材料 耐風圧 開閉方式 収納形式 ガイドレール による区分 区分 による区分 による区分 による区分 の材質 ※スチールタイプ ・125 ※バランス式 ・スタンダード形 ※ステンレス類板 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 かっき 興転 かって イバーグラスタイプ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 めっき 興転		施工箇所 樹種 (mm) 見付け材面の品質 の適用 ※1等  ・「集成材の日本農林規格」による化粧はり造作用集成材  施工箇所 化粧薄板 ぶ材 寸法 化粧薄板 の様種 の様種 の様種 の様種 (mm) の厚さ (mm) の厚さ の適用	
	衣 川 ル 地		接着の程度(・1頭 - 2頭)   ・特殊加工 化粧合板 G   化粧加工の方法	16) ガラス	・50     ・バーチカル形       [3.7] [5.13.2~4] [表5.13.1]       ・熟練吸収板ガラス		※1等 ・   ※1等 ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・	
	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		表面板の厚さ ※表16.7.6による・・かまち戸 かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による・・・ふすま		□ 品種 性能 色調 ・ 熟練吸収コート板ガラス ・ 1種 ・ 2種 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ ・ 熟練吸収網入磨き板ガラス ・ 復層ガラス		・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材  施工箇所 樹種 寸法 見付け材面の品質 含水率 の適用 ※A種・B種・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
5 樹脂製建具	※ガラス繊維入り合成樹脂製・ステンレス (SUS316) 製・防鳥網 ステンレス (SUS304) 総材 1.5mm 網目寸法15mm       性能等級     [5.3.2~5]		張りの種別 (・ I 型 ・ II 型 ・		品種         断熱性         日射熱速へい性           ・断熱複層ガラス         - 1種         U-1           - 2種         U-2           - 3種         - U-3-1         - U-3-2           - 日射熱速へい被層ガラス         - 4種         E4		- 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 化粧薄板 芯材 寸法 化粧薄板 見付け材 含水率 間伐材等 の樹種 の樹種 (mm) の厚さ(mm) 面の品質 含水率 の適用 ※A種・B種・	
	外部に面する建具 ・ A種 (雑具符号:・ 雑具表による ・ ) ・ B種 (雑具符号:・ 雑具表による ・ ) ・ C種 (雑具符号:・ 建具表による ・ ) 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する :	(A) 775744	見込み寸法 ※30mm - 建具表による - ・紙張り降子 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・複層ガラス     ・5種     E5       ・熟線反射ガラス     断熱性     耐久性	7 ' <i>\$.le</i>	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧はり構造用集成材           施工箇所         化粧薄板 の樹種 の樹種 (mm) 面の品質 の厚さ (mm) の適用           ※A種・B種・・	
	・適用しない         ・適用する 断熱材の等級 (・H-4・H-5・ )         (建具符号:・建具表による ・ )         ・適用しない         枠の見込み寸法 ・建具表による ・	(10) 建具用金物	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・熟練反射ガラス     ・1種     A種       色調 (・ブルー・ゲレー)     ・2種     A種     ・B種       ・3種     B種       反射被限面・内面・外面	7 造作用単板積層材 [G]	「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 10.0.0.1 施工箇所 厚き 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等 の適用 ・ 有り (加工 ・天然木加工・塗装加工) ・ 適用する ・	
6 鋼製建具	表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ガラス ※復階ガラス 性能等級 [5.2.2] [5.4.2~4] [表 5.4.2] 簡易気密型 ・適用する		・本終り錠     (性能)     建築材料等品質性能表による     ・空錠     ※レパーハンドル 村賃 ※アルミニウム合金 ・ステンレス ・黄銅 座金 ※丸産 ・長座		映像調整 ・行わない ・行う       ・耐熱強化ガラス       材料板ガラスの種類     厚さ (mm)     色調       ・熱線吸収タイプ     ・グリーン ・グレー ・ブロンズ		・無し (等級: ) ・適用しない   「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材   施工箇所	
	(建具符号:・建具表による・ ) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号:・建具表による ・ ) ・S-5 (建具符号:・建具表による ・ ) ・S-6 (建具符号:・建具表による ・ )		・握り王 村質 ※ステンレス ・グレモン錠 レバーハンドルの村質 ※亜鉛合金 ・ステンレス 製造所 ※図示 ・ビボットヒンジ		・熟練反射タイプ     ・       ・ ( )     )       ・倍強化ガラス     村料板ガラスによる種類の名称     色調	8 床張り用合板等 G	・普通合板 [G     技工保証   厚さ 表板   接着   長春   日本の日常   日本の日常   日本の日常   日本の日常   日本の日常   日本の日常   日本の日報   日本の日報	
	防音ドアセット、防音サッシ       ・適用する 適音性の等級 (・建具表による ・ )         (建具符号:・建具表による ・ )         ・適用しない         断熱ドアセット、断熱サッシ (G)       ・適用する 断熱材の等級 (・建具表による ・ )		カバー部の材質 ※ステンレス ・亜鉛合金 ・プロアヒンジ - Gradel ※Grade2 カバー部の材質 ※ステンレス ・ヒンジクローザー (丁香型)		・フロート倍強化ガラス		施工曲の (mm) の樹種名 の程度 牧皿 いの 東	
	(建具符号:・建具表による・ ・ 適用しない ・ 適用する 面内変形追随性の等級 (・建具表による) (建具符号:・建具表による・ ・ 適用しない		材質 ・銅 (焼付け塗装) ・ヒンジクローザー (ビボット型) 材質 ・銅 (焼付け塗装) ・ドアクローザー ・Gradel ※Grade2 + 1巻 ※フェニニートルール		建具の種類 ガラス圏の材 ガラス溝の大きさ (mm)   **********************************		接達用合板   G   接着   接極   接極   接極   接面の品質   「係数比   ※12 ※2級以上   ※1類 ※C-D以上 ・適用する ・適用する ・適用する	
	類板		材質 ※アルミニウム合金 ・押様、押板 材質 ・ステンレス ・黄銅 ・合成樹脂 ・アームストッパー 材質 ・鋼(クロームめっき) ※ステンレス	17 鍵箱			- ・ ・ 1級 ・ 特類 ・ ・ 適用しない ( ) ・ 適用しない	
			・クレセント 村賞 ※建具製造所の仕様による ・排煙オペレーター (※理込 ・露出)		鋼製市販品とし、監督職員の承諾による	عد د جملا در جوالم وح		
				〒896-0031 鹿児島県 L		染症防止対策改修工 逐工事特記仕様書3	かり カ田 本公	
			1	IEL-PAX	0390 JZ JZ01		一	

6	・パーティクルボード G	െ	色柄 ※無地 ・柄物		(6) (21) 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規	見制対象外 ・		[6.14.2~3] 6	26 可動間仕切		[20. 2. 3
内装改	版工箇所   厚さ   表裏面の状態   曲げ強さ   接着剤   難燃性   による区分   による区分   による区分   による区分   による区分   による区分	9) 内装改	※無心 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		内装改	施工箇所紙	壁紙の種類	質 その他 防火種別		20 H W H T 9	構造形式 構造基材の種類 総厚さ 表面 R	面仕上材
修工事(編	- 構造用バネル 施工箇所 厚さ 等級	修 工 事 17 合成樹脂塗床	※適用しない 種別 施工箇所 工法	仕上げの種類	修工事	図示による · · ·	· · · ·	<ul><li>・ 不燃 ・準</li></ul>	工事		・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・バネル式 ・スタッドバネル式	5 ※メラミン樹脂 ・不燃 上 焼付又は アクリル樹脂焼 ・壁紙張り
(a)	#E-L 回 / (mm) **********************************	が き )	・厚膜型塗床材 弾性かりが樹脂系塗床	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	。 き)	モルタル・プラスター面の下均	'   '   '   '   '   '   '   '   '   '	·   · / ////// · 4	**************************************		・ スラッドハネル式       中心周波数500Hzの音について透過損失 (dB)	・至私張り
9 接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 [6.5.3][6.8.2][6.9.3][6.11.4.5] ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外		※厚膜型塗床材 ※薄膜流し展ペエ エボ や樹脂系塗床 ・厚膜流し展ペエ ・樹脂モルクル工法		② モルタル塗り	コンクリート・ALC面の下均 せっこうボード面の下地調整	※RB種 ・		[e 15 2 e]		・36未満 ・36以上 パネル内に取付ける建具 ・あり (※図示 ・ ) ・な 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標仕19章によ	
10 防腐・防蟻処理	・防腐、防蝎処理が不要な樹種による製材及び集成材 適用部位: ( )		- 薄膜型塗床材 - 7ウリル樹脂塗床 (JIS K 5970)	工程 塗布量 (kg/m²) [6.10.2~3]		吸水調整材は、改修標準仕様書 既製目地材 ・設ける 施工値 ・設けない		大 (※図示・ )	[6. 15. 3, 6]	27 移動間仕切	ガラス留め材 ※ガスケット ・シーリング	[20. 2. 4
	・薬剤の加圧注入による防腐・防錐処理 適用部位 保存処理性能区分 ・・ド2・・ド3・・ド4		(3.5 x 53.5)	・ 表面仕上げ	②3 タイル張り	床目地 ・設ける(工法) ・設けない ・ 設けない ・ 中縮調整目地の位置 床タイル		) (内でと ・ 図示 ・	) [6 16 2~4]		構造形式 操作方法 圧縮装置の 総厚さ (mm)	表面仕上材 対質 パネル表面 仕上げ (dB/500Hz
	・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部位 処理の方法 ※改修標仕6.5.5(a)(iii)(27~21による・			溶剤 ・水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色	0711127		レ以外 (・図示・		, [0.10.2 1]		・平行方向 移動式     ・手動式     ・ブッシュ式       ・電動式     ・ハンドル式       ・部分電動式     ・100程度	
			塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・	·標準色 ·		タイルの形状、寸法等 施工 主な用途 形状/寸法 吸水 箇所 による区分 (mm) I	(率による区分 うわぐすり類 Ⅱ類 Ⅲ類 施ゆう無ゆ	り 役物 色 再生材 ゆう有 無 標準 特注 適用	の耐凍害性 滑り G 有 無 性		パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能、標仕19章による。 連音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音につい ハンガーレールの取付け下地の補強	いての透過損失とする。
	・ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐、防蟻処理 適用部位( )	18 フローリング張り	単層フローリング G 種類 工法 樹種 序さ	[6.11.2~7] 大きさ 仕上塗装 間伐材等		図示 ・			1 . 1 . 1		※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力 ・図示	
① 軽量鉄骨天井下地	野輪等の種類 [6.6.2~4] 屋外(※25形 ・19形) 屋内(※19形 ・25形) ・屋外の軒天井、ビロティ天井等		・7ローリング・ボート・ ・ 釘留め工法 ※なら 15 #	仮幅75 ・塗装品 版長さ500以上 ※無塗装品		標準的な曲がりの役物は一体成試験張り ・行う ※行れ	<b>対形とする</b>			② トイレブース	移動間仕切の壁面当たり枠 ※適用する(製造所の使用に	よる) ・ [20.2.5 ドアエッジ、形状
	野橘受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・ ( ) 周辺郎の端からの間隔 ・図示 ・ 野縁の間隔 ・300程度 ・ ( )			版幅75 版長さ500以上 版幅75		見本焼き ・行う ※行れ 既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事!		·タルとして、セメント、紙	<b>田骨材、混和材等を</b>		表面材の種類 色柄 <u>胸間</u> 形状 ※ メラミン樹脂系化粧板 ※ 無地 ※幅木タイプ	形状 材質 ※ アルミニウム製
	版存の埋込みインサート ・使用する (・)使用しない あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う (理外の試験荷重: ) ・行わない			版長さ500以上 803×303 ・塗装品		予め工場において所定の割合に (品質・性能・試験方法)	配合した材料とする	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ 柄物 ・	<ul><li>・ R</li><li>・ 表面材と同材</li></ul>
	・吊りポルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 ・		工法・・・・	※無塗装品       ※303×303     ・塗装品       ・ ※無塗装品	]	建築材料等品質性能表による ※接着剤による陶磁器質タイル タイルの形状、寸法等				29 視覚障害者用 床タイル	吊り方式 ※中心吊、戸当たり付 ・ ( ) 施工箇所 種類	[11.2.2] [19.2.2] 寸法 (mm) 厚さ (mm)
	・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※改修標任6.6.4(h)(1)(2)による		・ モザ イクハ ーケット ・接着工法 ・ ・	・塗装品 ※無塗装品		施工 主な用途 形状/寸法吸力 箇所による区分 (mm) I	類 Ⅱ類 Ⅲ類施ゆう無ゆ・	⊅う有 無 標準 特注 適用 [	の耐凍害性 G 有 無 備考		・塩化ビニール製           ・磁器質タイル ・せっ器質タイル	**300 × 300 · · · 7. 0 · · **300 × 300 · · ·
	・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 ・		天然木化粧複合フローリング G     できた/大きさ 種類     正法 物種 (mm)	別 防湿処理 仕上塗装 <b>間伐材等</b>	_	図示 -					・レジンコンクリート製・コンクリート製・磁器質タイル・せっ器質タイル       ・レジンコンクリート製・コンクリート製	*300 × 300 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	- 屋内外への耐震構造 ・行う ※行わない 構造箇所 ※図示		※複合1種7ローリング・釘留め工法 ※なら ・複合2種7ローリング (根太張り) ・	種・適用する ・塗装品 ・ ・適用しない ※無塗装品	1	標準的な曲がりの役物は一体的 試験張り ・行う ※行れ	つない				ブロックパターンは、JIS T 9251 による ・樹脂系点字鋲 (タイルカーペット用)	
	補強方法 ※図示 ・ ・耐風圧性を考慮した補強		(直張り) ・接着工法 ※なら 板厚	<u></u>	<u> </u> 	見本焼き ・行う ※行木 ・有機質接着剤(タイプI) が ※有機質接着剤(タイプⅡ) が	<b>恒工箇所</b> (	)	[表6.16.5]		寸法 ・300角 ※500角 色 ※黄色 ・ 樹脂系点字鋲の留付は、両面からの挟込みホック式または接着	₹
	- 行う (1. 一般共通事項 3.品質計画による) ※行わない 補強箇所 ※図示 - 補始方法 ※図示 -		・ 8以上・ 板幅 ・75以上 /	/		内装壁タイル接着材張りに使用 ※規制対象外 ・				③ 階段滑り止め	樹脂系点字鋲突起の形状・寸法及びその配列は JIS T 9251 に	
① 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 [6.7.3] [表6.7.1] ※改修様任6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・		板長さ 900以上		24 セルフレベリング材 塗り	種類 ・せっこう系 ・t 塗厚(mm) ・	2メント系		[6. 17. 2~3]		材種 幅 (mm) 取付け工法   ※ステンレス製 (SUS304) ※約35 ※接着工法	端部フラットエンド ※ビニル製 ・ステンレス製
① ビニル床シート 回	スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 [6.8.2,3]		接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・行う (施工箇所 )	規制対象外	25 フリーアクセスフロア	施工箇所 寸法		定荷重 (N) 表面仕上げも	[20. 2. 2] 才 備考		樹脂製ゴムタイヤ入り ・ 埋込み工法	・なし
	種類		※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・			※450角以 600角以	LE ※100 ※30	• •		31 床目地棒	床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる ※ステンレス製 □型 (幅40程度 ⑦ 1.5) ←31- ・ステンレス製 6×12 ・黄銅製 6×12 ←3-3-2)	[20. 2. 7
	・発泡層の     ・無地     ()防滞性       あるもの     ・耐薬品性       工法 (※)熱溶接工法 ・突付け (施工箇所: )     )	19 畳敷き	・行わない 種別 ・A種 ・B種 ※C種 ・D種 (畳床: KT-I・KT-II・ 下地の種類 ※ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン [d			※450角以 600角以		3000 ・帯電防止床タイル 5000 ※タイルカーペット	,	32 手すり		材種 仕上
	特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ~1×10 0 程度		・標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びス			※450角以 600角以		3000 ・帯電防止床タイル 5000 ※タイルカーペット	+		・1段 ・35φ ※45φ ・ ※タモ ※2段 ※35φ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	*CL
14 ビニル床タイル 🖸		② せっこうボード その他のボード張	発散が極めて少ない材料を使用したものとする。	[6.13.2~3]		適用地震時水平力 1階及U 中間階	√地階 ※0.6GI ( ~ 階) ※0.6GI					
	JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考   ・FT   ※無地 ※300×300 - 帯電防止 ※2.0   (機能に±4床分4) - ・ 持物 ・450×450 - ・ 防滑性 - 2.5	その他のホート張	種 類 記号 ・ 硬質木毛セメント板 G HW ・ 15 ・ 15	***		帯電防止床タイル ・置敷タ			· 5)		※O空(2枚) ※34Φ・ (DM共) 点字表示板( ) 箇所 JIS T 0921 に基づく点字の表示原則及び点字表示方法に	-
	************************************		・普通木毛セメント板 G     NW     ・15       ・けい酸カルシウム板     0.8FK     ・突付け       1.0FK     タイプ2			寸法精度 ※標仕20.2.2(b)(5)(i)~( 厚さ ±0.5mm					※ポリカポネード製 大きさ 120×150程度 厚み ※塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚	0.1程度
	・T T           ※FOA         ・無地         ※500×500         ※帯電防止         ※4.0			・ タイプ (・9 (不燃) ※12 ・ ) プ (・12 (不燃) ・15 ・19 ・ )		平坦度 パネル周辺部 1.00 図心と各頂点を結ぶ	ぶ線上部 2.0mm以下			33 ブラインド	・再使用する         ・新設する           形式         操作方法         種類         スラットの材種 (m	[20.2.12 小幅 ボックス・レール 寸法・ m) の材種 取付箇所
	( 置敷きじ * 56床9(4) ・ 柄物 ・ 防滞性 以上 ・ FOB 特殊機能		○せっこうボード GB-R ⊗突付け(	・455×910 ベベルエッジ) ・継目処理 燃) ・15 (不燃)		表面仕上村の品質、性能は、根 床パネルの材質 ※7ルミニウム 構成材の材質 ・アルミニウム	合金ダイカスト製、スチール製又 ム製 ・鋼製(仕上げ:	) •			・横型 ・手動 ・ゴード式	25 ※鋼製 ・図示
	*帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10~1×10 <sup>1</sup> 2程度		- ※910×273 ・不燃積層せっこうボード GB-NC ※実付け	0 - 910×1820 と		スローブ及びボーダー ※製造 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面	面積に対する設置割合 3	※50%以上 ・20~30%			・電動 - ※2本操作コード式・アルミスラット・ ・手動 ・1本操作コード式・クロススラット・	80 7ルミニウム合金製 ・図示
	置数形だ 1s床外(4 (F0A・F0B) の接着剤は粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする		₩450×910	化粧有 (トラバーチン模様) ・910×910		配線取り出し開口 ・パネル ・図示 空調用吹き出し(吸い込み)/					・電動 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	100 ////(二八八百 並 級
	- 帯電防止は"=164346 (n' 48-体917') 下記に示す製造所の商品程度とする ( )		<ul> <li>シージングせっこうボード GB-S ①2.5 (※</li> <li>・強化せっこうボード GB-F ・12.5 (不)</li> <li>・化粧せっこうボード (木目) GB-D ※目透し</li> </ul>	* 15 (不燃)	1	(性能・試験方法) ローリングロード性能 ・適用	用する 適用室				クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製	品を使用する場合 G
	・耐熱性ピニ族ナ4 下記に示す製造所の商品程度とする ( )		模様(・)	燃) 幅440mm程度 ※9.5 柾目 ・板目) 専用下地材有り 03 による (※1.2 ・ )	]	※適用しない		=1 5mm N T		34 カーテン	・再使用する     ・新設する       形式     開閉操作     ひだの種類	[20.2.14 商品名 (程度) 取付箇所 備考
(5) ビニル幅木	材質 ※軟質 ・硬質 高さ (mm) ※60 ①75 ・100		せっこうボード等の下地は図示による 遮音シール材 ※アクリル系またはウレタン系シーリング			5,000N:積載荷重1000N	マけ、割れがたつきなど( 以上において、最大変形	:の欠点がないこと) 形量1.0mm以下			・シングル ・片引き ・ダブル ・引分け ・電動 ・ブレーンひだ、片び	· 図示
16 カーペット敷き G	厚さ(mn)     ※1.5以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・ジョイコンパウンド (JIS A 6914) 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放射 ※規制対象外 ・	效量		・2重床用複合アウトレット用 適用室					・シングル ・片引き ・ダブル ・引分け ・電動 ・ブレーンひだ、片ひげ	• 図示
	N1 ルルル   佐州   加上田州   リ点   総件で(IIII)   編号		合板類の板付け ※B種 ・A種			開口の大き	きさ vセント(電源):2P15A		4㎡につき 1 ヶ所		使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合品については G とする	
	・第二種         ・         ・         防汚加工品           ・カット・ループ供用         ・第一種         ・500×500         ※6.5					情報	<b>服用モデュラージャック</b> の入った	7 (電源) : 8極8芯× 1 ったアウトレットが納まる	大きさ		暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上	•
	・第二種  ・  ・					↓ ↓ 取付方法	フリーアクセスフロ	コア製造所の仕様とする				
							ı					
				→ Nakazato Design - <sup>級建築士事務所</sup>	〒896-0031	士事務所登録番号;第1-3				症防止対策改修]		図面番号 A - 5 設計者 中里 末治
				中里建築設計事		いちき串木野市東島平町23 0996-32-0281	□ 図面名	名称	建築改修コ	C事特記仕様書 4	4 縮尺 一	一級建築士 第140843号

	<u> </u>	T	I	Т	T			
(6) 35 カーテンレール	・再使用する     ・新設する       材種     ※アルミニウム製       ・ステンレス製	(4) 塗装	20 H 2 H 2 H 2 H 2 H 2 H 2 H 2 H 2 H 2 H	工程 押		測定時期 測定場所 室名( ) 室名( ) 備考	8	試験 路盤結固め度の試験 ※行う ・行わない
内 装 改	形式 ・シングル ・ダブル - ゲブル - 片引き ・引分け		塗装の種類 塗 装 面 木部屋外	塗替え   新規   損   ※B種 ・ ※A種 ・   自		一	境 境 配	舗装
修 工	強さによる区分 ※10-90 ・		・ 合成樹脂調合ペイント塗り ・ 木部屋内	※B種 · ※B種 · B		施工区画周辺又は敷地周辺 ( )点 ( )点 ( )点   処理作業室内 ( )点 ( )点	慮改	材 料   厚さ (mm)   ストレートアスファルト ・図示 ※30
続	仕上げ     ※アルマイト・       形状     ※角形・       金額     ・		変料の種別 ※1種・2種			処理作業中   セキュリティーゾーン入口 ( )点 ( )点 ( )点   負圧・除じん装置の排出口 ( )点 ( )点	   エ   事	試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ※行う ・行わない
(き) 36 ブラインドボックス			** ** **	具以外) ※B種 ・ ※B種 ・ ※B種 ・A種 ※B種 ・A種		施工区面周辺又は数地周辺 ( )点 ( )点 ( )点	続	短水はアスプアルト混合物等の細口の破 ※17つ 17つない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・
及びカーテンボックス	3 満型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示材質 ・集成材 (仕上げ: )		・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE) ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)			処理作業後 施工区画周辺又は敷地周辺 ( )点 ( )点	き 8 排水性	[22.8.2、3、6]
	※アルミニウム製 押出型材 (市販品) 表面処理・C-1		鉄鋼面 上塗り等級 ( 亜鉛めっき細面	)級 · A種		測 定 点 合 計 ( )点 測定室(· · · )	アスファルト舗装 [	G         区分         種類         材料         厚さ (mm)           表層         ・排水性舗装用アスファルト混合物         ※ポリマー改質アスファルトⅡ型         ・図示
	0-2		・耐候性塗料塗り(DP) 上塗り等級(			測定点(・表による ・各測定場所毎1ヶ所 合計8点)		・ 加勢72774ト混合物等(変数72774ト混合物) ・ 亜生72774ト G ・ 図示
	皮膜等の種類 ※標仕表14.2.1による		コンクリート面及び押出成形セメンコンクリート面等	※B種 ・ ※B種 ・A種		アスベスト含有吹付け材の除去 [9.1.3] 除去対象範囲 ※図示		<del>幸</del> 度 ・ ・
	・鋼製 (仕上げ: )		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	※B種 ・   ※A種 ・		除去工法 ※[9.1.3] (b) (1) (i) ~ (iv) による 除去したアスペスト含有吹付け材の処理		舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・ 試験
37 コーナービード (壁ボード	材質     ※アルミニウム押出型材差込型     ・(       ※シルバー     ・焼付     ・(		屋内の亜鉛めっき鋼面 ・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	**B種・ **********************************		除五したアスペスト音句吹付け材の地理 ※密封処理 ・セメント固化		アスファルト混合物等の抽出試験 ※行う ・行わない
出隅保護金物)	施工箇所 ※図示		・合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T) ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※B種 ・ ※B種 ・A種	3 アスベスト含有	アスペスト含有保温材等の施工調査 ※行う [9.1.1]	9 路盤	路盤の厚さ ・図示 ・ [22.2.2.3、5] [表3.2.1] 路盤材料 ・砕石 C-40
③8)天井見切縁	材質 ※アルミニウム押出型材 塩化ビニル製施工箇所 ※仕上表による・()		・ラッカーエナメル塗り (LE)	※B種 · A種 ※B種 · A種	保温材等の処理	処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様等       材料名     厚さ (mm)     処理を行う範囲		※再生クラッシャラン G RC-40
③9) 天井点検口			<ul><li>・オイルステイン塗り (OS)</li><li>・木材保護塗料塗り (WP)</li></ul>			・アスペスト含有保温材 ※図示・ ・アスペスト含有耐火被覆板 ※図示・		・クラッシャラン鉄鋼スラグ G CS-40 ・
© 7-01-11-12-12-1	材種 寸法 形式 外枠 内枠		つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (コンクリート面、モルウルテ ボード面) の塗替えの場合のしみ止め	面、プラスター面、せっこうポード面、その他		・アスペスト含有断熱材 ※図示		- 図示 試験
	※アルミニウム製     ※450×450 -600×600    般形     ・屋内外用     ※額縁タイプ ・屋内用     ・目地タイプ     ・目地タイプ		※改修標仕表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラー。		4 断熱材 G	フェノールフォームのホルムアルデヒドの放散量 [9.3.2] [9.5.2]		路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない
	・ 気密形   (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による		合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ」 ※改修標仕表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラー			※規制対象外品 ・第三種品 ・打込み断熱材	10 アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・ [22.4.2~6] [表22.4.1] 材料
40 床点検口		5 フッ素樹脂塗装	打放しコンクリート面保護工法			材 種 発泡剤の種類 種 類 厚 さ		アスファルト ※再生アスファルト G ・ストレートアスファルト
40 MMX			(下塗材) 水性 浸透性吸水防止材 (上塗材) ・水性フッ素樹脂クリヤー			・ビーズ 法が リスチレンフォーム保温材 A種 ※保温板2種b (一般 部) ※25・( ) ※押出法が リスチレンフォーム保温材 A種 ※保温板2種b (一般 部) ※25・( )		骨材     ・道路用砕石       ※アスファルトコンクリート再生骨材 G
	To X		・水性フッ素樹脂カラークリヤー			***(学口)(本学 **) **( )   *・( )   **( )   **( )   **( )   **( )   **( )   **( )   **( )   **(		加熱アスファルト混合物等の種類 区 分 地 域 種 類
	(底板) ※鋼製	6 焼付塗装	素 材 焼付種別 仕上げ	コート ベーク 部 位		・フェ/-ルフォーム A種		表層 ・一般地域 ※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)
	・ 450×450 ann min time in tin time in		・フッ素樹脂・ソリッド・カルタン樹脂			・現場発泡断熱材 (A種 1)     [9.5.3]       腱燃性     厚さ (mm)		基層 一般地域 粗粒度アスファルト混合物 (20)
	床 ※アルミニウム製 ※600×600 平面図による		・アクリル樹脂 ・メダリック			・ 25 ※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフピレン廻りの床版下等 難燃性を有すること が分的に後張りとしなければならない箇所		シールコートの施工 ・行う ・行わない 試験
	(目地)		・フッ素樹脂 ・フッ素樹脂 ・ウレタン樹脂 ・メタリック			・ ( ) 。 ( ) 。 。 ( ) 。 。 ( ) 。 。 ( ) 。 (		アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度
	※ステンレス製・・		・アクリル樹脂		5 外断熱改修工事 [G	外装材		間表の下にのは ※胆TDVX呼じなる小によりと工しない性反・・
	(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による		・亜鉛メッキ鋼板 ・ウレタン樹脂 ・メタリック			種類防火性能備考		
41 仕上塗材仕上げ	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [15.5.2]		77715			既存外壁の措置	そ   0	
	※規制対象外 ・					既存外壁仕上げ材の撤去 ・あり ・なし 下地面の清掃 ・行う ・行わない	世 特 記	
	種類   呼び名   防火材料   仕上げの形状等   ・薄付け仕上 ・内装薄塗材E ・ ・砂壁状じゅらく   8	(1) アスペスト成形板 の処理等	処理を行うアスベスト成形板 ※図示(仕上げ表による)			欠損部の改修方法 ・改修標準仕様書4.1.4による ・	項	
	塗材         ・内装滞塗材W         ー         ・京壁状じゅらく         環境           ・軽量骨材仕上         ・吹付用軽量塗材         ・・砂壁状         境		· 施工調査	[9.1.1.3~5]		工法 通気層の有無 ・あり ( mm) ・なし		
	塗材 ・こて塗用軽量塗材 ・ ・平たん状   虚点		※アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスペ			断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・		
			エチョナに元立っ、日代及び員子9の政部図書等によりア人へ 建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告す	する。		建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)		
0	事		調査範囲(※改修対象部位 ・図示 ) 貸与資料( )			・適用しない		
塗	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3] ※規制対象外		・アスペスト含有建材の石綿含有率測定		6 屋上緑化改修工事 3	植栽基盤及び材料 [9.6.1,2,3] 屋上緑化軽量システム ※適用する ・適用しない		
修工	防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。 (箇所: )		※ JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有率測定」       ・ (	方法」による		芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示・		
事 ② 下地調整	塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.2~7]		材料名 定性分析	定量分析		見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示・ (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による		
Z) TABIME	※塗替え面積の30%・図示・		・ (検体数: ) ・ (検体数: )	・ (検体数: ) ・ (検体数: )		かん水装置 ※設置する(種類 ・ ・ )		
	下地調整 下地調整の種別 ひび割れ部の補修		· (検体数: ) · (検体数: )	・ (検体数: ) ・ (検体数: )		既存保護層の撤去 ・行う ・行わない		
	本部   ※RB種・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・		アスベスト粉じん濃度測定	[9.1.1]		支柱 ・設置する(種類 ・図示 ・ )		
	鉄銅面		<ul><li>○行わない</li><li>・行う (下表よる)</li></ul>		7 透水性アスファルト 舗装改修工事	通用範囲: 歩道 [9.7.2~7、9.7.9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示・		
	亜鉛めっき面(鋼製建具) ※RB種 ・		測定室(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	) 室名( ) 👊 🚁		路床 路床の材料		
	モルタル、ブラスター面     ※RB種・     標準仕様書(18.2.1)     (・)行う       素地ごしらえによる     ・行わない		測定時期 測 定 場 所 測定 場 所 測定 場 所 測定	· 点 測定点 備 考		種別 材料 厚さ(mn)		
	コンクリート面 (DP以外) 、		処理作業前 施工区画周辺又は敷地周辺 ( )点	( )点		・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種         ・ 遊立         ・ 遊立         ・ 選款方泥から再生した処理土 G		
	コンクリート面 (DP) 、		処理作業室内 ( )点 セキュリティーゾーン入口 ( )点			*川砂、海砂又良質な山砂 (75 μmふるい通過量10%以下) ・図示・ :		
	せつこうボード面及び ※RB種・		毎正・除じん装置の排出口 ( )点 施工区画周辺又は敷地周辺 ( )点			※再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・図示		
			処理作業金内         ( ) 点           施工区画周辺又は敷地周辺         ( ) 点			・凍上抑制層 ・ 川砂、海砂又良質な山砂 (75 µmふるい通過量1096以下)		
③ 錆止め塗料塗り	錬止め塗料塗りの種別     [7.3.2~3]       塗装面     塗料     工程		測定点合計	( )点		- フィルター暦		
	<u> 塗替え                                   </u>		吹付けアスペストの施工調査 ※行う	[9. 1. 1]		路床安定処理		
	新規見え隠れ A種 ※B種・	の処理	アスペスト含有分析調査 ・行う ※JIS A 1481 「建材製品中のアスペスト含有率測定方法	法」による		※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種		
	塗替え     B種     ※C種・       EP-G     新規鉄鋼面見え掛り     B種     ※A種・		• (	)		性類 ・音通小ルトフラトセメント ・ プライアラシュセメント B 性 ・ 生石灰 (・特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・特号 ・ 1号)		
	新規見え隠れ   B種   ※B種 ・		材料名 定性分析 ・ (検体数: )	定量分析 ・(検体数: )		· 添加量 kg/m³(目標CBR ·5以上 · )		
	亜鉛めっき面 無殊表 C		・ (検体数: ) ・ (検体数: )	・ (検体数: ) ・ (検体数: )		・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/ <sup>3</sup> 以上 ・		
	EP-G 空間え し種 ※0.6種・		・ (検体数: )	• (検体数: )		厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上		
			試料採取場所 ※図示・( ) アスベスト粉じん濃度測定			透水係数 • 1.5×10 cm/sec以上 •		
			※行う			試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない		
						路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない		
						路盤 路盤の構成及び厚さ ・図示 ・		
						路盤材料 ※再生材のクラッシャラン G		
						・クラッシャラン鉄鋼スラグ G ・ ニー		
						· 図示		1
				<b>∠V</b> Nakazato Design Of	1100	±事務所登録番号:第1-31-8号 工事名称 消防本部感	染症防止対策改修工	下事 作成年月日 2023/03/05 図面番号 A - 6
				-級建築士事務所 由田神筑記計車器		ちき串木野市東島平町230番地 図面名称 建築改作		縮尺 一 設計者 中里末治
				中里建築設計事務		0996-32-0281 四面石777 建采以	/ 프 커 IV IL IX I I V	



## 内部仕上表

	区分		床		巾木		壁		天 井			  - 廻り縁	備考
室名			仕 上	床高	仕 上	高さ	仕 上	塗装	仕 上	塗 装	天井高	一旦り稼	<b>ル用・</b> 右
玄関・ロ	ローカ	既存	モルタル下地 100X200角磁器質タイル貼	±0	ステンレス製巾木 t=2.0 HL	75	モルタルコテ押えラフトンデラックス吹付	CL	ミネラートン t=9 張り LGS下地PBt=9捨張り		3, 000	塩ビ製	
		改修											
洗面所		既存	同 上	±0	同上	75	同 上 洗面台廻り:モルタル下地100角タイル貼(H=1,700マデ) 洗面台・ライニング部:人研ぎ	CL	同 上		3, 000	塩ビ製	洗面台(人研ぎ)L=4,300 D=500 シングルレバー蛇口6ヵテ 化粧鏡(457×610)6ヵ所、目隠しスクリーン(人研
		改修	既存のまま	±0	ステンレス製巾木撤去後 100角半磁器タイル貼		既存のまま 洗面台廻り: 既存100角タイル貼撤去後100角半磁器タイル貼替え 洗面台・ライニング部撤去後ライニング部新設(面台: ステンレス製H. L) 腰壁部: コンパネt=12, 防水石膏ポードt=12. 5下地100角半磁器タイル貼)		既存のまま		3, 000	既存のまま	洗面台(人研ぎ)撤去後大型シケ1台(L=1.800)新設シケ・ルルパー・蛇口3ヵ所及び洗面器(自動洗浄蛇口)3台目隠しスケリーン既存のまま、一部磨き補修
通信室		既存		±0 +200	ソフト巾木	75	モルタルコテ押え	AEP	ジプトン直張り LGS下地		2, 500	塩ビ製	カウンター タナ
		改修											
救急仮即	眠室	既存	同 上	±0	同上	75	同 上	AEP	同上		2, 700	塩ビ製	寝台、押入
通信仮眼		改修	長尺塩ビシート貼 t=2.0貼り替え	±0	ソフト巾木貼り替え 仮眠室間仕切部: ソフト巾木新設	75	見え掛り壁面下地処理の上、EPG塗装塗り替え 新設仮眠室間仕切: ピニールクロス貼 (LGS, 石膏ポート゚t=12.5張り下地) 及び一部7ルミパーティション	EP-G	天井村全撤去後、不燃化粧石膏ボードt=9.5貼替え (LGS下地は既存のまま) 天井点検口1ヶ所新設		2, 700	塩ビ製取り替え	寝台 押入全撤去、プースカーテンレール撤去 収納棚3ヵ所新設 下部押入付きタラミベッド(ダンバー式開閉装置)3ヵ所稼
倉庫		既存	モルタルコテ押えビニール系タイル貼	±0	モルタルコテ押え	100	モルタルコテ押え		同 上		3, 000	塩ビ製	
		改修											
便所		既存	モルタル下地丸モザイク窯変タイル貼り	±0			モルタル下地100角タイル貼		大平板 t=6 目透し張り LGS下地	VP	2, 500	塩ビ製	
		改修	丸モザイク窯変タイル貼り全撤去後 床モルタル塗り 金ゴテ仕上げ 長尺塩ビシート t=2.5貼り(防滑、防汚抗菌タイプ) ※小便器下(D=600) SUS目地棒t=5にて貼り分け	±0			既存のまま		既存のまま		2, 500	既存のまま VP	膳板、隔壁、洗面器、小便器、SK、化粧鏡は既存の 洗面器は既存のまま自動洗浄蛇口に取り替え 和風大便器、ロータンク全撤去後温水洗浄便座付洋風大 ペーパーホルケー取り替え(二連)、トイレブース全撤去後新
脱衣室		既存	モルタルコテ押えビニール系タイル貼	±0 +200	ソフト巾木	75	モルタルコテ押えラフトンデラックス吹付		バスリブ張り LGS下地		2, 400	塩ビ製	洗濯機パン1箇所、ビニールカーテン、 カーテンレール、吊棚
脱衣・シ		改修	200上りコンクリート及びピニル系タイル全撤去後 コンクリート打ちモルタルコテ押え下地 長尺塩ピシートt=2.5貼(防滑、防汚抗菌タイプ)	±0	ソフト巾木取り替え及び新設	75	見え掛り壁面下地処理の上、塗装塗り替え 間仕切はトイレブース (メラミン) 新設	EP-G	パスリブ、LGS下地共全撤去後 ケイカル板 t=6 目透し張り (LGS下地共) エボキシ樹脂エナメル塗装	エホ" キシ樹脂 エナメル	2, 440	塩ビ製 取り替え 新規	洗濯機パン1箇所撤去後新規洗濯機パンプヵ所設置 ビニールカーテン、カーテンレール撤去 シャワーユニット1ヵ所(標準設備共)新設
浴室		既存	モルタル下地丸モザイク窯変タイル貼り	+60~ +120			モルタル下地100角タイル貼		同 上		2, 400	塩ビ製	ステンレス浴槽、シャワー付きカラン2ヵ所、タオル掛け2ヵ所
脱衣・シ		改修	200上りコンクリート及びピニル系タイル全撤去後 コンクリート打ちモルタルコテ押え下地 長尺塩ピシートt=2.5貼(防滑、防汚抗菌タイプ)	±0	ソフト巾木新設	75	見え掛り一部モルタル下地100角タイル撤去後 見え係りモルタルコテ押えEPG塗装塗り替え 間仕切はトイレブース(メラミン)新設	EP-G	バスリブ、LGS下地共全撤去後 ケイカル板 t=6 目透し張り (LGS下地共) エボキシ樹脂エナタル塗装 天井点検ロ1ヶ所新設	エポ キシ樹脂 エナメル	2, 440	塩ビ製 取り替え 新規	ステンレス浴槽、シャワー付きカラン2ヵ所(露出配管共)全撤: タホル掛け2ヵ所全撤去 洗濯機パン1ヵ所新設 シャワーユニット1ヵ所(標準設備共)新設
待機室	・食堂	既存	モルタルコテ押え長尺塩ビシート貼 t=2.0	±0	ソフト巾木	75	モルタルコテ押え 一部LGS下地石綿板 t=8捨て張り 、PB t=12目透し張り (不燃) 流し廻りのみモルタル下地100角タイル貼	AEP	ジプトン直張り LGS下地 (不燃)		2, 700	塩ビ製	流し台、コル台、調理台、フート、吊戸棚 造付食器棚、造付吊戸棚
		改修	一部長尺塩ビシート貼 t=2.0貼り替え (平面詳細図参照)	±0	ソフト巾木全撤去後 見え掛り部ソフト巾木新設	75	一部見え係りモルクルコテ押え壁面下地処理の上、EPG塗装塗り替え (展開図参照) 新設食堂~仮眠室間仕切: ビニールクロス貼 (LGS, 石膏ボードセ=12.5張り下地)	EP-G	天井村全撤去後、不燃化粧石膏ボードt=9.5貼替え (LGS下地は既存のまま) 天井点検口1ヶ所新設		2, 700	塩ビ製 取り替え 新規	上記既存のまま 造付吊戸棚一部撤去(両開き扉1カ所分)
仮眠室		既存	同 上	±0	ソフト巾木	75	モルタルコテ押え 一部石綿板 t=8目透し張り (不燃) LGS下地、PB t=12捨て張り		ジプトン直張り LGS下地		2, 700	塩ビ製	寝台 押入 造付吊戸棚
		改修	長尺塩ビシート貼 t=2.0貼り替え		ソフト巾木全撤去後 見え掛り部ソフト巾木新設	75	見え掛り壁面下地処理の上、EPG塗装塗り替え 新設仮眠室間仕切: ピニールクロス貼 (LGS,石膏ポート゚t=12.5張り下地)	EP-G	天井材全撤去後,不燃化粧石膏ボードt=9.5貼替え (LGS下地は既存のまま) 天井点検口3ヶ所新設		2, 700	塩ビ製 取り替え 新規	寝台 押入 造付吊戸棚全撤去 収納棚11ヵ所新設 下部押入付きタラミベッド(ダンバー式開閉装置)11ヵ所
車庫		既存	コンクリート同時押え	-150~ -250	ベニヤ仮枠 コンクリート打放し補修	GL+500 まで	ベニヤ仮枠コンクリート打ち放し下地処理の上 アクリル系リシン吹付		同 上			-	サシコ掛け ピット 排水・排油ピット 洗面器
		改修	既存のまま	既存の まま	既存のまま	既存の まま	既存のまま		既存のまま			_	サシコ掛け ピット 排水・排油ピット 既存のまる 洗面器撤去後マルチシンク(SK) シングルレーバー
倉庫		既存	同 上	-100	同上	同上	ベニヤ仮枠コンクリート打ち放し補修		同 上		4, 300	_	タナ 作業台
<i>A</i> F	-	改修											<u> </u>
発電機3		既存	同 上	-100	^゚ニヤ仮枠 コンクリート打放しの上 ク゚ラスウール t=50、ク゚ラスファイパークロス トンボ押え		ベニヤ仮枠コンクリート打ち放しの上 グラスウールt=50、グラスファイバークロス トンボ押え		ベニヤ仮枠コンクリート打ち放しの上 グラスウールt=50、グラスファイバークロス トンボ押え			-	※発電機基礎は建築工事
		改修											
空調機構	1八土	既存	同 上	-100	同 上		同 上		同 上			_	
		改修											

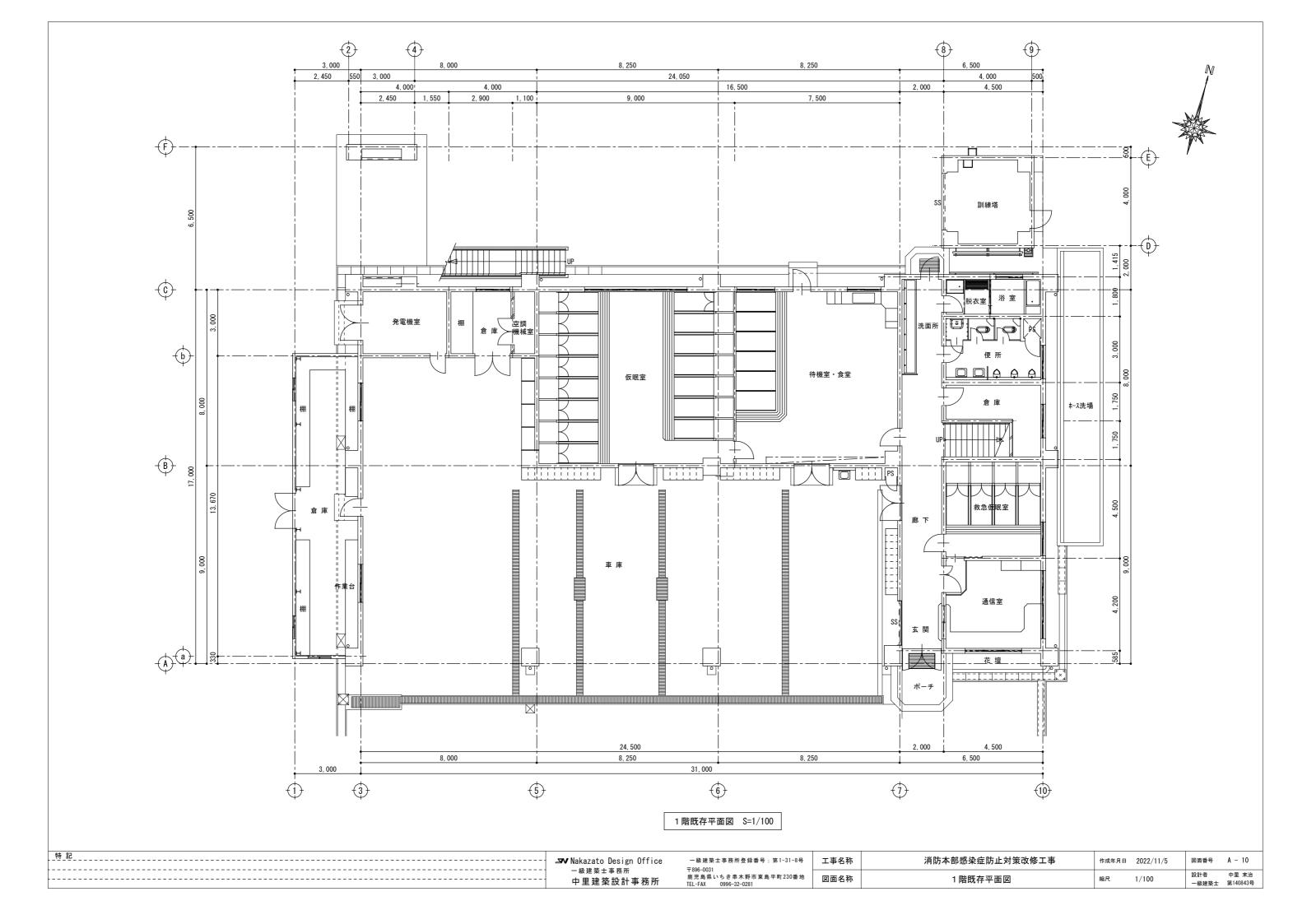
※凡例 改修 は既存のままとする。

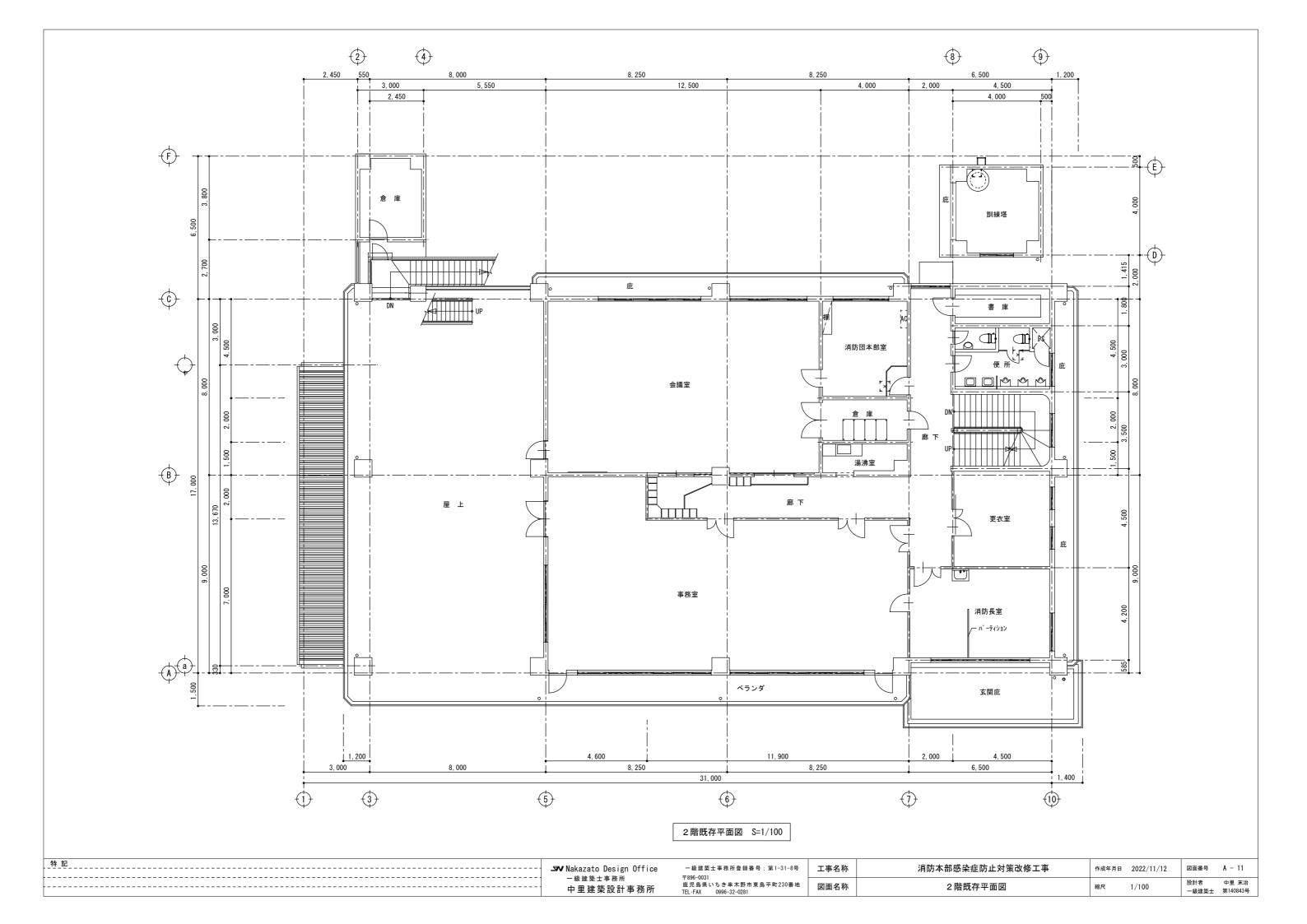
19 at	- <b>∠≂∨</b> Nakazato Design Office	一級建築士事務所登録番号;第1-31-8号	工事名称	消防本部感染症防止対策改修工事	作成年月日 2023/03/07	図面番号 A - 8
	一級建築士事務所 中里建築設計事務所	〒896-0031 鹿児島県いちき串木野市東島平町230番地 TEL·FAX 0996-32-0281	図面名称	1 階既存・改修後内部仕上表	縮尺 一	設計者 中里 末治 一級建築士 第140843号

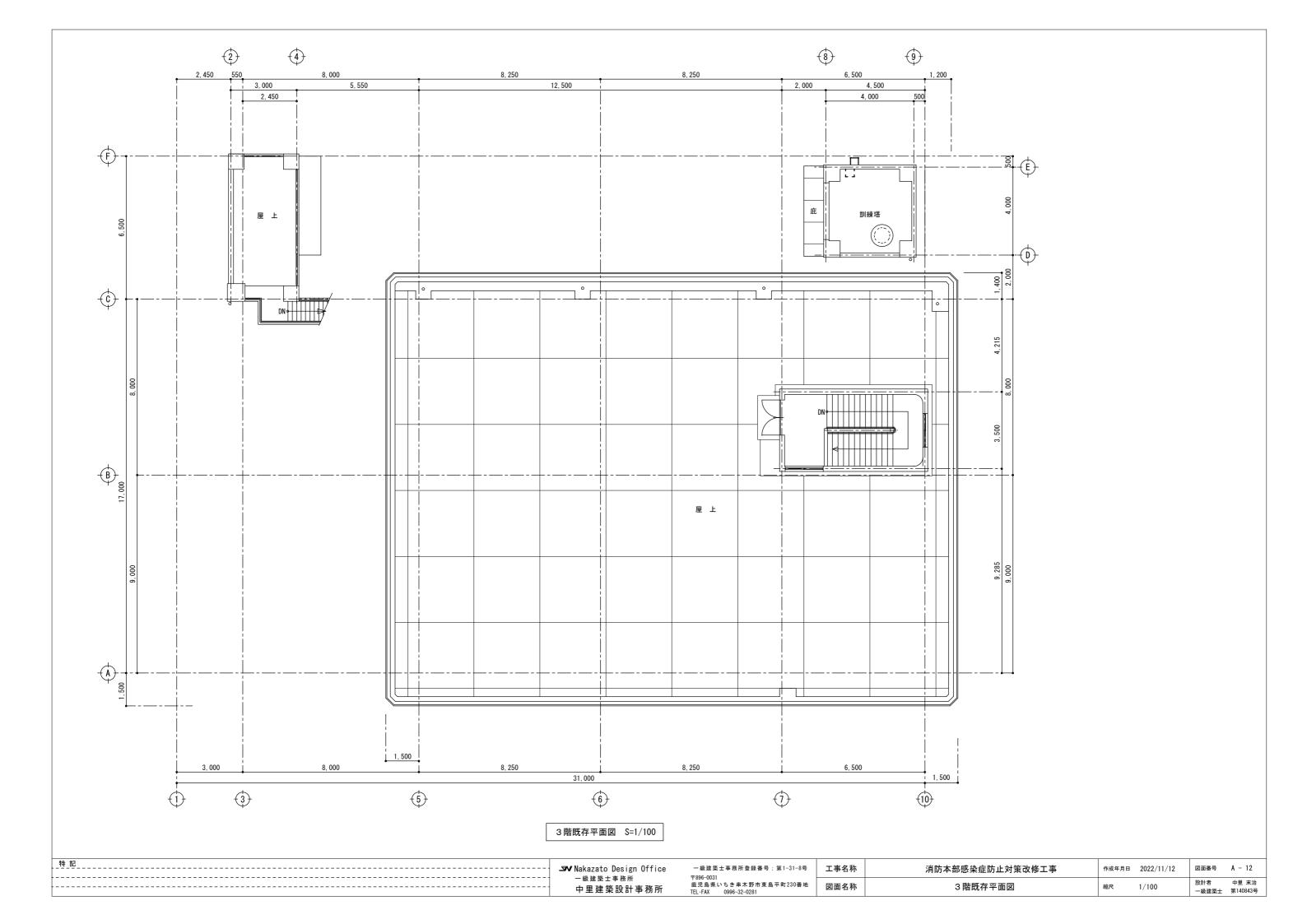
	区分		床		巾木		壁		天 井				加口绿	/## =##.
	室名		仕 上	床高	仕 上	高さ	仕 上	塗装	仕 上		塗 装	天井高	- 廻り縁	備考
階	ローカ	既存	モルタルコテ押え長尺塩ビシート貼 t=2.0	±0	ソフト巾木	75	モルタルコテ押え 一部石綿板 t=8目透し張り(不燃) LGS下地、PB t=12捨て張りラフトンデラックス吹付	CL	ジプトン直張り LGS下地			2, 500	塩ビ製	下足入れ
_	会議室	改修 既存 改修	鋼製床組下地耐水ベニヤt=15捨張り 桧フローリング=15張り(JAS脳天ビス留)ダンケル仕上	+210	木 製 OP	75	モルタルコテ押え	AEP	LGS下地、PB t=9張りビニールクロス貼 曲面部下地はベニヤt=5.5張り(曲げ加コ			2, 700 3, 000	塩ビ製	上下黒板スライドウォール
	消防団本部室	既存	同 上 (一部踏込部はモルクルコテ押えピニール系タイル貼)	+210 ±0	同 上 OP (一部踏込部はソフト巾木)	75	同上	AEP	ジプトン直張り LGS下地			2, 500	塩ビ製	
	‡ 消防団本部室 ・仮眠室	改修	新設仮眠室のみ長尺塩ビシート t=2増し張り 消防団本部室, 踏込部は既存のまま		ソフト巾木貼り替え (新設仮眠室のみ)	75	新設仮眠室間仕切: ピニールクロス貼(LGS,石膏ポート゚t=12.5張り下地) 新設仮眠室のみ 見え掛りモルタルコテ押え壁面下地処理の上、EP-G塗装塗り替え 消防団本部室は既存のまま	EP-G	天井村全撤去後、不燃化粧石膏ボードt=9. (LGS下地は既存のまま) 天井点検口1ヶ所新設	5貼替え		2, 500	塩ビ製 取り替え 新規	収納棚2ヵ所新設 下部押入付きタタミベット゚(ダンパー式開閉装置)2ヵ所新記
	倉庫	既存	同 上	±0	ソフト巾木	75	同 上	AEP	同上			3, 000	塩ビ製	タナ
		改修												
	湯沸室	既存	防水モルタルコテ押え長尺塩ビシート貼 t-2.0	±0	同上	75	モルタルコテ押えラフトンデラックス吹付	CL	ジプトン直張り(不燃) LGS下地			2, 500	塩ビ製	流し台、コンロ台、吊戸棚
		改修												
	事務室	既存	モルタルコテ押え長尺塩ビシート貼 t=2.0	±0	ソフト巾木	75	モルタルコテ押え 一部石綿板 t=8目透し張り LGS下地、PB t=12捨て張り	AEP	ジプトン直張り LGS下地			2, 700	塩ビ製	窓下タナ
		改修												
	消防長室	既存	同 上	±0	同 上	75	モルタルコテ押え 一部LGS下地石綿板 t=8目捨て張り PB t=12張りビニールクロス貼		LGS下地PBt=9張りビニールクロス貼			2, 700	塩ビ製	スクリーン 洗面化粧台(設備工事)、吊戸棚は含む
		改修												
	更衣室	既存	同 上	±0	同 上	75	モルタルコテ押え 一部石綿板 t=8目透し張り LGS下地、PB t=12捨て張り	AEP	ジプトン直張り LGS下地			2, 400	塩ビ製	
		改修												
	便 所	既存	モルタル下地丸モザイク窯変タイル貼り (アスファルト防水 8層下地)	±0			モルタル下地100角タイル貼		大平板 t=6 目透し張り LGS下地		VP	2, 400	塩ビ製	膳板 隔板:テラゾーブロック トイレブース 洗面器,小便器,温水洗浄便座付洋風大便器,化粧鏡, ベ
		改修	丸モザイク窯変タイル貼り撤去後 床モルタル塗り 金ゴテ仕上げ 長尺塩ピシート t=2.5貼り(防滑、防汚抗菌タイプ) ※小便器下汚垂れ石(D=600)新設	±0			既存のまま		既存のまま			2, 400	既存のまま	膳板、隔壁、洗面器、小便器、温水洗浄便座付洋風大 化粧鏡、^-n'-ホルグ-は既存のまま 洗面器、小便器は既存のまま自動洗浄蛇口に取り替え
	女子便所	既存	同 上	±0			同 上		同上		VP	2, 400	塩ビ製	洗面器、温水洗浄便座付洋風大便器、化粧鏡
	2720	改修	丸モザイク窯変タイル貼り全撤去後 長尺塩ピシート t=2.5貼り (防滑、防汚抗菌タイプ)	±0			既存のまま		既存のまま			2, 400	既存のまま	温水洗浄便座付洋風大便器、化粧鏡は既存のまま 洗面器は既存のまま自動洗浄蛇口に取り替え
	書庫 t	既存	モルタルコテ押えビニール系タイル貼	±0	ソフト巾木	75	モルタルコテ押え	AEP	ジプトン直張り LGS下地			3, 000	塩ビ製	タナ
	女子シャワールーム	改修	ビニール系タイル貼 撤去後 長尺塩ピシート t=2.5貼替 (防滑、防汚抗菌947)	±0 +110 一部)	ソフト巾木貼り替え 長尺塩ピーシート巻き上げ (脱衣室立ち上がり部)	75	見え係りモルタルコテ押えEP-G塗装塗り替え 間仕切はトイレブース(メラミン)新設	EP-G	天井村、軽鉄下地共撤去後軽鉄下地新設 ケイカル板 t=6 目透し張り(LGS下地共 IA <sup>*</sup> キシ樹脂エナシル塗装 天井点検ロ1ヶ所新設		おおか樹脂	2, 400	塩ビ製 新規取替	温水洗浄便座付洋風便器、2連紙巻器新設 シャワーユニット1カ所(標準設備共), 洗面化粧台系 タオル掛け L=600 , 洗濯機パン各1ヵ所新設 トイレブース新設
	階段室	既存	モルタルコテ押え長尺塩ビシート貼 t=2.0	HF/	ソフト巾木、ササラ巾木		モルタルコテ押えラフトンデラックス吹付	CL	上裏:モルタルコテ押えラフトンデラッ 塔屋:ジプトン直張り LGS下地	クス吹付	CL	2, 400	塩ビ製	ステンレスノンスリップ (ゴム入り) ステンレスパイプ手摺
		改修												
Ī	P S	既存	コンクリート同時押え				ベニヤ仮枠コンクリート打ち放し 補修		ベニヤ仮枠コンクリート打ち放し 補修					
		改修												
	訓練塔	既存	コンクリート同時押え				ベニヤ仮枠コンクリート打ち放し 補修		1~3階:ベニヤ仮枠コンクリート打ち放し 補 4~5階ベニヤ仮枠コンクリートト打放し下地処 アクリル系リシン吹付					訓練用金物については消防署と打合せの後、施工のこと
		改修												
		※凡例 💆	*************************************											

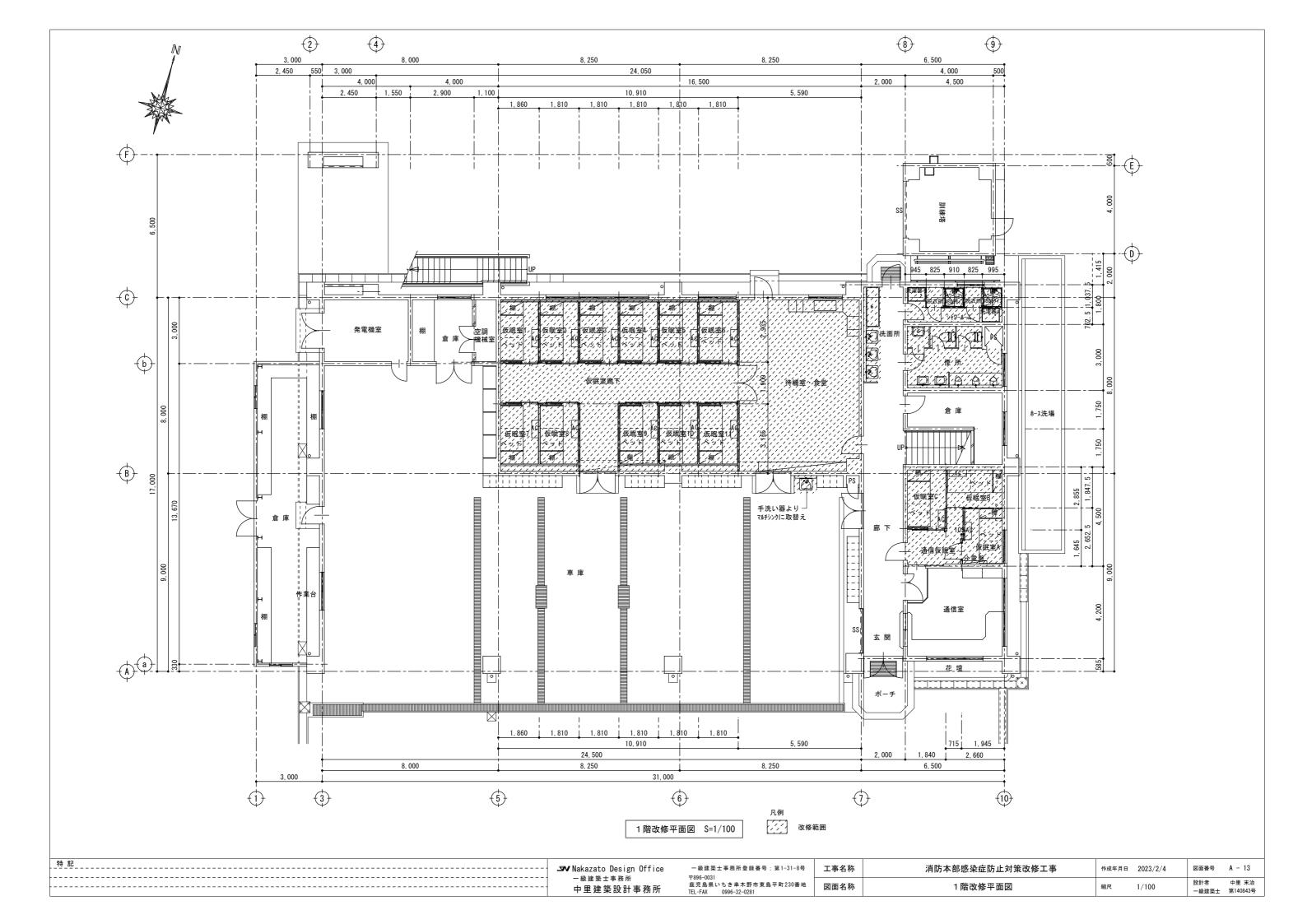
〒896-031 鹿児島県いちき串木野市東島平町230番地 TEL-FAX 0996-32-0281

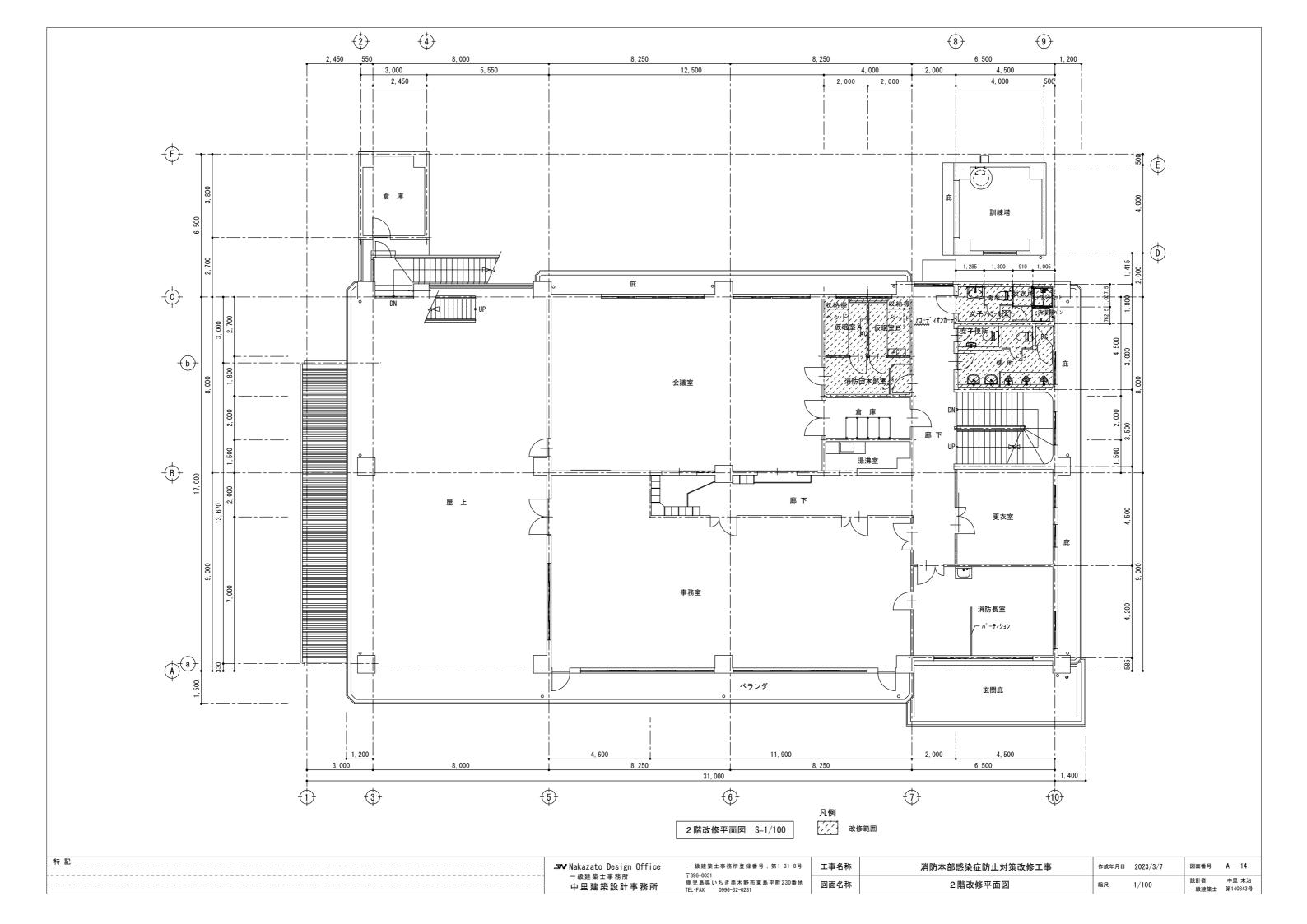
設計者 中里 末治 一級建築士 第140843号

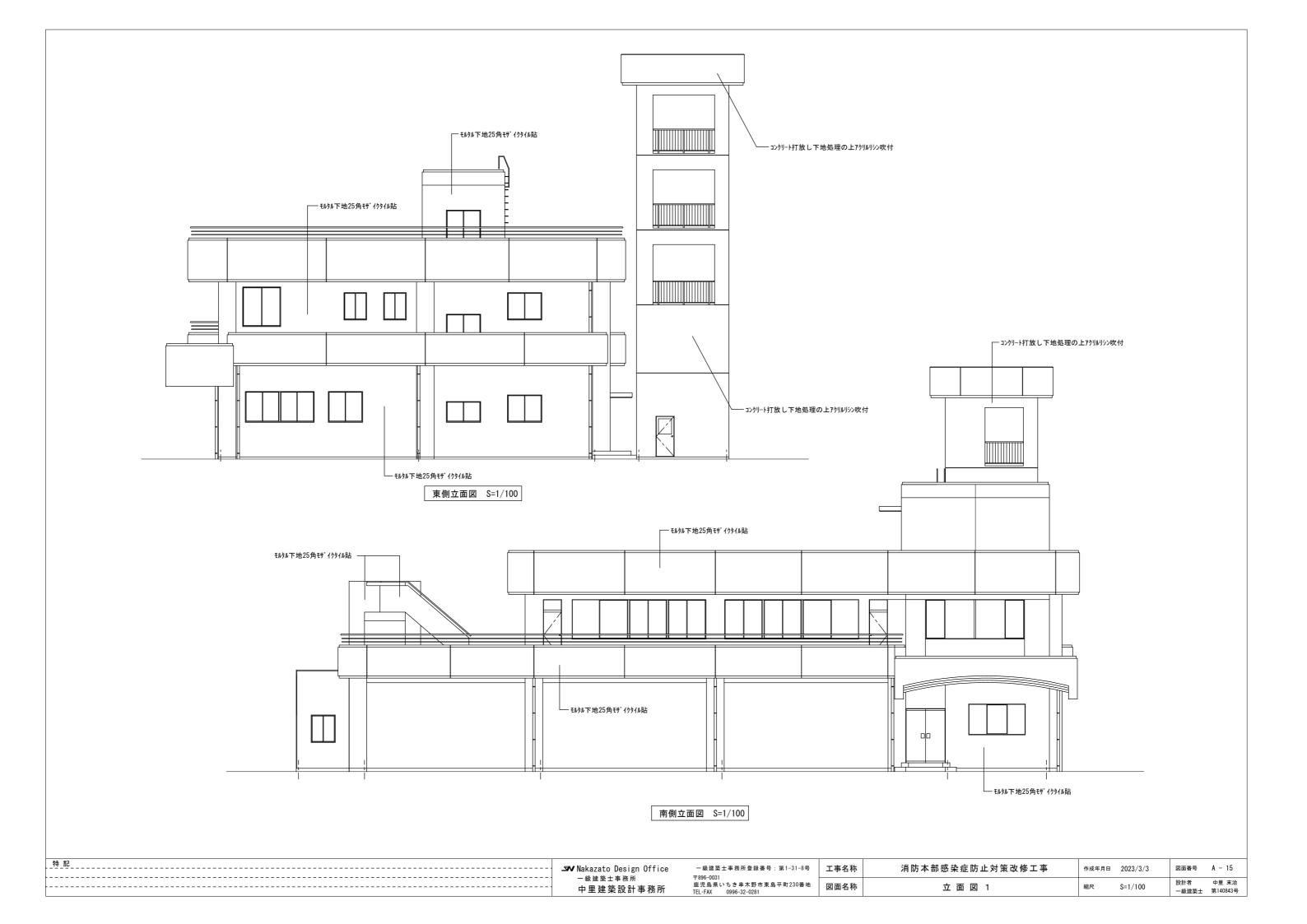


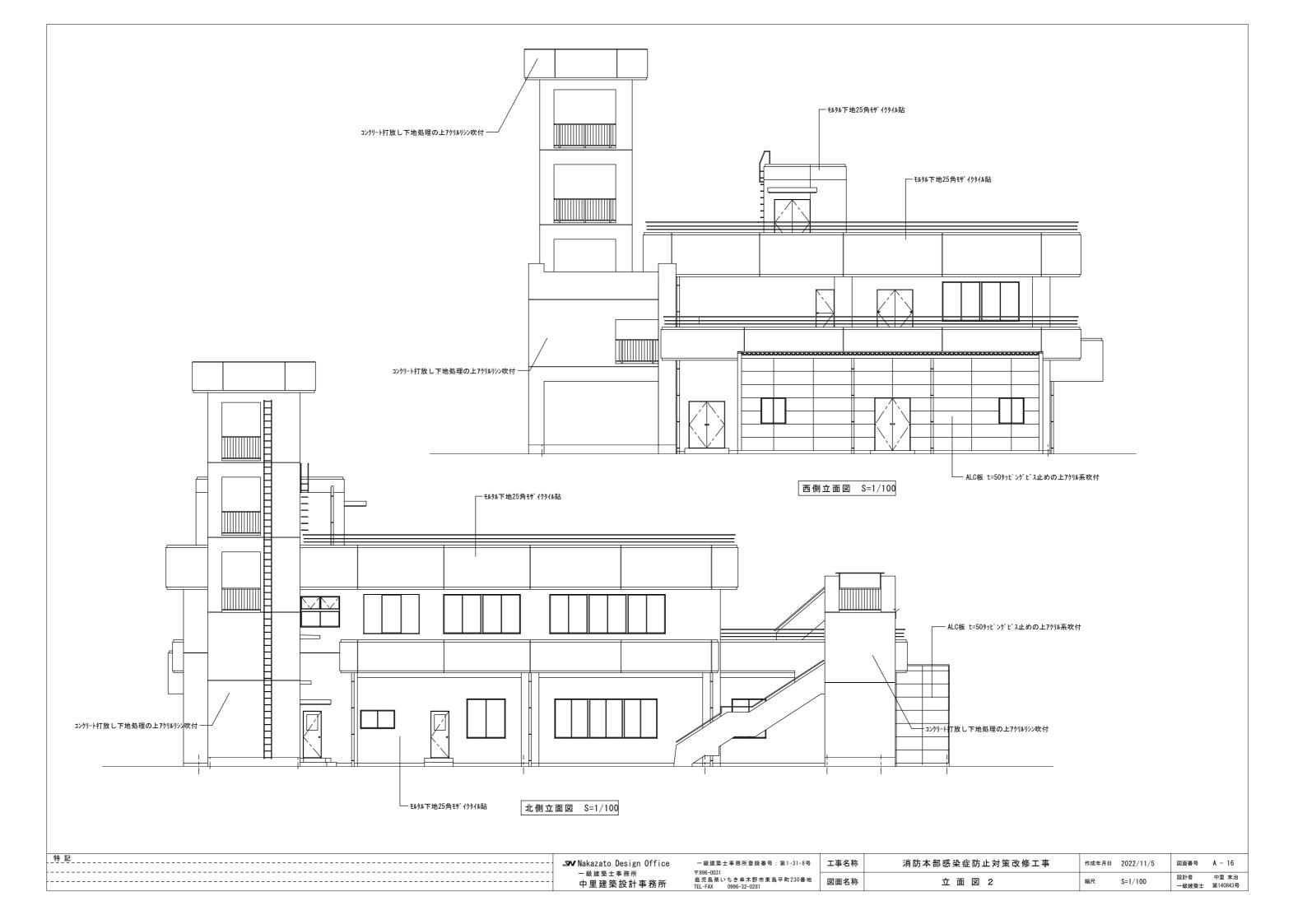


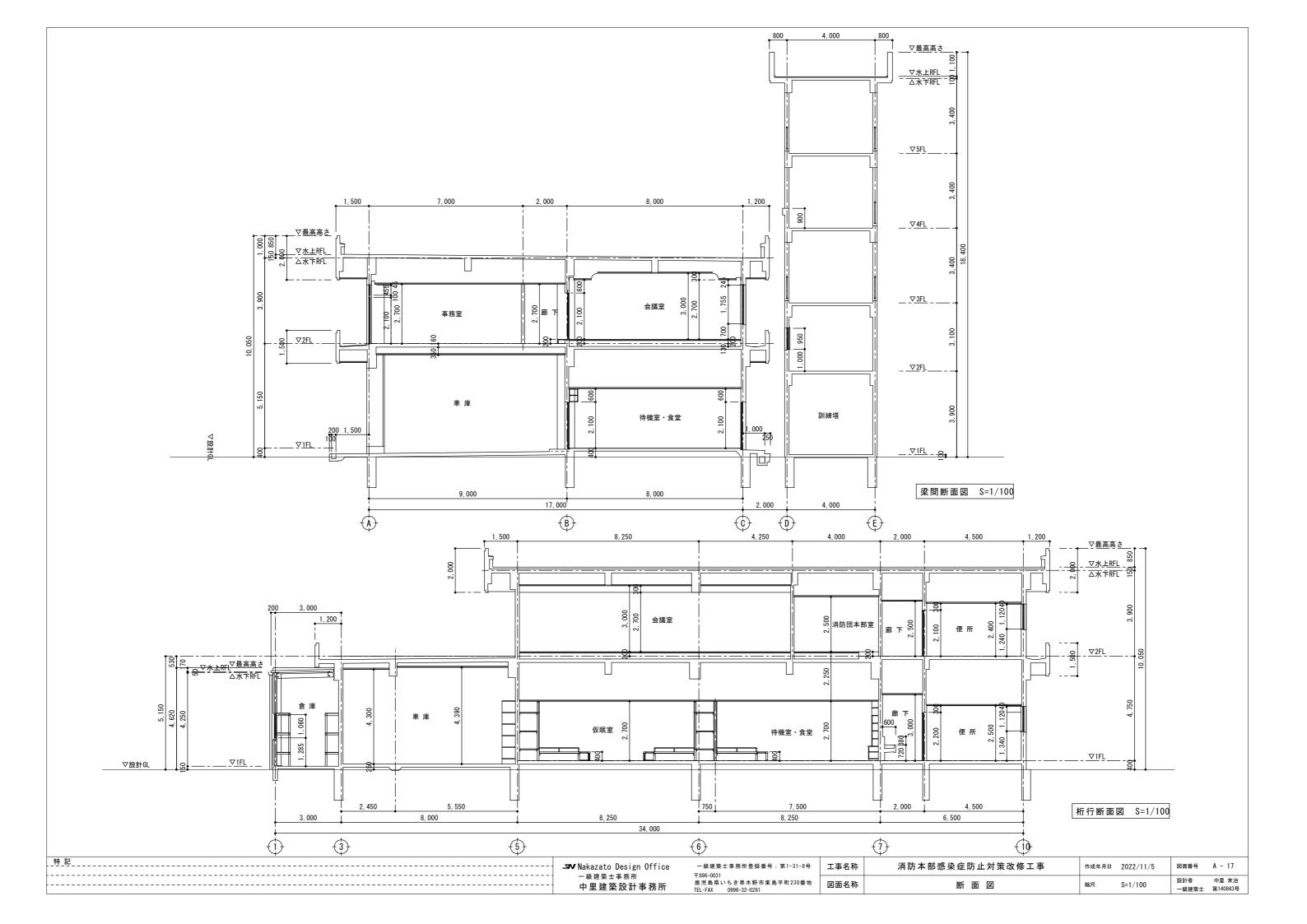


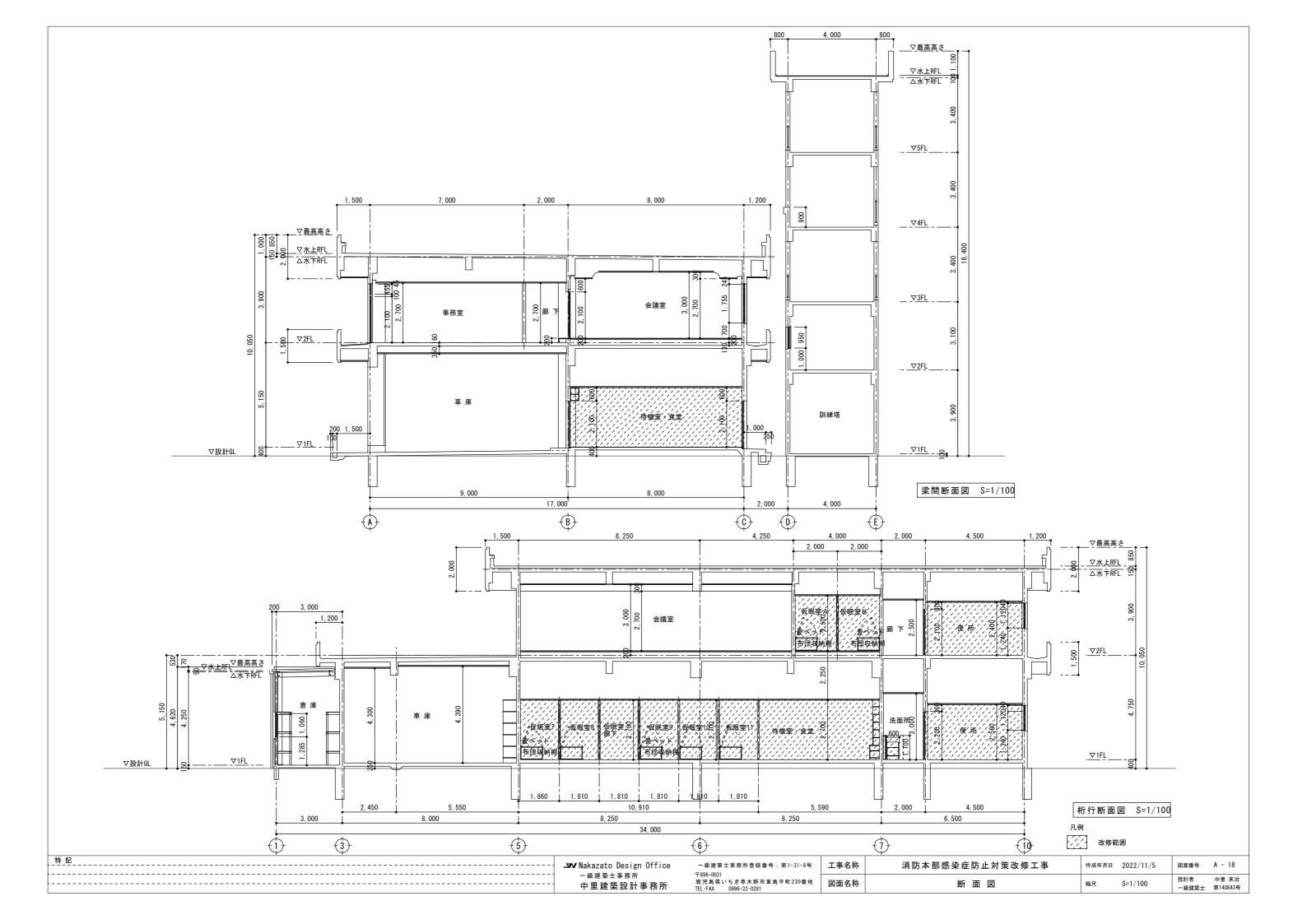


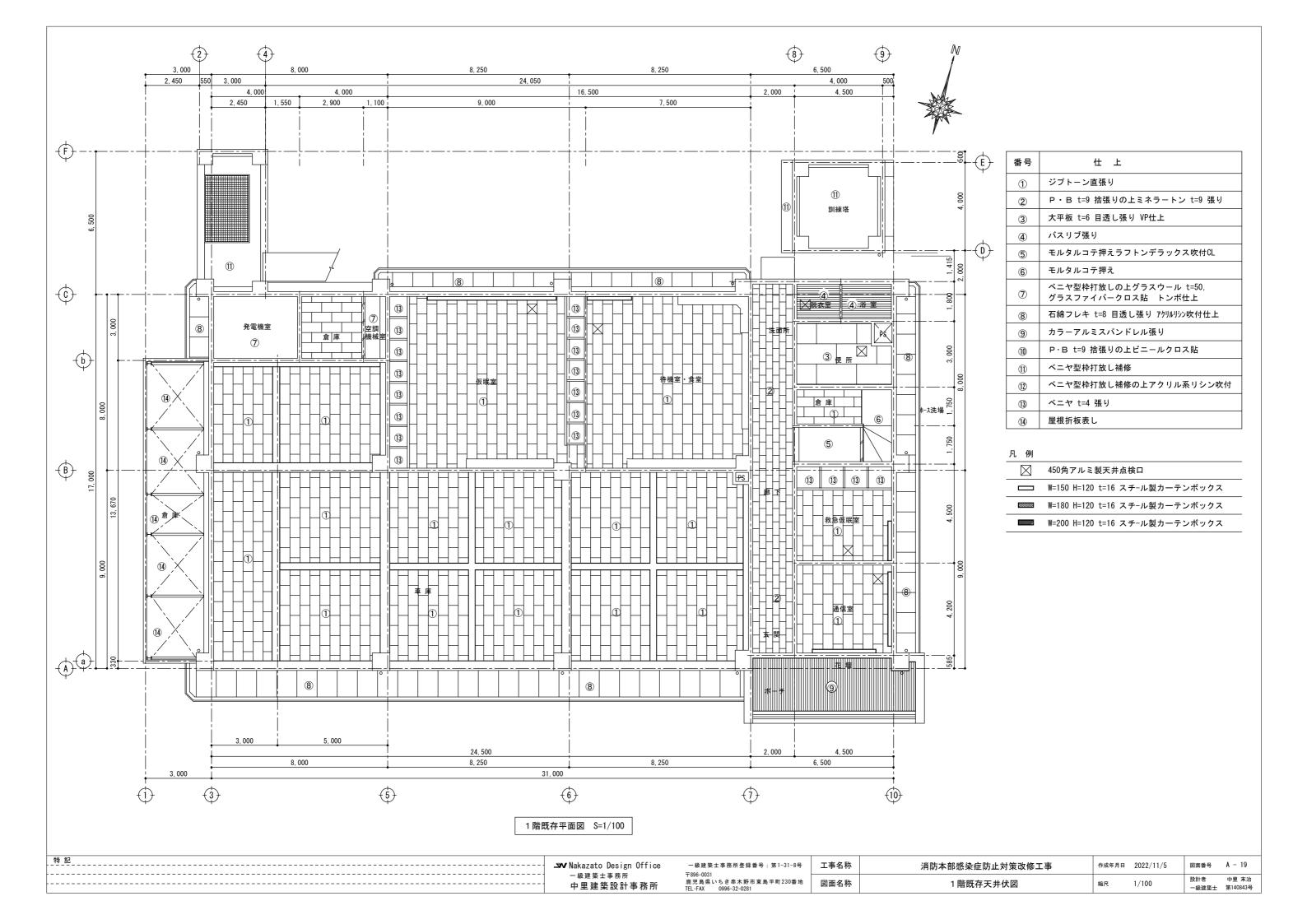


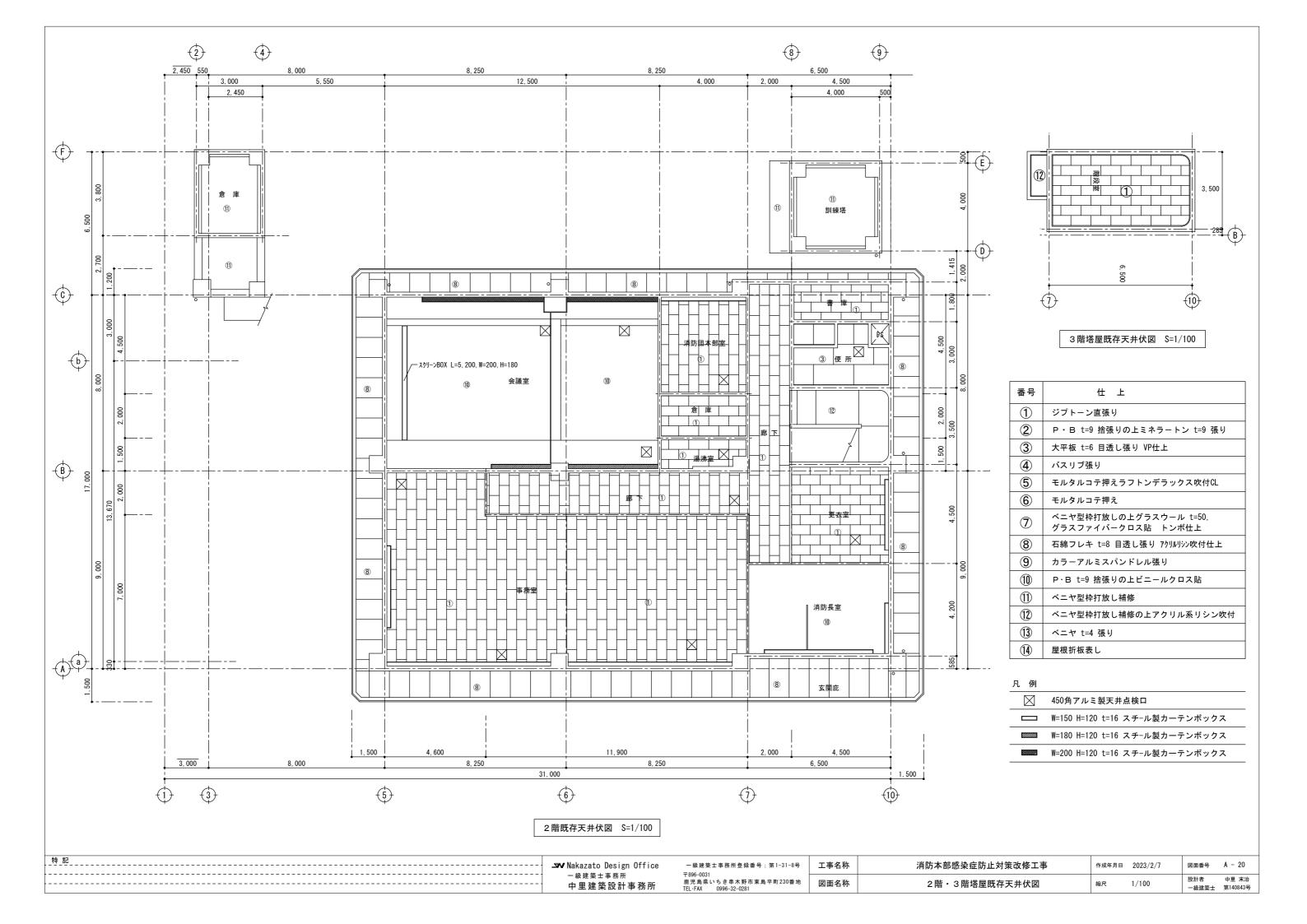


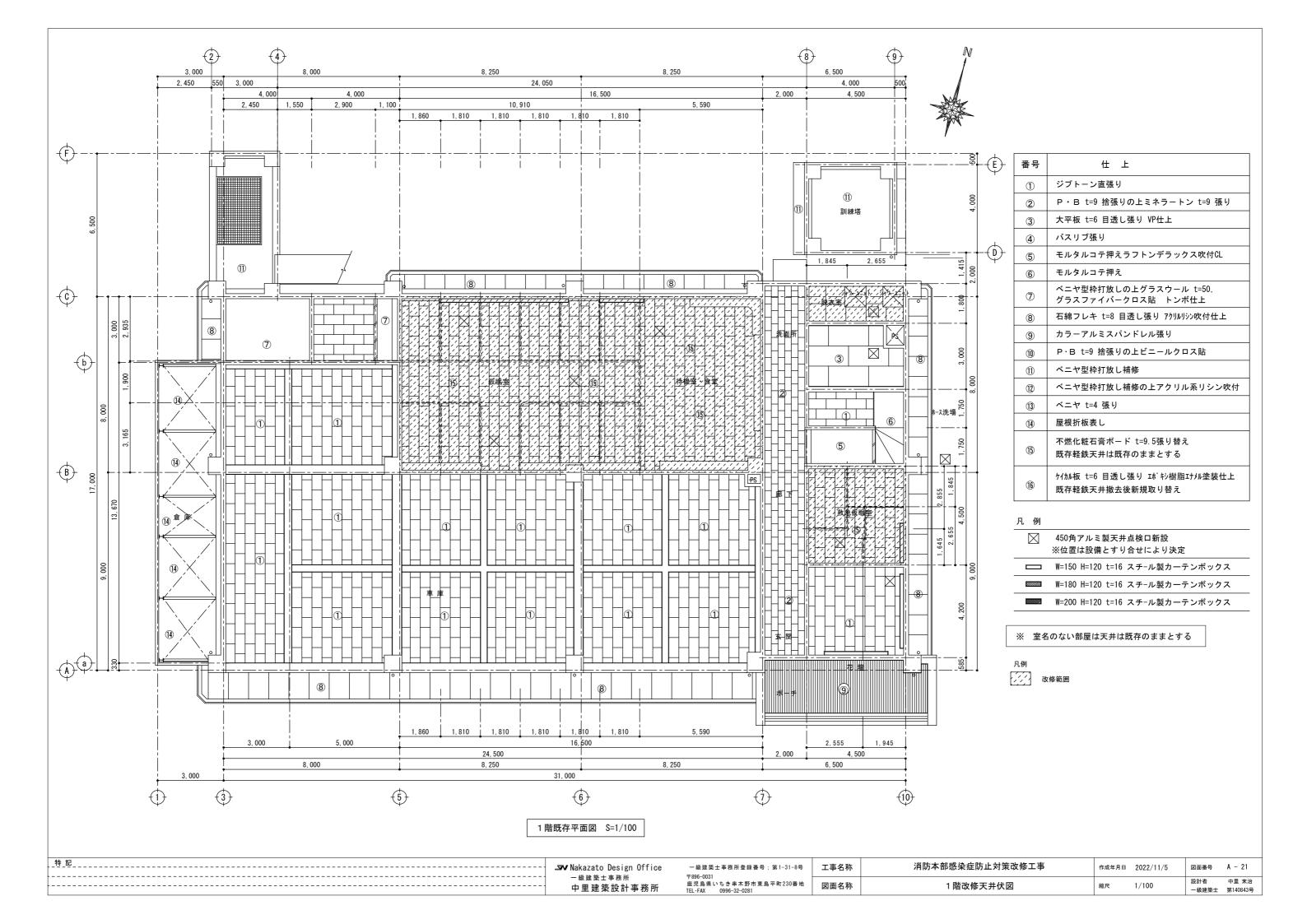


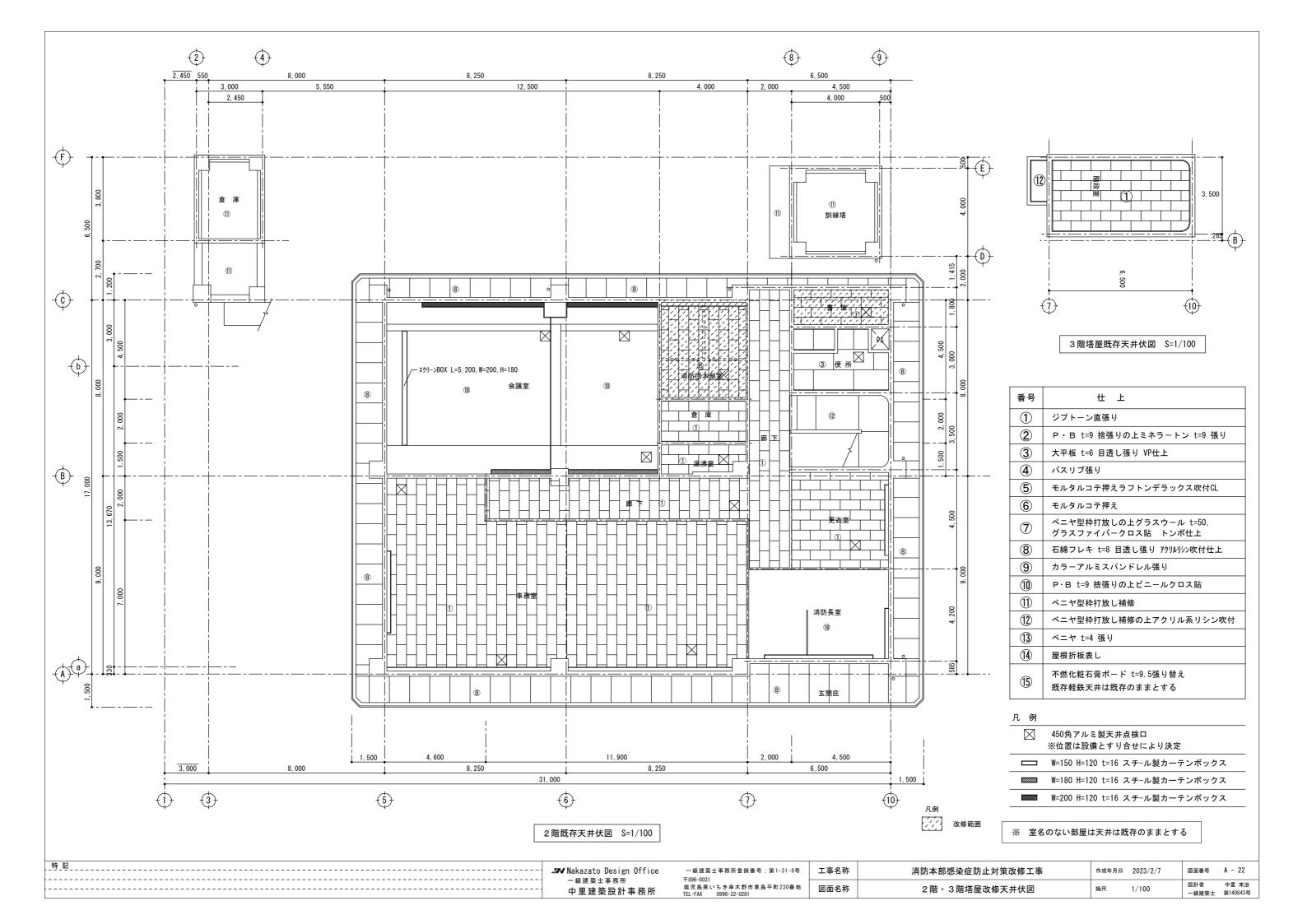


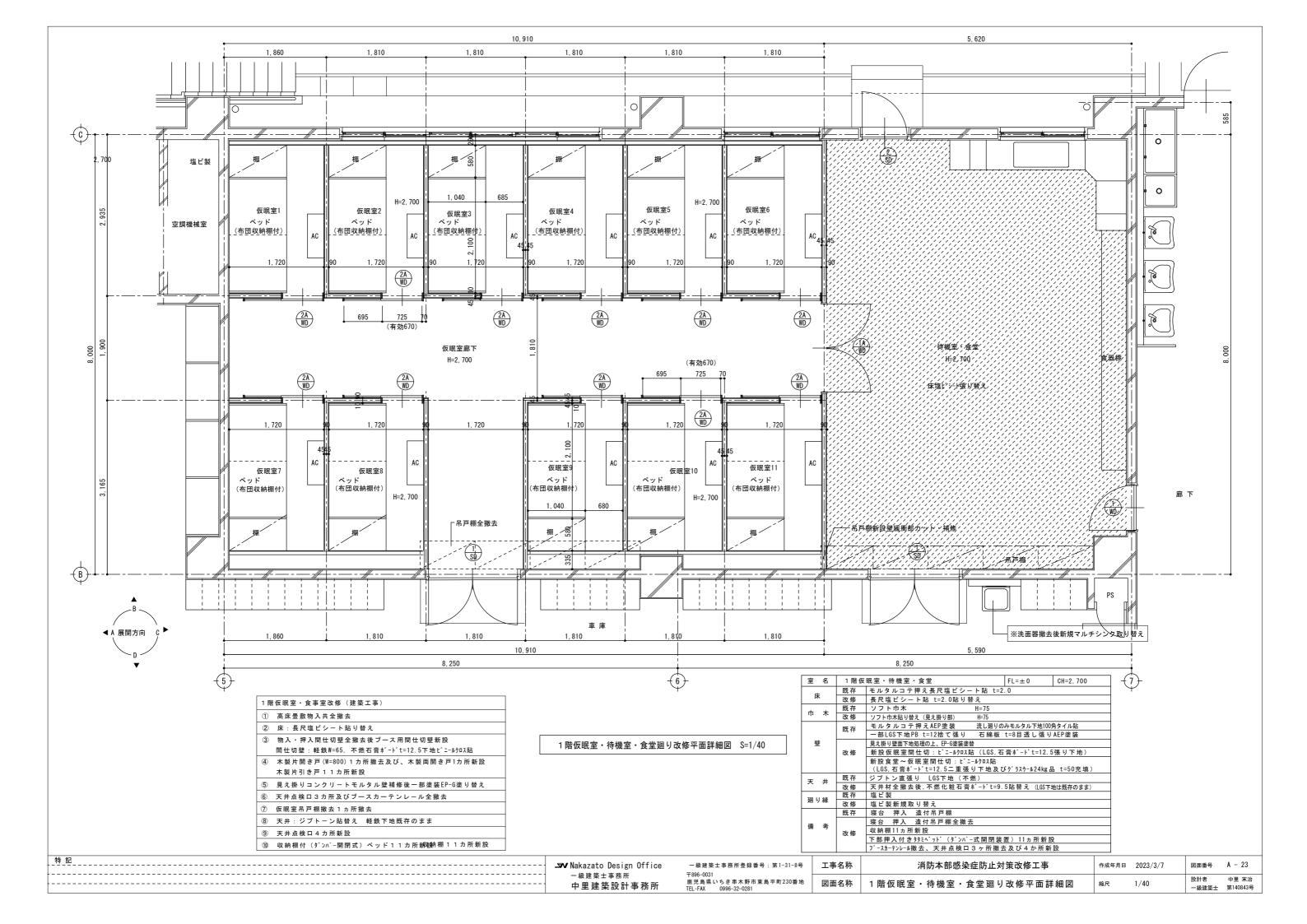


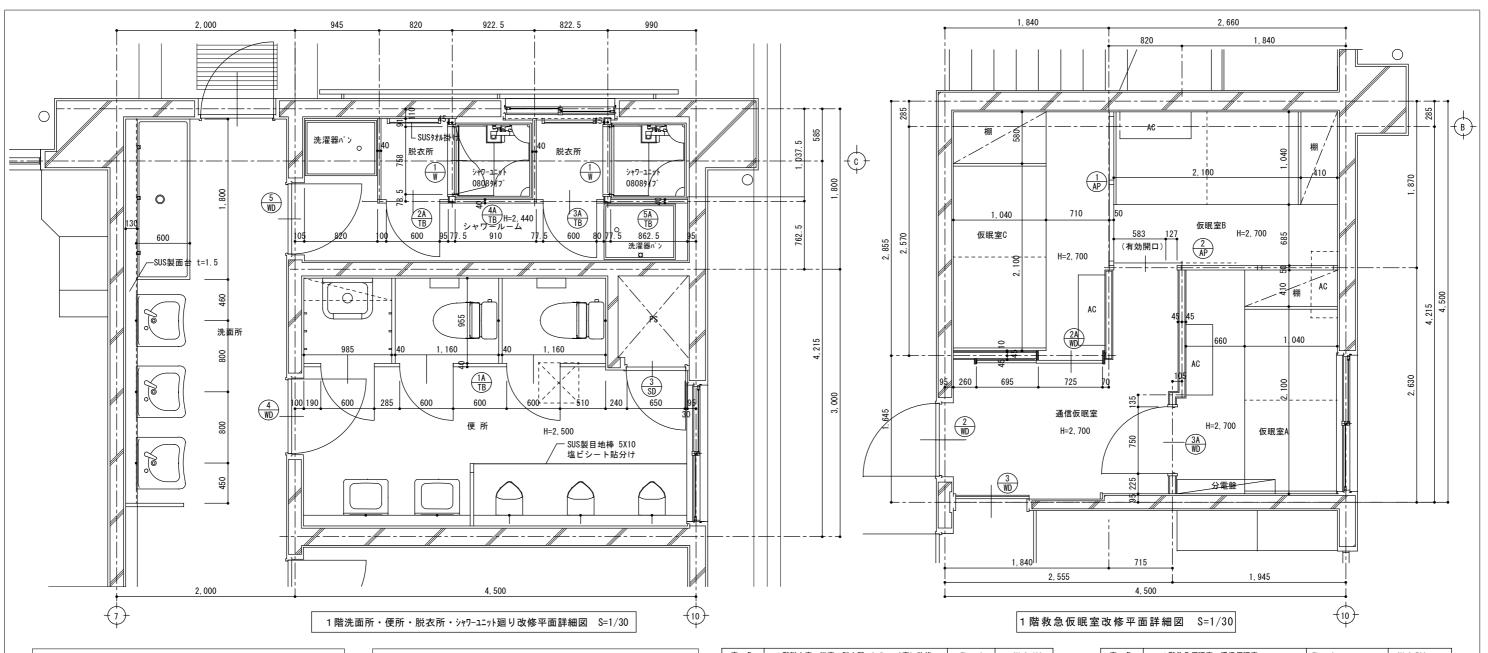












- 1 階脱衣室・浴室→脱衣所、シャワーユニット室に改修
- ① 脱衣室、浴室(浴槽部除く)床タイル張り下地コンクリート全撤去
- ② 浴室壁100角タイル(モルタル下地共)撤去
- ③ 天井:バスリブ全撤去(軽鉄下地共)
- ④ 既存アルミ製片引き戸及び上部タレカベ撤去、トイレブース間仕切新設
- ⑤ 床復旧工事(砕石t=100、コンクリートt=120打ち、モルタルコテ押え)
- ⑥ 通路・脱衣室床長尺塩ビシート(防滑・防汚抗菌タイプ新規)貼り替え
- ⑦ 浴室壁モルタルコテ押え復旧(シャワーユニット部は除く) 見え掛りモルタル壁補修後塗装EP-G塗り替え 出入口壁部:軽鉄=65,石膏ポードt=9.5下地ケイカル板t=3張り
- ⑧ トイレブース壁扉新設
- ③ 天井:ケイカル板t=6目透し張り、エポキシ樹脂エナメル塗装仕上 同上軽鉄天井下地新設
- ⑩ 天井点検口1ヶ所撤去及び1カ所新設
- ⑪ 片開きドア表示錠付2カ所新設
- ② 出入口扉下地調整後SOP塗装塗り替え
- 1 階洗面所改修
- ① 人研ぎ流し全撤去
- ② ライニング部腰壁、人研ぎ面台共全撤去

④ 人研ぎ流し側面壁タイル梁一部貼り替え

- ③ ライニング部腰壁軽鉄₩=65, 耐水合板t=12, 防水石膏ポート゚t=12.5下地
  - 半磁器100角タイル貼り 面台天端: ステンレス製面台新設

- 1 階救急仮眠室→通信仮眠室改修
- ① トイレブース新規やり替え
- ② 床タイル撤去モルタル調整後長尺塩ピシート貼(防滑、防汚抗菌タイプ)
- ③ 出入口扉、PS鋼製扉錆止め補修後SOP塗装塗り替え
- 1 階救急仮眠室改修
- ① 高床畳敷、押入共全撤去後、床:長尺塩ビシート貼り替え
- ② 物入・押入間仕切壁全撤去後間仕切壁新設 間仕切壁:軽鉄W=65,不燃石膏ボードt=12.5下地ビニールクロス貼 一部間仕切壁アルミパーティション及びアルミハンガー片引き戸新設
- ③ 見え掛りコンクリートモルタル壁補修後塗装EP-G塗り替え
- ④ 木製片開き戸1カ所、木製片引き戸1カ所新設
- ⑤ 天井点検口1カ所及び及びブースカーテンレール全撤去
- ⑥ 天井:ジプトーン (化粧石膏ボード) 貼り替え 軽鉄下地既存のまま)
- ⑦ 天井点検口1カ所新設
- ⑧ 収納棚付(ダンパ−開閉式)ベッド3カ所新設
- 9 収納棚3カ所新設
- 1階便所改修

- ① トイレブース撤去後新規トイレブース取り替え
- ② 床:モルタル下地丸モザイクタイル撤去後長尺塩ビシート貼り替え(小便器下貼分け)
- ③ 和風大便器、ロータンク2ヵ所撤去後洗浄便座付洋風便器2ヵ所新規入替え
- ④ 洗面器2ヶ所自動洗浄金物に取り替え(器具は既存のまま)

室名	1 階脱	衣室・浴室→脱衣所、シャワーユニット室に改修	FL=±0	CH=2, 400
	既存	脱衣室:モルタルコテ押え長尺塩ビシー		
床	20011	浴室:モルタル下地丸モザイク窯変タイ	ル貼	
	改修	長尺塩ビシート貼 t=2.5 (防滑・防汚抗)	菌タイプ)貼り看	<b>替え</b>
巾木	既存	ソフト巾木	H=75	
_ III _ /\	改修	ソフト巾木貼り替え (見え掛り部)	H=75	
		脱衣室:モルタルコテ押えラフトンデラ	ックス吹付	
	既存	浴室:モルタル下地100角タイル貼		
壁		浴室壁:モルタルコテ押え復旧		
	改修	見え掛りモルタル壁面下地処理の上、EP(	塗装塗り替え	
		出入口壁部:軽鉄=65,石膏ポート゚t=9.5下	地ケイカル板 t=3引	長り
天 井	既存	ジプトン直張り LGS下地(不燃)		
^ #	改修	天井:ケイカル板t=6目透し張り、エポキシネ	樹脂エナメル塗装イ	上
		同上軽鉄天井下地新設、天井点検	ロ1ヶ所取りを	*え
廻り縁	既存	塩ビ製		
廻り称	改修	塩ビ製新規取り替え		
	既存	吊棚、ステンレス浴槽、タオル掛け、ハンドシ	ヤワー	•
備考		既存ステンレス浴槽、タオル掛け、ハンドシャワー2ヵタ	所、洗濯機パン	1台撤去
J NH 15	改修	シャワーユニット2ヵ所新設、脱衣室::	タオル掛けL=6	00 2ヵ所新設
	42.139	洗濯機パン2ヵ所、トイレブース(メラミ	ン化粧合板)	壁新設

室名		1 階洗面所廻り	FL=±0	CH=2, 700
床	既存	モルタルコテ押え長尺塩ビシート則	5 t=2.0	•
^	改修	長尺塩ビシート貼 t=2.0貼り替え		
巾木	既存	ソフト巾木	H=75	
III	改修	100角半磁器タイル貼	-	
壁	既存	モルタルコテ押えラフトンデラックス吹付	流し廻り:モルタル下	地100角タイル貼
	改修	ライニング部腰壁コンクリート、モルタル下地100:	角タイル貼及び人研ぎ流し排	数去
	CX 195	ライニング 部腰壁軽鉄W=65, 耐水合板t=	12, 防水石膏ボードt=12.5	下地100角タイル貼
		人研ぎ流し側面壁タイル梁一部貼り	 J替え	
天 井	既存	ジプトン直張り LGS下地(不燃)		
廻り縁	既存	塩ビ製		
244 -tr	既存	人研ぎ流し台 W=4,300、化粧鏡 3	3台	
備考	改修	大型シンクー層式 L=1,800新設、E	自動洗浄式洗面器3台新記	<b>没</b>
		ライニング部面台天端:ステンレス製面台新	設	

室 名	1 階素	<b>枚急仮眠室→通信仮眠室</b>	FL=±0	CH=2, 700
œ	既存	モルタルコテ押え長尺塩ビシート駅	t=2.0	
床	改修	長尺塩ビシート貼 t=2.0貼り替え		
巾木	既存	ソフト巾木	H=75	
ע נוו	改修	ソフト巾木貼り替え (見え掛り部)	H=75	
	既存	モルタルコテ押えAEP塗装		
壁	改修	見え掛り壁面下地処理の上、EPG塗	装塗り替え	
	CX 195	新設仮眠室間仕切:ビニールクロス貼(Lí	GS, 石膏ボードt=12.5張り	下地)
天 井	既存	ジプトン直張り LGS下地(不燃)		
Д Я	改修	天井材全撤去後,不燃化粧石膏ポード	't=9.5貼替え (LGS下地)	は既存のまま)
廻り縁	既存	塩ビ製		
廻り稼	改修	塩ビ製新規取り替え		
	既存	寝台 押入 造付吊戸棚		
備考		寝台 押入 造付吊戸棚全撤去後	収納棚3ヵ所新設	
川 つ	改修	下部押入付きタタミベッド(ダンパー式開	閉装置)11ヵ所新設	
	~ 19	片引戸1ヶ所付アルミパーティッション新設及		各1力所新設
		ブースカーテンレール撤去、天井点検口1ヶ所	「撤去及び1カ所新設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

室 名	1 階化	更所	FL=±0	CH=2, 700				
-	既存	モルタル下地 モザイク(丸)タイル貼						
床	改修	モルタル下地モザイクタイル貼撤去後長尺塩ビシート貼(防滑・防汚抗菌タイプ) t=2.5貼替						
巾木	既存	モルタル下地 100角半磁器タイル貼						
רוו א	改修	_	H=75					
P±	既存 モルタル下地 100角半磁器タイル貼							
壁改修一								
天 井	既存	大平板 t=6 目透し張り VP塗	t LGS下地(不燃)					
Λ π	井							
廻り縁	既存	塩ビ製						
廻り稼	改修	_						
	既存	_ トイレブース						
備考	PALIT.	ロータンク付和風大便器2ヵ所,小便	器, 洗面器, 掃除流し					
		トイレブース新規取り替え						
	改修		ロータンク付和風大便器2ヵ所撤去後温水洗浄便座付洋風便器2ヵ所新設					
		洗面器2ヶ所自動洗浄金物に取	り替え(器具は既存のまま)					

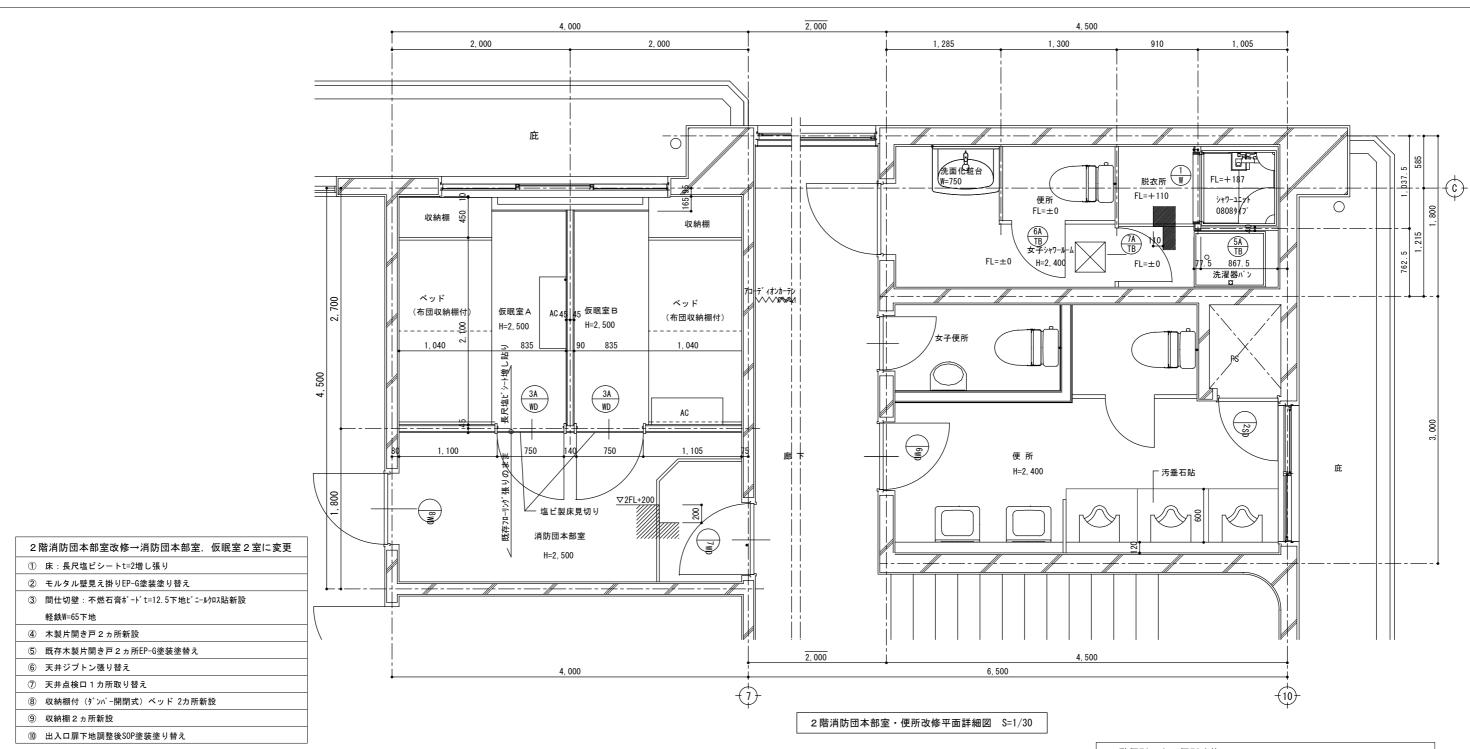
記\_\_\_\_\_

→ Nakazato Design Office → 級建築士事務所 中里建築設計事務所

一級建築士事務所登録番号;第1-31-8号 〒896-0031 鹿児島県いちき串木野市東島平町230番地 TEL-FAX 0996-32-0281 
 工事名称
 消防本部感染症防止対策改修工事

 図面名称
 1階救急仮眠室・洗面所・便所・浴室廻り改修平面詳細図

作成年月日 2022/3/7 図面番号 A - 24 田図 縮尺 1/30 設計者 中里 末治 一級建築士 第140843号



室 名	2 階消防	団本部室改修→消防団本部室、仮眠室2室に変更 FL=±0 CH=2,700			
		桧フローリング=15張り(JAS脳天ピス留)ダンケル仕上			
床	既存	鋼製床組下地耐水ベニヤt=15捨張り			
		(一部踏込部はモルタルコテ押えビニール系タイル貼)			
	改修	長尺塩ビシート貼 t=2.0増し貼り			
巾木	既存	木製巾木(踏込部はソフト巾木) H=75			
ılı 🛧	改修	ソフト巾木貼り替え(見え掛り部) H=75			
,	既存	モルタルコテ押えAEP塗装			
壁	改修	見え掛り壁面下地処理の上、EPG塗装塗り替え			
_		新設仮眠室間仕切: ビニールクロス貼(LGS W=65, 石膏ボ-ドt=12.5張り下地)			
<b>±</b> #	既存	ジプトン直張り LGS下地(不燃)			
天 井	改修	天井材全撤去後,不燃化粧石膏ボードt=9.5貼替え (LGS下地は既存のまま)			
70 11 49	既存	塩ビ製			
廻り縁	改修	塩ビ製新規取り替え			
備考	既存	カーテンボックス			
	改修	収納棚3ヵ所新設			
		下部収納付きタタミベッド(ダンバー式開閉装置)2ヵ所新設			
	4.15	木製片開戸2カ所新設			
		天井点検口1ヶ所撤去及び1カ所新設			

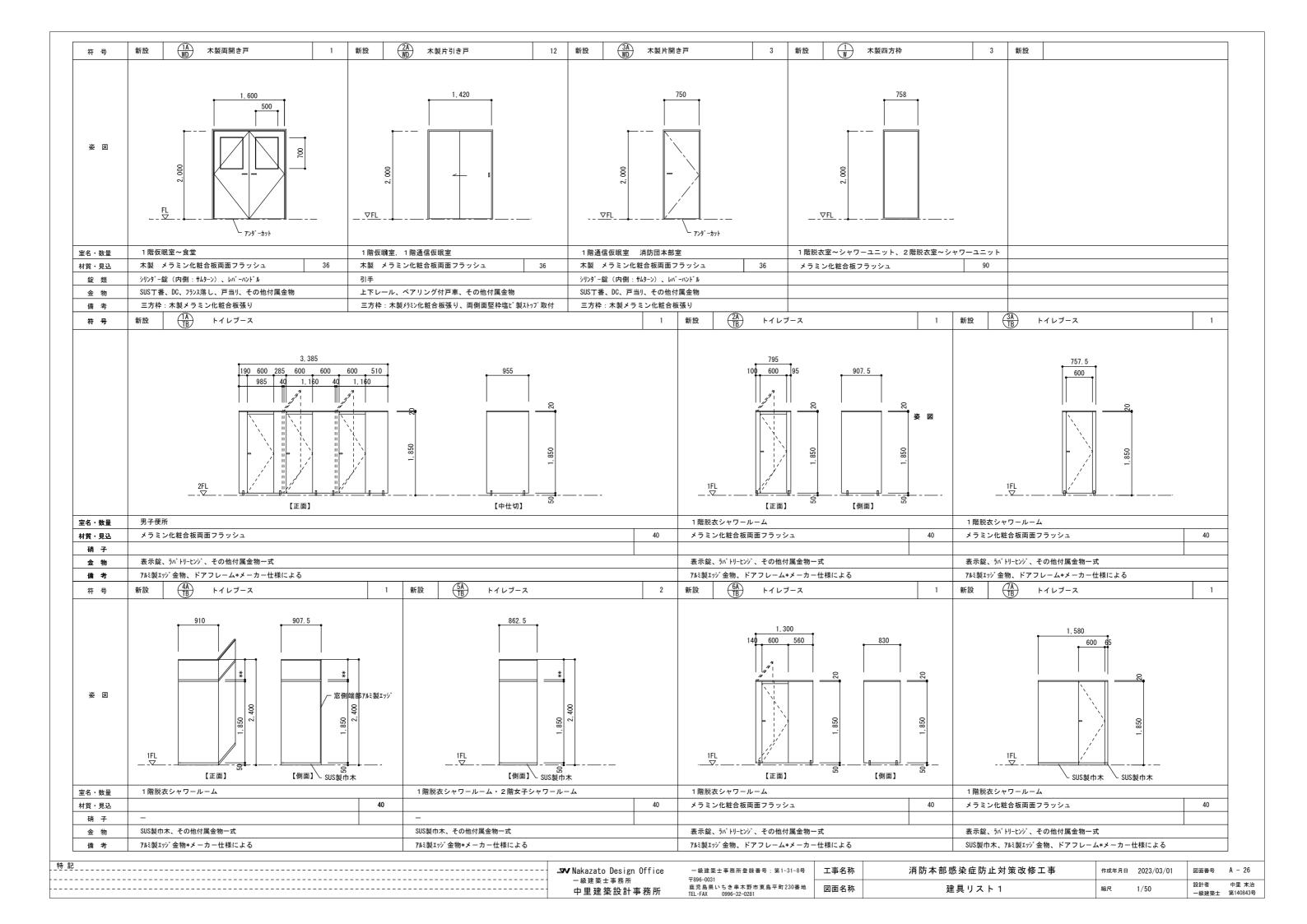
2階書庫→女子シャワールームに改修
① 棚全撤去
② ビニール床タイル撤去
③ 天井:ジプトン全撤去(軽鉄下地共)
④ 通路・脱衣室床長尺塩ビシート (防滑・防汚抗菌タイプ新規) 貼り替え
⑤ 見え掛りモルタル壁補修後塗装EP-G塗り替え シャワールーム出入口壁部:軽鉄=65,石膏ポードt=9.5下地ケイカル板t=3張り
⑧ トイレブース:片開きドア表示錠付1カ所新設
<ul><li>⑨ 天井:ケイカル板t=6目透し張り、エボキン樹脂エナナル塗装仕上 同上軽鉄天井下地新設</li></ul>
⑩ 天井点検口1ヶ所撤去及び1カ所新設
① トイレブース:片開きドア表示錠付1カ所新設
⑫ 出入口扉下地調整後SOP塗装塗り替え

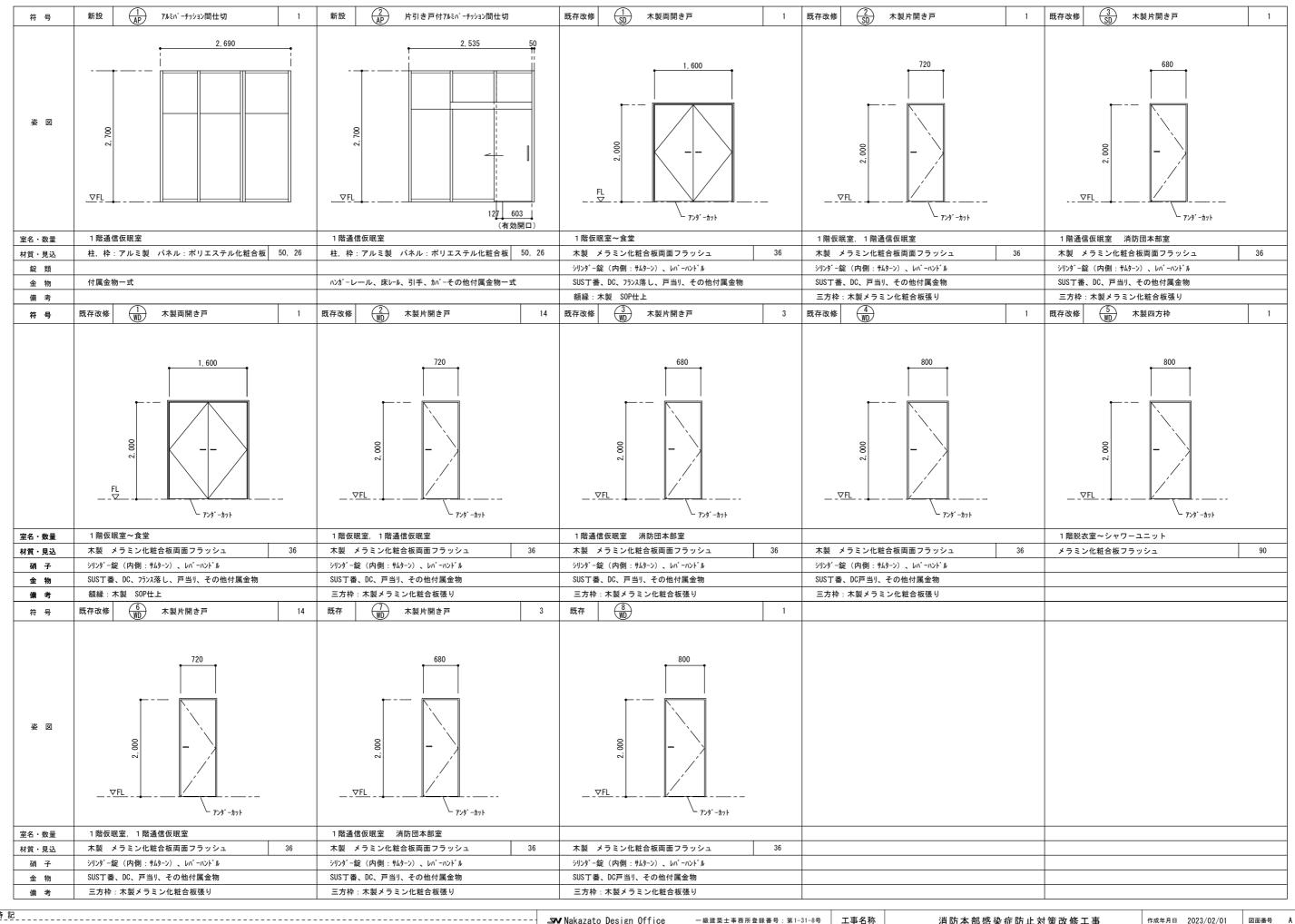
室 名	2 階書庫改	r修→女子シャワールームに変更 FL=±0 CH=2,700→CH=2,400
床	既存	モルタルコテ押えビニール系タイル貼)
A	改修	長尺塩ビシート貼 t=2.0 貼り替え
+ +	既存	ソフト巾木 H=75
巾木	改修	ソフト巾木貼り替え H=75
	既存	モルタルコテ押えAEP塗装
壁	改修	見え掛り壁面下地処理の上、EPG塗装塗り替え 出入口壁部:軽鉄=65、石膏ボードt=9.5下地ウイカル板t=3張り
- "	既存	ジプトン直張り LGS下地(不燃)
天 井	改修	天井:ケイカル板t=6目透し張り、エポキシ樹脂エナメル塗装仕上
		同上軽鉄天井下地新設、天井点検口1ヶ所取り替え
70 11 43	既存	塩ビ製
廻り縁	改修	塩ビ製新規取り替え
	既存	棚
	改修	シャワーユニット1ヵ所新設、脱衣室:タオル掛けL=600 2ヵ所新設
備考		洗濯機パン 1ヵ所、トイレブース(メラミン化粧合板)壁新設
		トイレ新設:温水洗浄便座付洋風便器、二連紙巻き器・洗面化粧台新設
		天井点検口1ヶ所新設

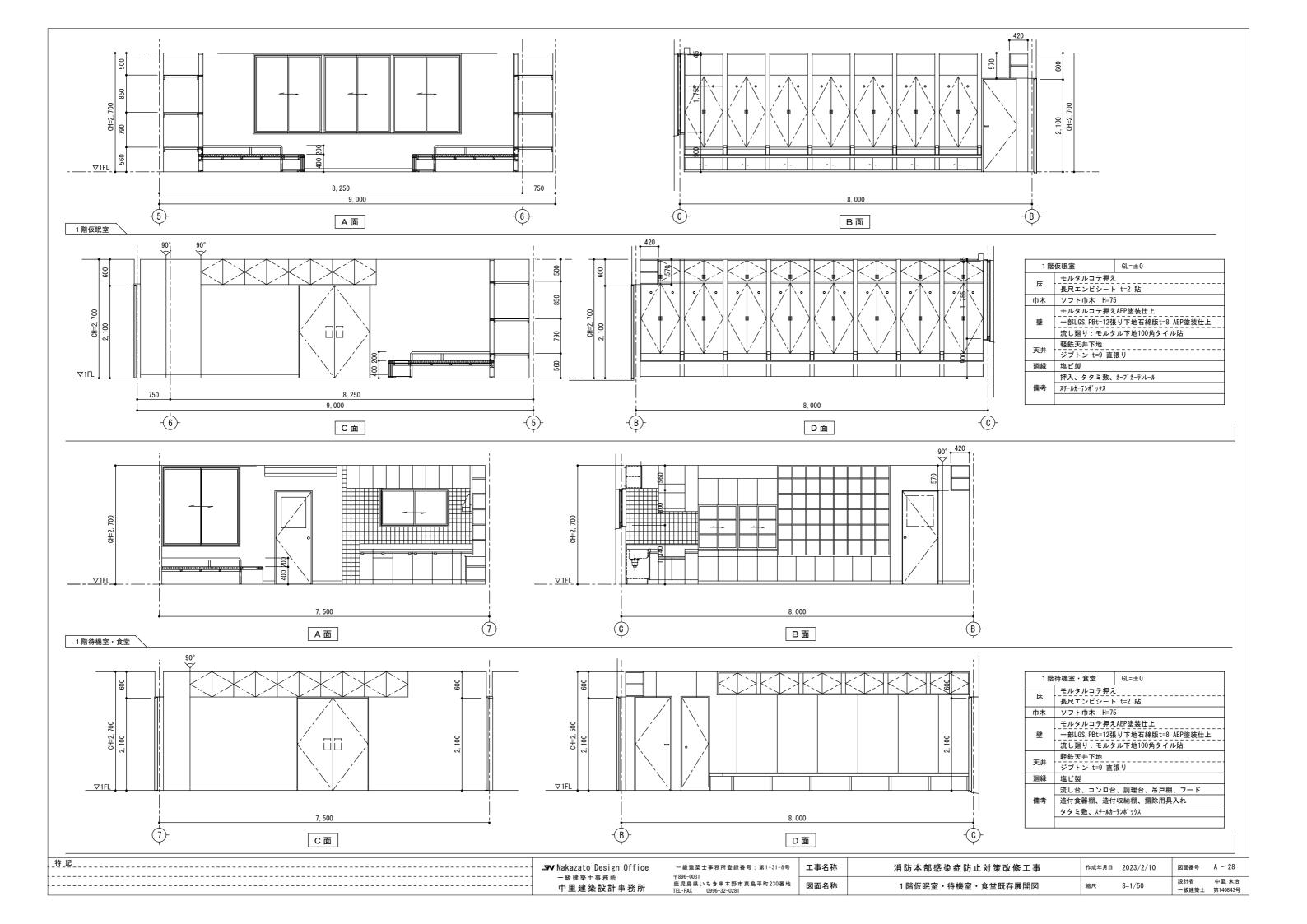
2階便所・女子便所改修
① 床:モルタル下地丸モザイクタイル撤去モルタル調整後長尺塩ピシート貼(防滑、防汚抗菌タイプ)
② 小便器下汚垂石 (D=600) 貼り
③ 出入り口扉(枠共)PS鋼製扉鋳止め補修後SOP塗装塗り替え

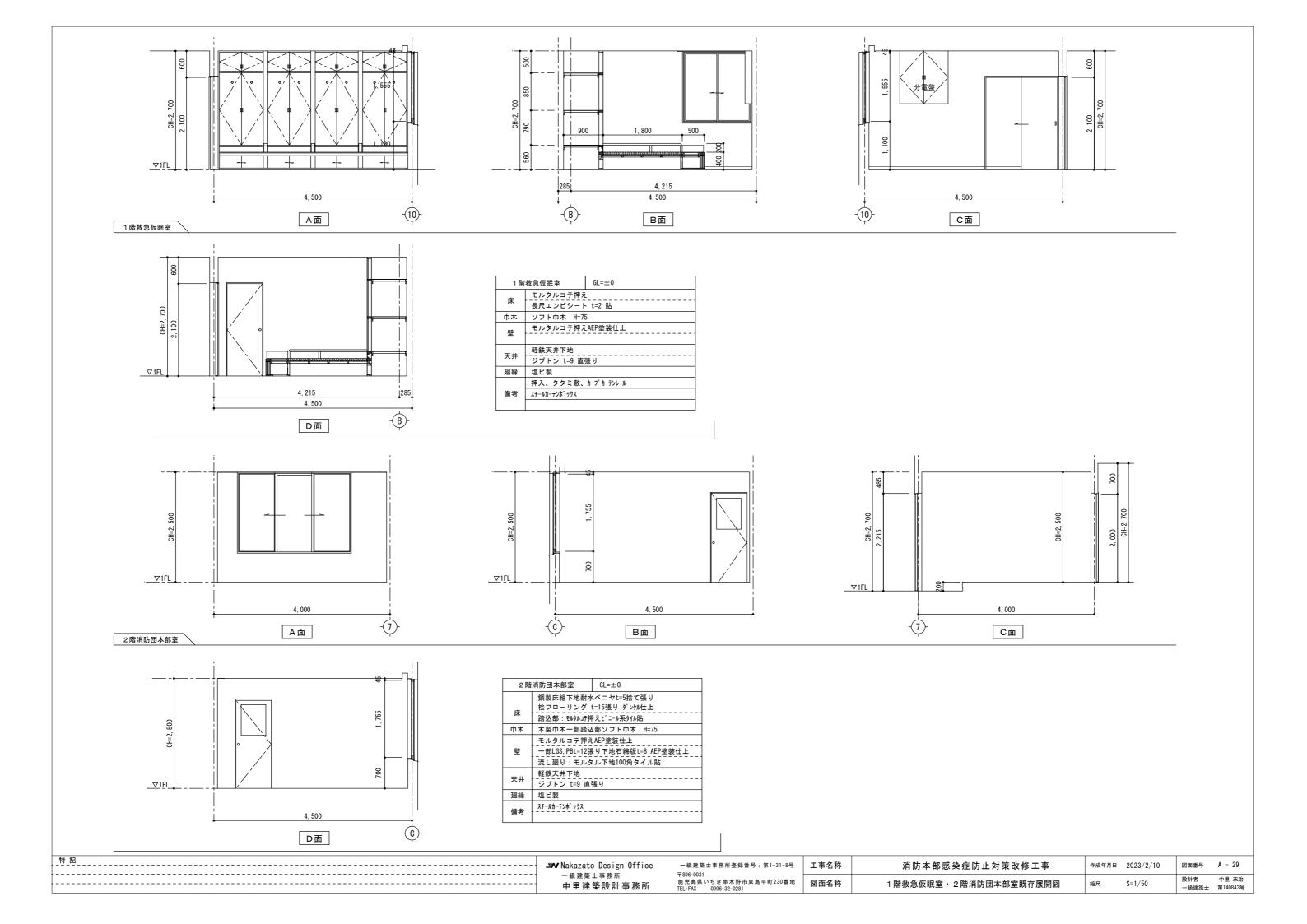
室 名	2階	男女便所	FL=±0	CH=2, 400				
	既存	モルタル下地ザイク(丸)タイ	, ル 貼					
床	改修	モルタル下地モザイクタイル貼撤去後長尺塩ビシー	モルタル下地モザ、イクタイル貼撤去後長尺塩ピシート貼(防滑・防汚抗菌タイプ) t=2.5貼替					
	既存	モルタル下地 100角半磁器タイル	貼					
巾木	改修	_	H=75					
P±	既存	モルタル下地 100角半磁器タイル	貼					
壁	改修	_						
天 井	既存	大平板 t=6 目透し張り V P 🥸	塗装 LGS下地(不燃)					
Х #	改修	_						
廻り縁	既存	塩ビ製						
廻り稼	改修	_						
備考	既存	_ トイレブース 温水洗浄便座付洋風便器, 小(	 更器,洗面器					
	改修	汚垂石貼 W=800X600×3 新記 小便器,洗面器自動洗浄金物に		 存のまま)				

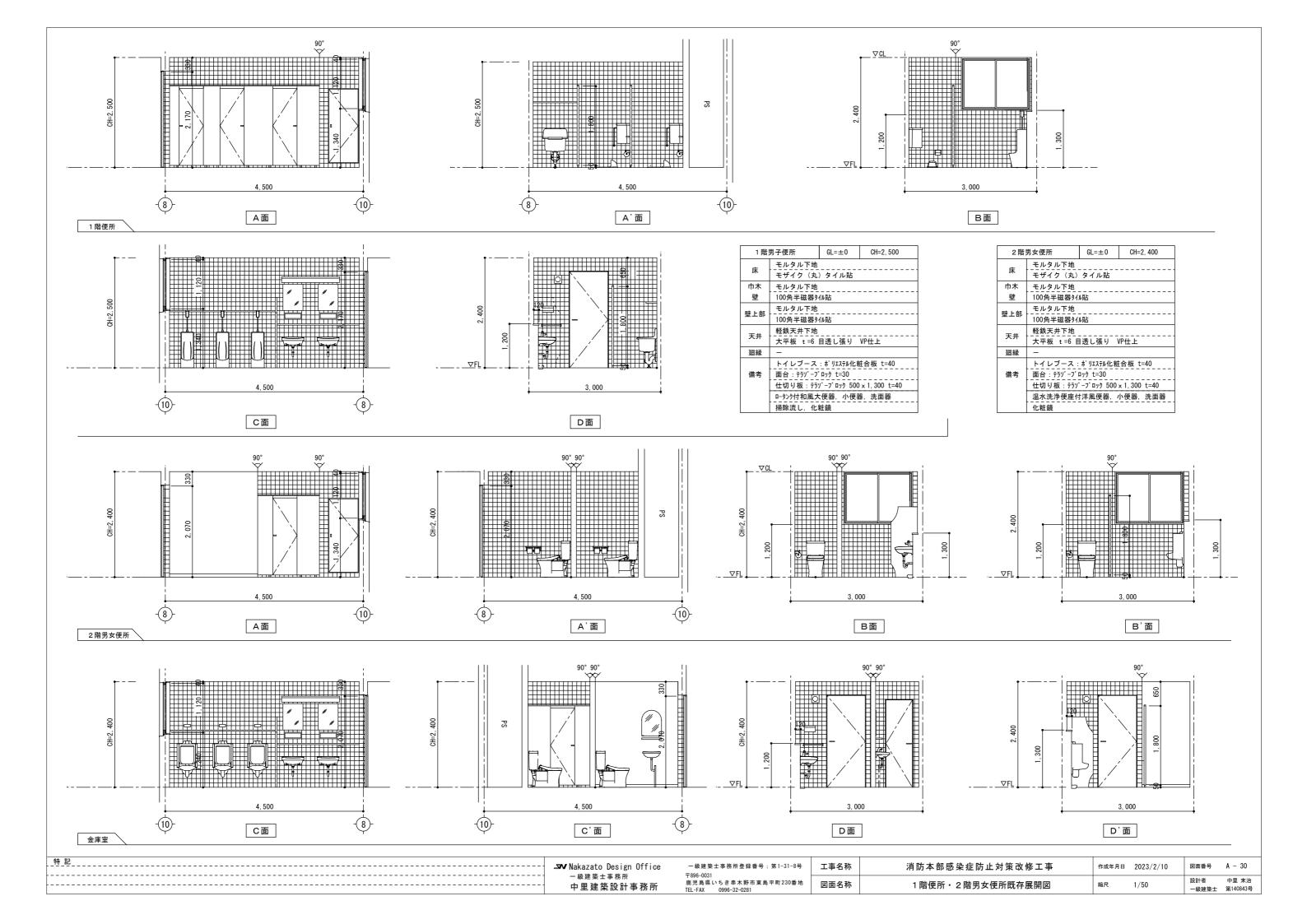
特 記	■ Nakazato Design Office	一級建築士事務所登録番号;第1-31-8号	工事名称	消防本部感染症防止対策改修工事	作成年月日 2023/3/7	図面番号 A - 25
	<sup>- 級建築士事務所</sup> 中 里 建 築 設 計 事 務 所	〒890-0031 鹿児島県いちき串木野市東島平町230番地 TEL-FAX 0996-32-0281	図面名称	2 階消防団本部室・便所・書庫廻り平面詳細図	縮尺 1/30	設計者 中里 末治 一級建築士 第140843号

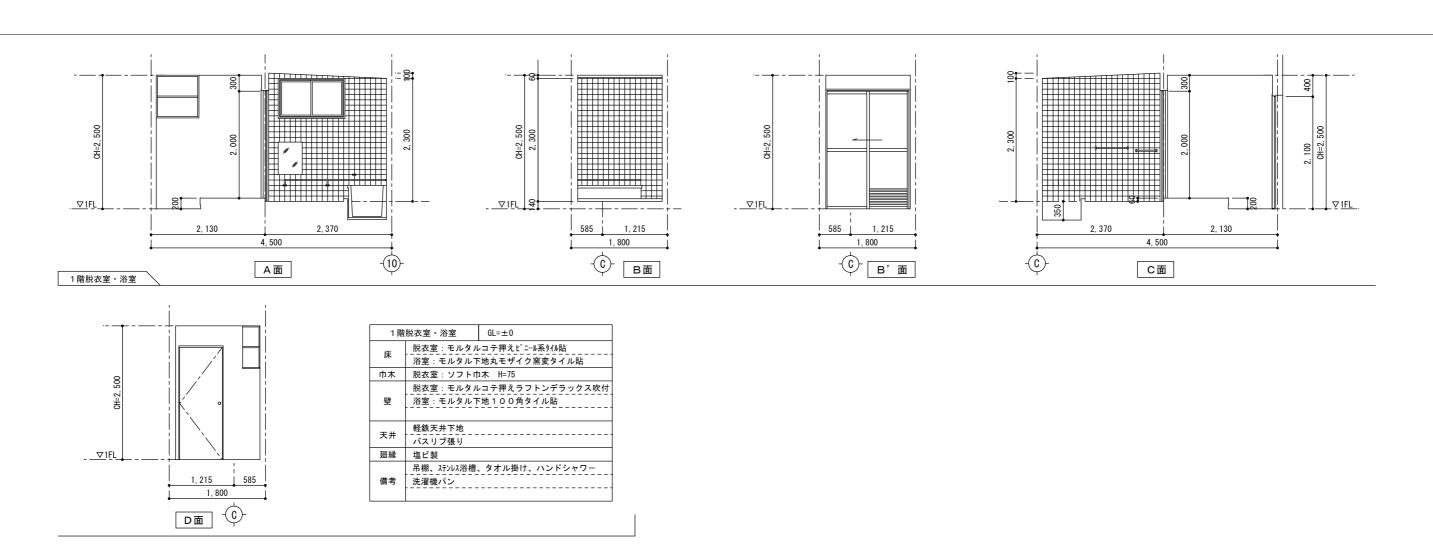


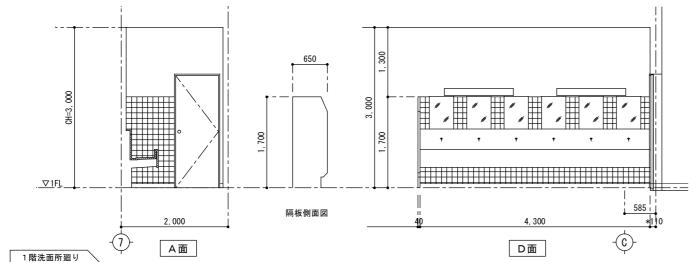




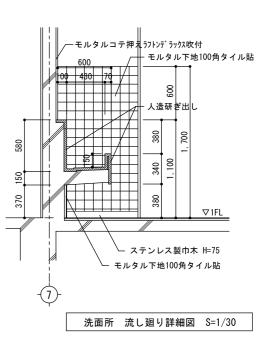


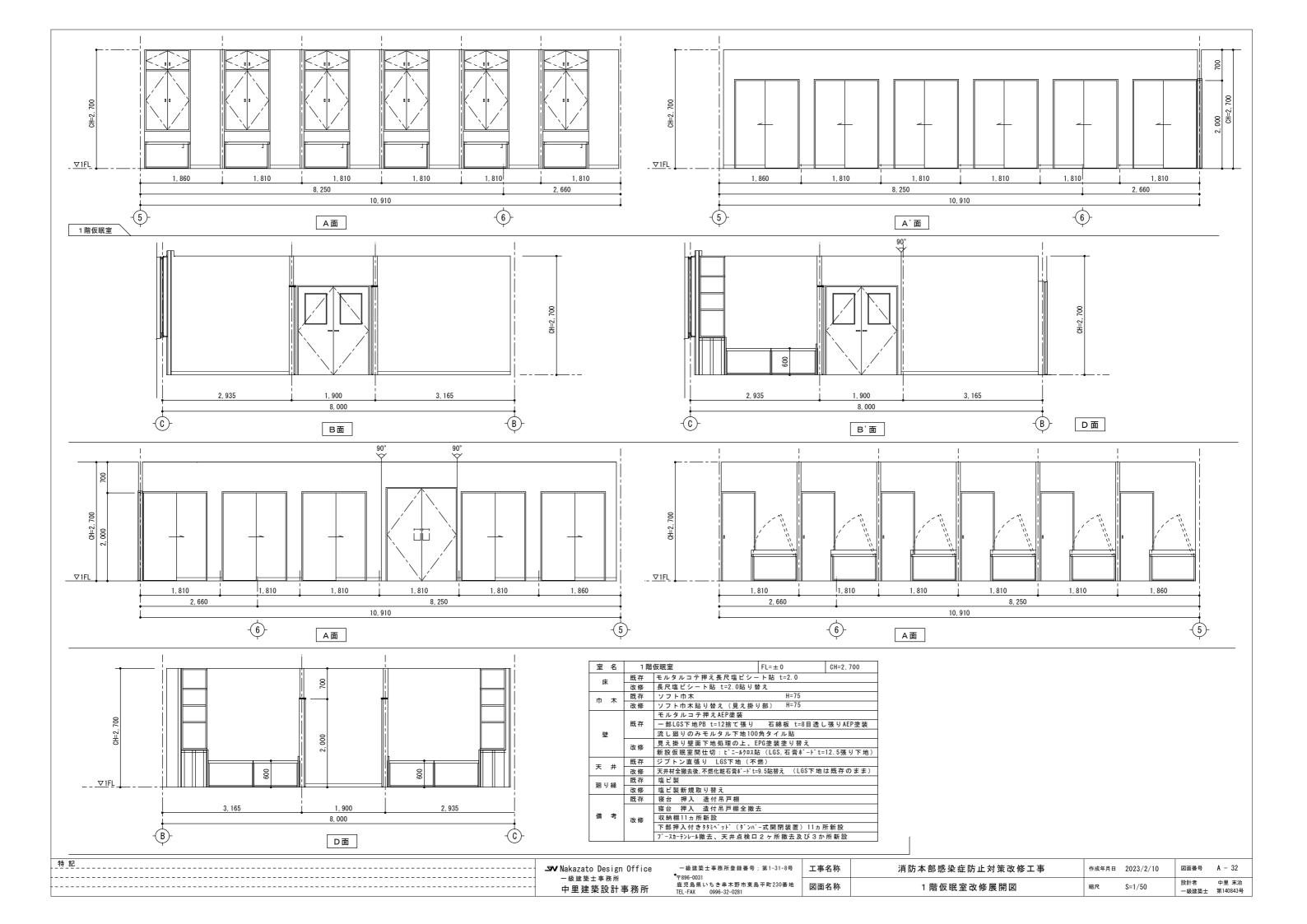


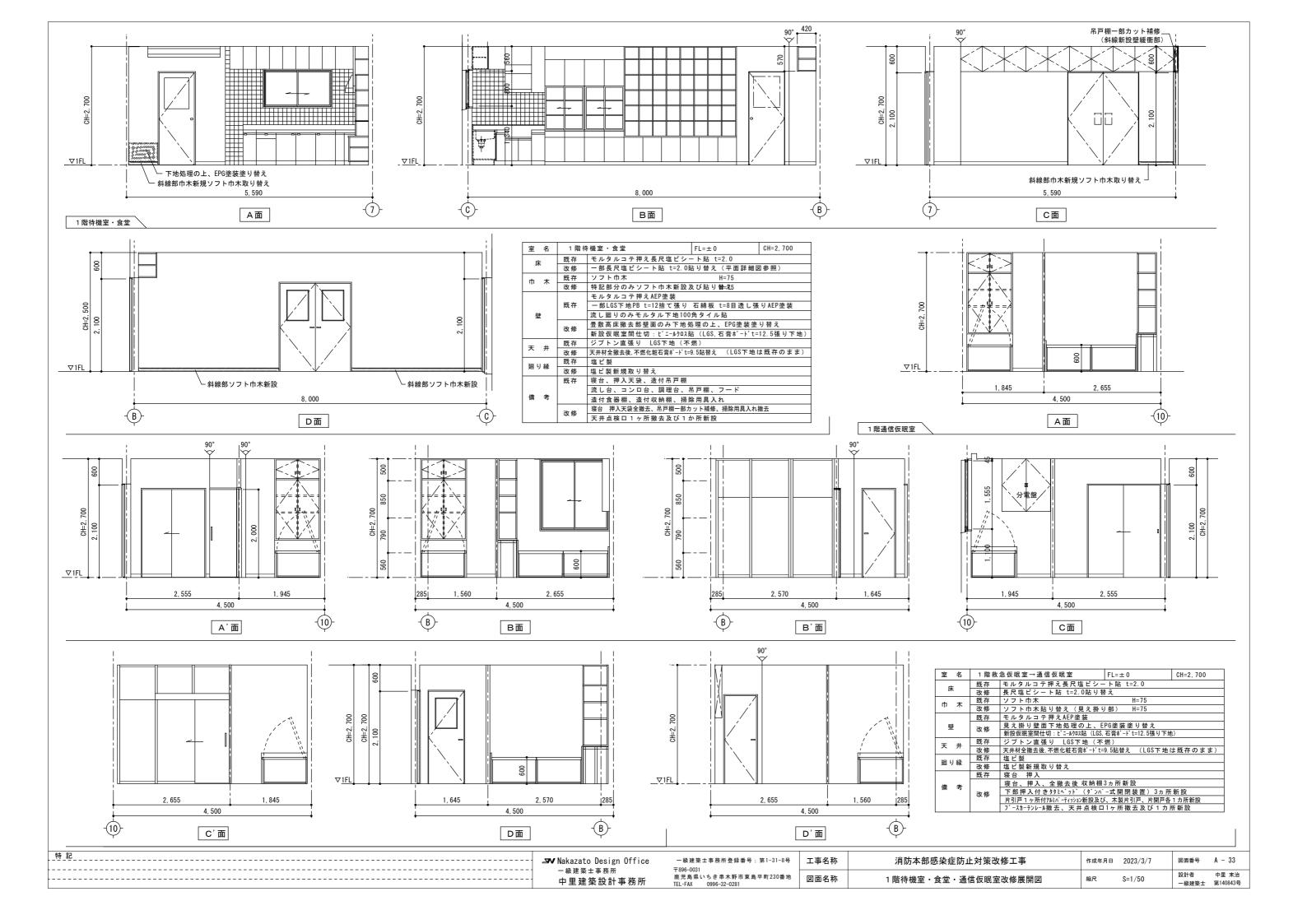


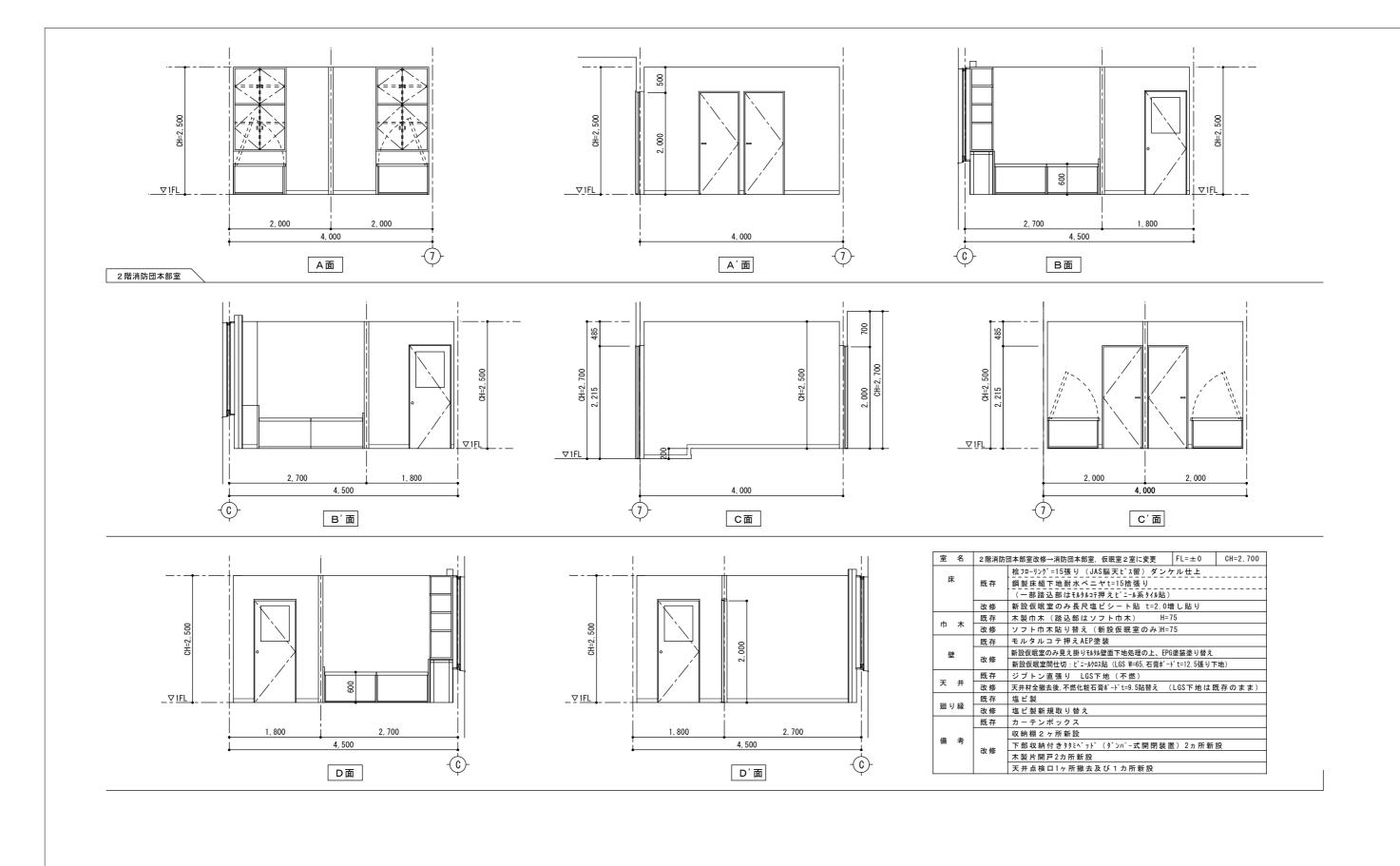


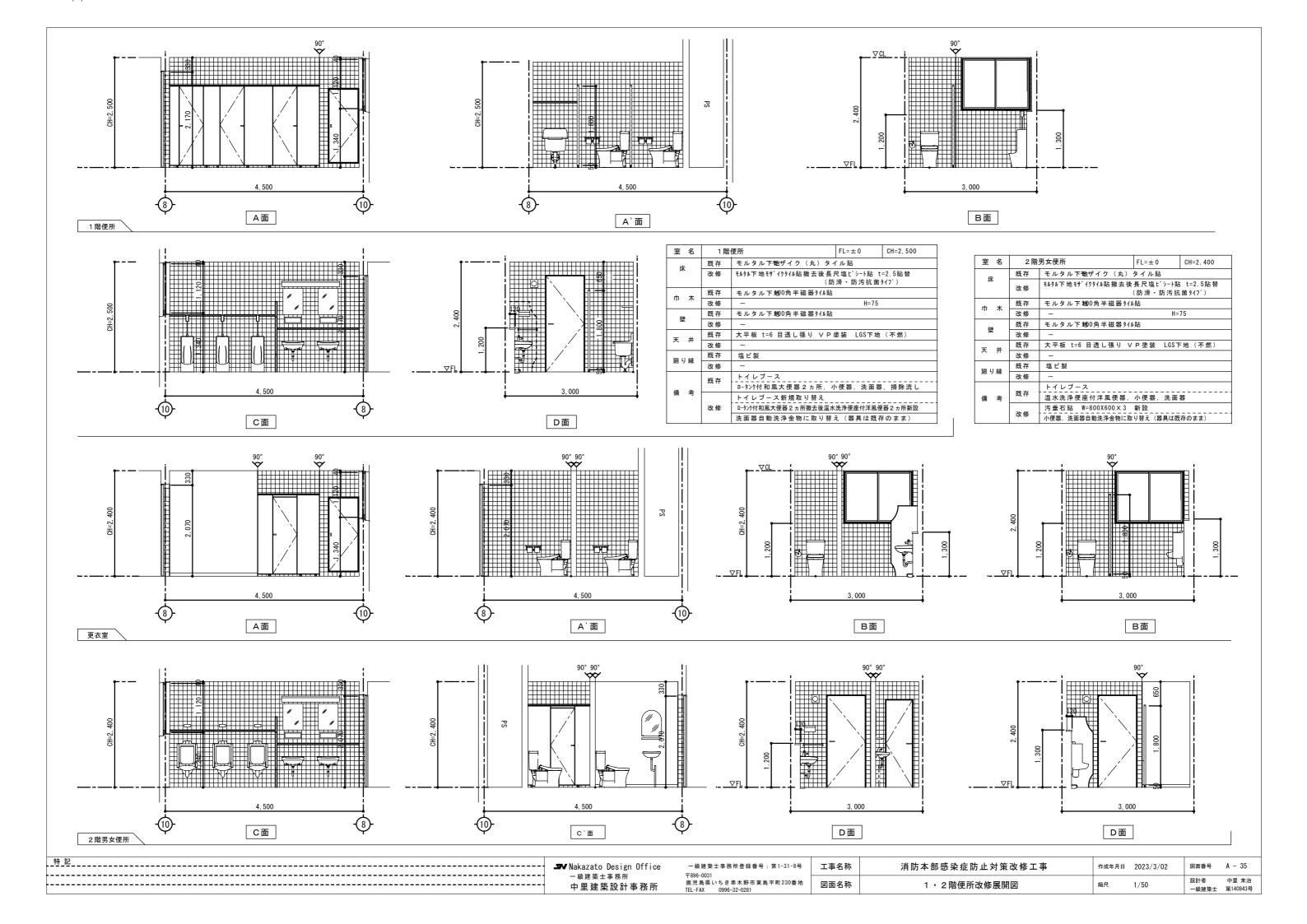
1 階洗面所廻り		GL=±0		
床	モルタル下地 100X200角磁器質タイル貼			
巾木	ステンレス製巾木 H=75			
壁	モルタルコテ押えラフトンデラックス吹付 流し廻り:モルタル下地100角タイル貼			
天井	軽鉄天井下地 ジプトン t=9 直張り			
廻縁	塩ビ製			
	人造研ぎ出し流し L=4,300			
備考	鏡 455X610 6ヵ所			
	人造研ぎ出し流し	.隔板		

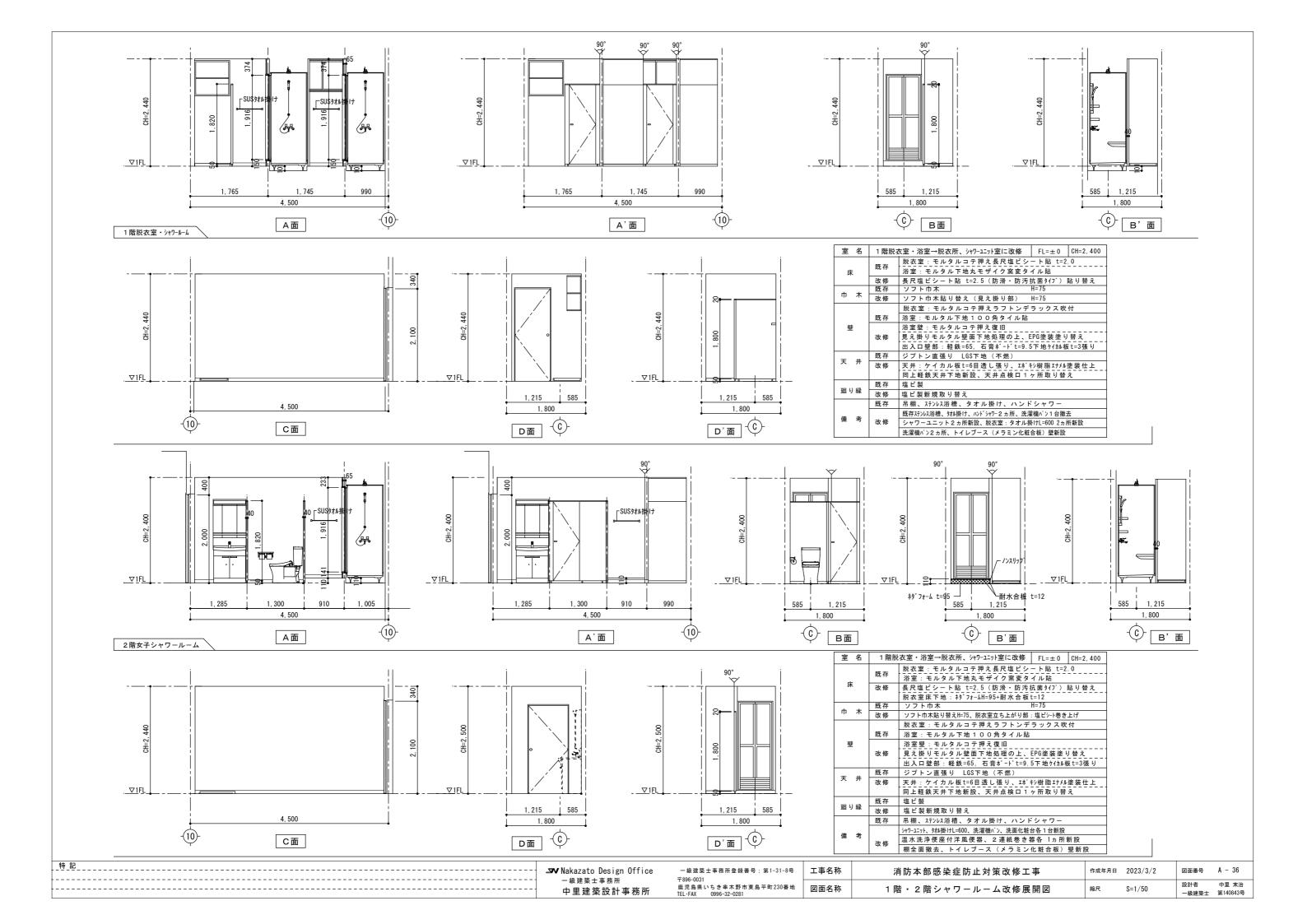


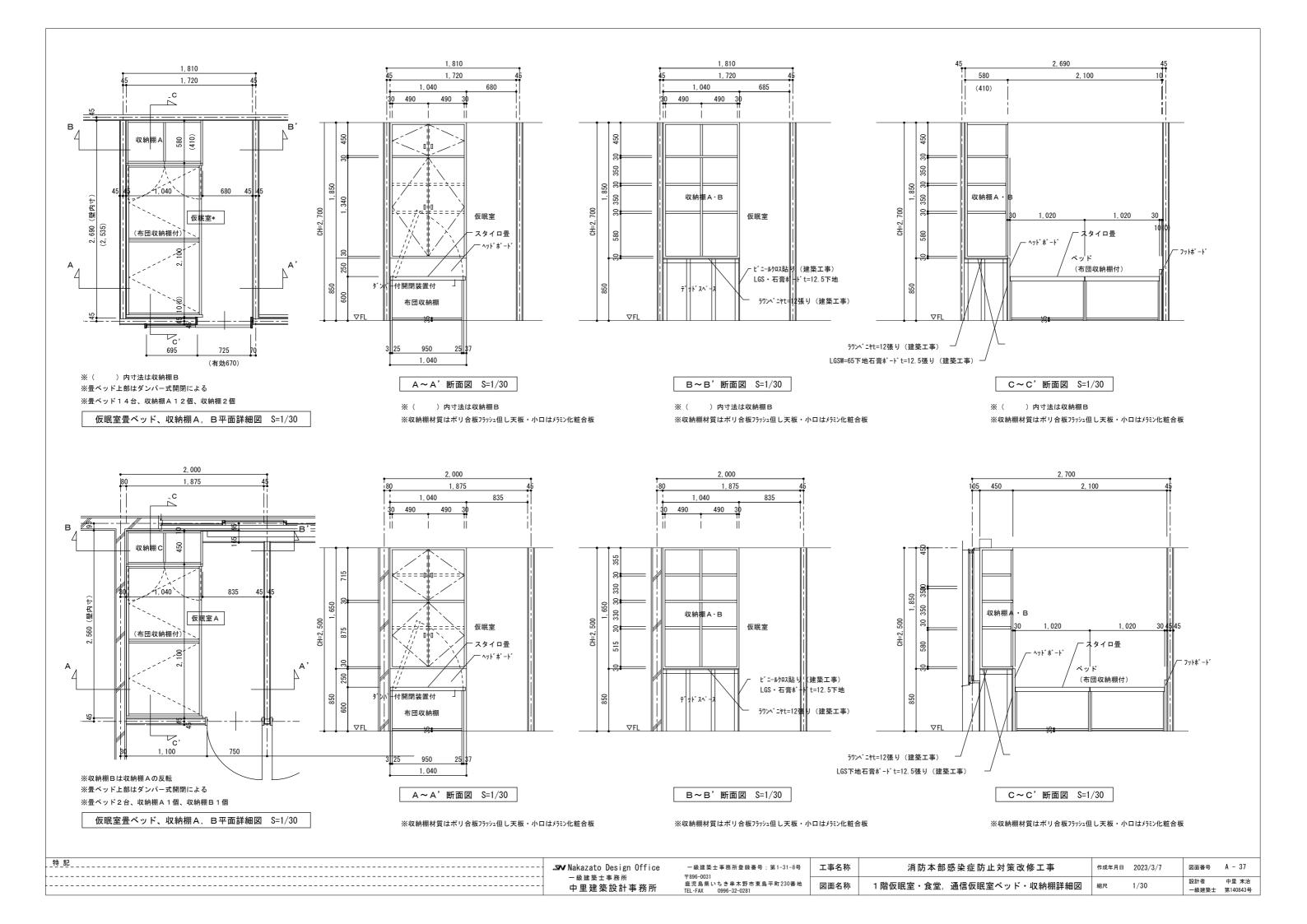


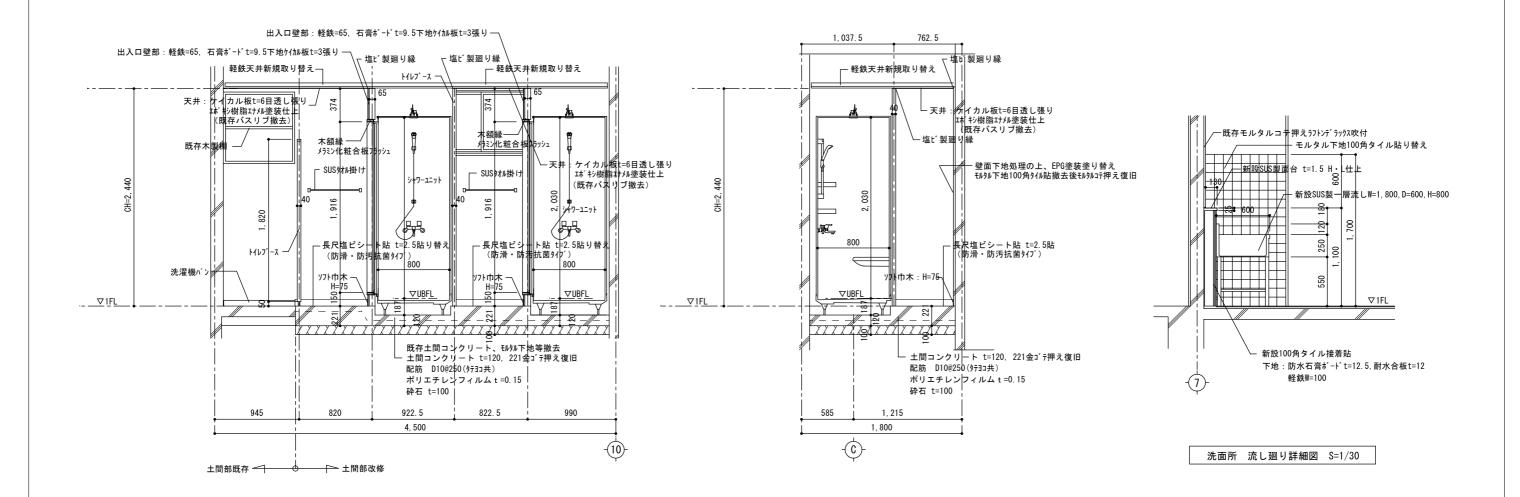












1 階脱衣室・シャワールーム詳細図 S=1/30